Canon

Satera MF5700 シリーズ

ソフトウェアガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。
システム構成および購入した製品によっては、必要のない説明書もあります。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- **製品の設定方法については**
- **ソフトウェアのインストールについて知るには**

セットアップシート

MF5730/MF5750 のみ

- **製品の設定方法については**

セットアップシート（本体設置編）

MF5770 のみ

- **ソフトウェアのインストールについて知るには**
- **ネットワークの設定方法については**

セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）

MF5770 のみ

- **コピーおよびプリントに関する説明については**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド

- **ファクスに関する説明については**
- **困ったときには**

ファクスガイド

MF5750/MF5770 のみ

- **ソフトウェアのインストールおよび説明については**
- **プリント、スキャナ動作およびコンピュータからのファクス動作について知るには**
- **困ったときには**

ソフトウェアガイド（本書）

- **リモート UI に関する説明については**

リモート UI ガイド

MF5770 のみ

- **ネットワークの接続と設定方法については**

ネットワークガイド

MF5770 のみ

製品名

・F146500 (Satera MF5730)
・F146502 (Satera MF5750)
・F146502 (Satera MF5770)

- PDF形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
-

ソフトウェアガイドの構成について

第１章　インストールする

第２章　印刷する

第３章　原稿をスキャンする

第４章　コンピュータからファクス送信する(MF5750/MF5770のみ)

第５章　困ったときには

第６章　付録

本製品の仕様や索引を掲載しています。

目次

第２章　印刷する

第 3 章　原稿をスキャンする

第 5 章　困ったときには

第 6 章　付録

はじめに

このたびはCanon Satera MF5700シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただいた後もいつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや本製品を使用する上で役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

(→「ユーザーズガイド」)　前項に関する詳細説明は、ユーザーズガイドを参照してください。

本製品　「本製品」とは、Canon Satera MF5700シリーズ機のことです。

初期設定　設定を変更しない限り有効な標準設定です。

ボタンについて

本書では、ボタンや項目の名前を［　］で囲んで示しています。

- 画面上のボタン／項目…………………………［はい］
- 画面の名前……［プリンタの追加ウィザード］
- ツールバーのボタン……………………………? (ヘルプ)

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いのコンピュータのモデルやオプション設定によって、実際の画面表示とは異なる場合があります。

略記について

本書では、製品名およびモデル名を次のように表記しています。

Windows 98 は Microsoft® Windows® 98 オペレーティングシステムの略です。

Windows Me は Microsoft® Windows® Millennium Edition オペレーティングシステムの略です。

Windows 2000 は Microsoft® Windows® 2000 オペレーティングシステムの略です。

Windows XP は Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの略です。

Windows Server 2003 は Microsoft® Windows® Server 2003 オペレーティングシステムの略です。

商標および著作権について

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera は、キヤノン株式会社の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書では、Microsoft および Microsoft Windows は、それぞれ Microsoft および Windows と記載されています。

著作権について

注意事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

インストールする

ここでは、MF ドライバとソフトウェアをインストールする手順について説明します。MF ドライバをインストールすると、お使いのコンピュータから印刷とスキャナ機能、ファクス送信 * を操作できるようになります。

*MF5750/MF5770 のみ

動作環境

インストールには以下の動作環境が必要です。

■動作環境

Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP、Windows Server 2003*

■コンピュータ

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003*
が正常に稼動するコンピュータ

* ネットワーク接続のみ

■ハードウェア環境

・IBM コンピュータまたは IBM 互換コンピュータ
・CD-ROM ドライブ、または CD-ROM へのアクセスが可能なネットワーク環境
・USB ポートが装備され、USB クラスドライバがインストールされているコンピュータ

OS	CPU	RAM	空きディスク容量
Windows 98	Intel Pentium® 90 MHz 以上	32 MB 以上（64 MB 以上を推奨）	115 MB 以上（200 MB 以上を推奨）
Windows Me	Intel Pentium® 150 MHz 以上	32 MB 以上（64 MB 以上を推奨）	115 MB 以上（200 MB 以上を推奨）
Windows 2000* Professional	Intel Pentium® 133 MHz 以上、または互換マイクロプロセッサ（2 プロセッサまでサポート）	64 MB 以上（128 MB 以上を推奨）	115 MB 以上（200 MB 以上を推奨）
Windows XP*	Pentium Family® 300 MHz 以上	64 MB 以上（128 MB 以上を推奨）	115 MB 以上（200 MB 以上を推奨）
Windows Server 2003*	Pentium Family® 300 MHz 以上	64 MB 以上（128 MB 以上を推奨）	115 MB 以上（200 MB 以上を推奨）

* 管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

メモ　USB 2.0 Hi Speed をご利用いただくためには、Windows XP SP1 がインストールされ、CPU が 300 MHz 以上、RAM が 64 MB 以上であるか、Windows 2000 SP4 がインストールされ、CPU が 133 MHz 以上、RAM が 64 MB 以上である必要があります。お使いのコンピュータが、以上の条件を満たしていて、USB2.0 用ドライバがすでにインストールされている場合は、USB2.0 をご利用になれます。

困ったときの参照先

インストール時、または本製品の使用時にトラブルが起きた場合には、以下を参照してください。

■ソフトウェアガイド（本書）

5 章「困ったときには」を参照してください。

■ユーザーズガイド

9 章「困ったときには」を参照してください。

■README.TXT ファイル

MF ドライバのインストール時と使用時の留意点（ヒントおよび制限事項）については付属 CD-ROM に収録されている README.TXT ファイルを参照してください。

■オンラインヘルプ

MF ドライバと一緒に収録されているオンラインヘルプファイルには、追加のヘルプ情報が収められています。［プロパティ］画面で、［ヘルプ］をクリックすると、MF ドライバの全機能とオプションに関する追加情報が表示されます。

■状況依存ヘルプ

表示されている画面内の各項目の説明が表示されます。次のいずれかの方法で表示できます。

・画面のタイトルバーで［?］(ヘルプ）をクリックし、目的の項目をクリックします。
・目的の項目を右クリックし、［ヘルプ］を選択します。
・目的の項目をクリックし、［F1］キーを押します。

■キヤノン販売店またはお客様相談センター

ヘルプに必要な情報がない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

コンピュータにソフトウェアをインストールする

Canon Satera MF5700 シリーズをローカルプリンタとスキャナ（お使いのコンピュータに直接接続されているプリンタとスキャナ）、ファクスとして使用するために、各ソフトウェアをインストールする手順について説明します。（ファクス機能はMF5750/MF5770のみ。）［MF セットアップ］画面の手順に従ってインストールを行ってください。

インストールを行う前に、次の点を確認してください。

- 本製品がコンピュータに接続されていないことを確認してください。
- 本製品の電源をオンにしてください。（→セットアップシート（MF5730/MF5750 のみ）、セットアップシート（本体設置編）（MF5770 のみ））
- コンピュータ上で実行中のアプリケーションがある場合は、終了してください。

重要 Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

メモ
- 3 m 以内のケーブルをお使いください。
- 画面は Windows XP を使用しています。Windows の他のバージョンでもインストールの方法はほぼ同じです。

1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM をセットします。

［MF5700 シリーズセットアップ］画面が表示されます。

［MF5700 シリーズセットアップ］画面に表示されている、手順 1、2、3 の順にインストールの作業を進めます。

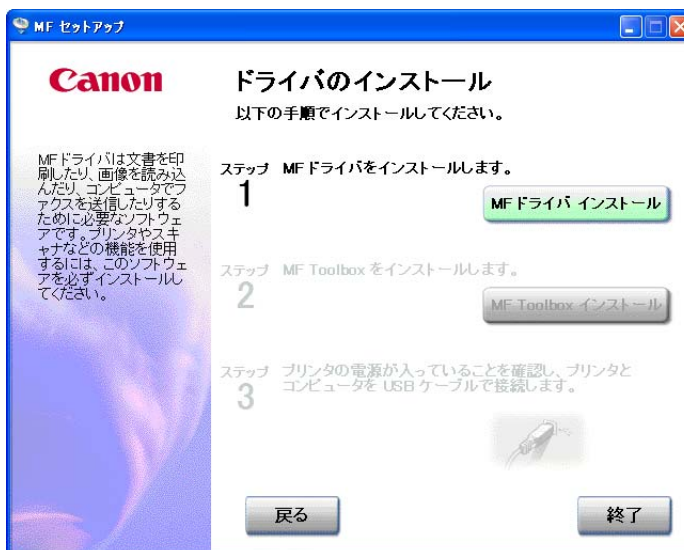
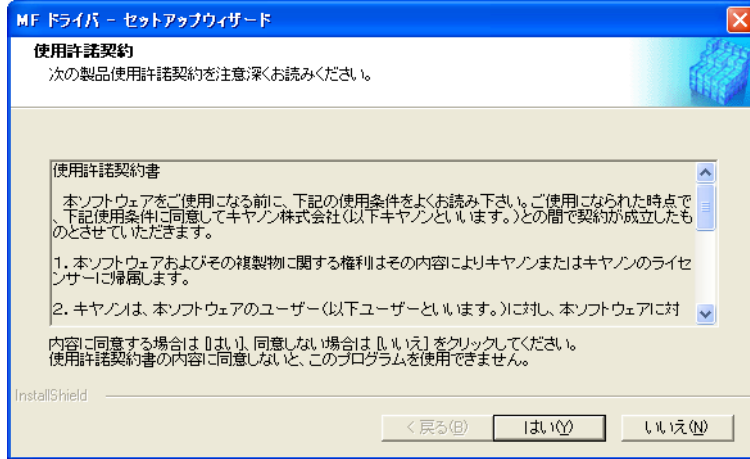
［MF5700 シリーズセットアップ］画面が表示されない場合は、タスクバーの［スタート］から［マイコンピュータ］をクリックします。（Windows 98/Me/2000 のときは、［マイコンピュータ］をダブルクリックします）CD-ROM のアイコンを開き、［Setup (Setup.exe)］をダブルクリックします。

ネットワークやハードディスクに保存したコピーを使ってインストールするときは、コピー先の［Setup (Setup.exe)］をダブルクリックします。

手順 1　MF ドライバをインストールする（USB 接続）

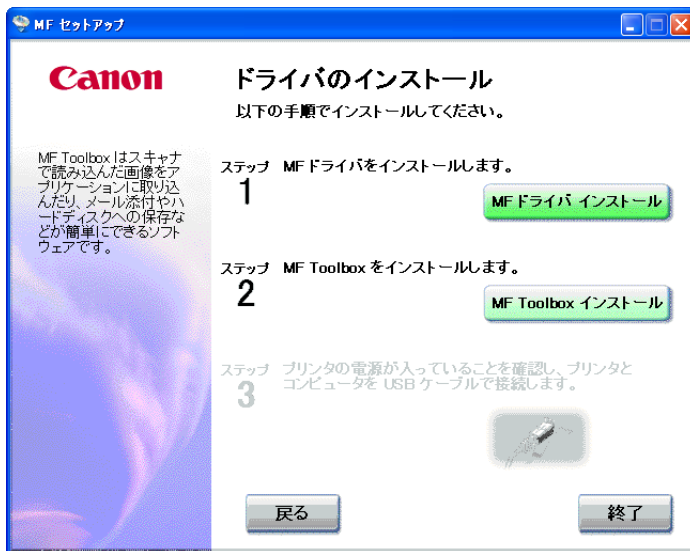
1. [MF5700 シリーズセットアップ] 画面で、[USB で接続する] をクリックします。

2. ［ドライバのインストール］ をクリックします。

3. ［ドライバのインストール］ 画面で ［MF ドライバ インストール］ をクリックします。

4 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックします。

5 [終了] をクリックします。

メモ　Windows 98/Me の場合、コンピュータによっては再起動を促すメッセージが表示されることがあります。このときはコンピュータを再起動させてから MF Toolbox をインストールしてください。

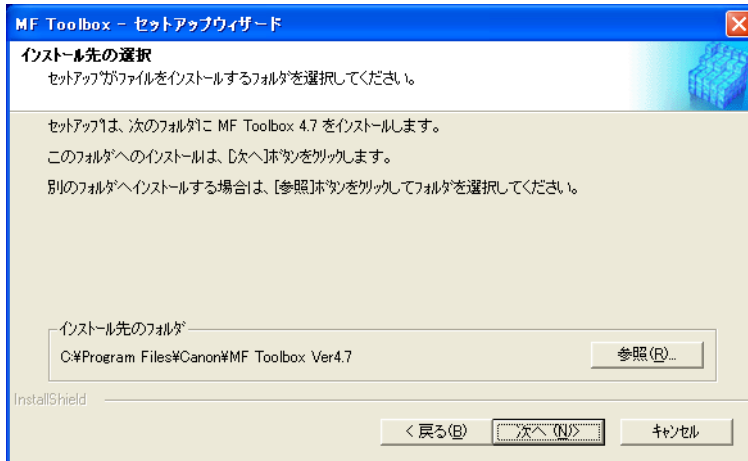
手順２　MF Toolbox をインストールする

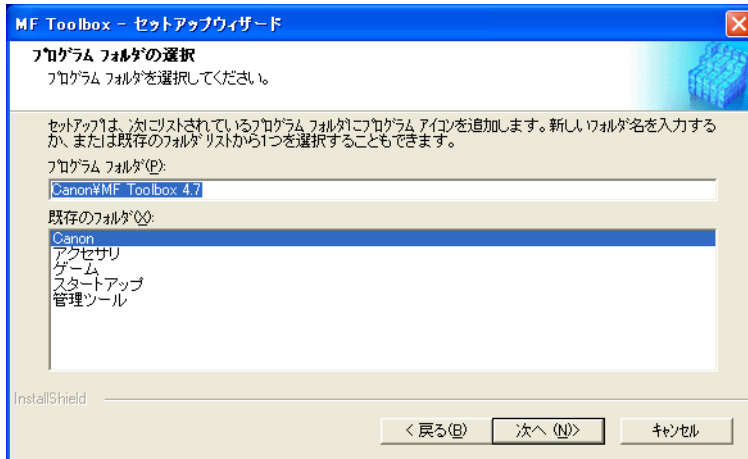
1 ［ドライバのインストール］画面で、ステップ２の［MF Toolbox インストール］をクリックします。

［ドライバのインストール］画面を閉じてしまった場合は、タスクバーの［スタート］から［マイコンピュータ］をクリックします。（Windows 98/Me/2000 のときは、［マイコンピュータ］をダブルクリックします。）
CD-ROM のアイコンを開き、［Setup(Setup.exe)］をダブルクリックします。

ネットワークやハードディスクに保存したコピーを使ってインストールするときは、コピー先の［Setup (Setup.exe)］をダブルクリックします。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［続行］をクリックします。

4 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［次へ］をクリックします。

7 ［終了］をクリックします。

手順３　USB ケーブルを接続する

1 本製品に電源が入っていることを確認します。

MF Toolbox のインストールが終わったら、USB ケーブルを接続します。

2 USB ケーブルを本製品とコンピュータの USB ポートに接続します。

・USB ケーブルを接続すると、新しいハードウェアとして本製品が自動的に検出されます。コンピュータが各種設定を行いますので、そのままの状態でしばらくお待ちください。
・コンピュータによっては、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。
・コンピュータを再起動後も設定は継続されますので、そのままの状態でしばらくお待ちください。

付属のアプリケーションをインストールする

付属のアプリケーションをインストールするには、［MF5700　シリーズセットアップ］画面で［アプリケーションのインストール］をクリックします。

あとでインストールすることもできます。

マニュアルを読む

CD-ROM に収められている PDF マニュアルを読むには、［MF5700 シリーズセットアップ］画面で［マニュアルを読む］をクリックします。

これでインストールは終了しました。［MF5700 シリーズセットアップ］画面で［終了］をクリックして画面を閉じます。CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

本製品をネットワークプリンタとして使用するには（MF5770のみ）

本製品は、初期設定で IP アドレスが自動取得されます。本製品の起動時またはリセット時に DHCP、BOOTP、RARP が利用可能かどうかが確認され、最初に利用可能とわかった方法で IP アドレスが自動設定されます。このとき、以下の操作を行う必要はありません。ただし、DHCP、BOOTP、RARP を使用しない場合や、IP アドレスを割り当てなおす場合は、以下の操作を実行してください。

重要　設定の内容を有効にするには再起動が必要です。再起動するには、いったん電源コードを抜き、少なくとも 10 秒以上おいてから再び電源コードを接続してください。

メモ
- ネットワーク設定について詳しくは、「ネットワークガイド」の「2 章 ネットワークを設定する」を参照してください。
- ネットワークプロトコルの追加については、ネットワークガイドを参照してください。
- ネットワーク設定値についてはネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせください。
- 本製品にはネットワーク経由のスキャニングやネットワーク経由の PC ファクス機能はありません。スキャニングや PC ファクスとして使用する場合は USB 経由で接続してください。

手順 1　ネットワークを設定する

1 **［メニュー］を押し、［◀(-)］または［▶(+)］を押して操作パネルで＜ 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
ﾒﾆｭｰ
 6.ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
```

2 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜ 1.LAN ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
 1.LAN ｾｯﾃｲ
```

3 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜ 1.IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ＞を選択し、［OK］を押します。**

```
LAN ｾｯﾃｲ
 1.IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
```

■IP アドレスを自動で取得する（動的割り当て）

4　［◀(-)］または［▶(+)］を押して<ｽﾙ>を選択し、［OK］を押します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
                ｽﾙ
```

5　［◀(-)］または［▶(+)］を押して< DHCP >、< BOOTP >または < RARP >を選択し、［OK］を押します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
 1.DHCP
```

6　利用する項目について［◀(-)］または［▶(+)］を押して<ｽﾙ>を選択し、［OK］を押します。

```
DHCP
                ｽﾙ
```

7　［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

8　本製品の電源コードを抜いて 10 秒以上待ってから再び接続し､再起動させます。

■IP アドレスを手動で取得する（静的割り当て）

4　［◀(-)］または［▶(+)］を押して<ｼﾅｲ>を選択し、［OK］を押します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
               ｼﾅｲ
```

5　［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 2.IP ｱﾄﾞﾚｽ>を選択し、［OK］を押します。

```
LAN ｾｯﾃｲ
 2.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

6 **テンキーで本製品の IP アドレスを入力し、[OK] を押します。**

入力した IP アドレスを控えておいてください。＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
```

7 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して< 3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ>を選択し、[OK] を押します。**

```
LAN ｾｯﾃｲ
 3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
```

8 **テンキーでサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。**

入力したサブネットマスクを控えておいてください。＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
000.000.000.000
```

9 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して< 4.ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ>を選択し、[OK] を押します。**

```
LAN ｾｯﾃｲ
 4.ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ
```

10 **テンキーでデフォルトゲートウェイを入力し、[OK] を押します。**

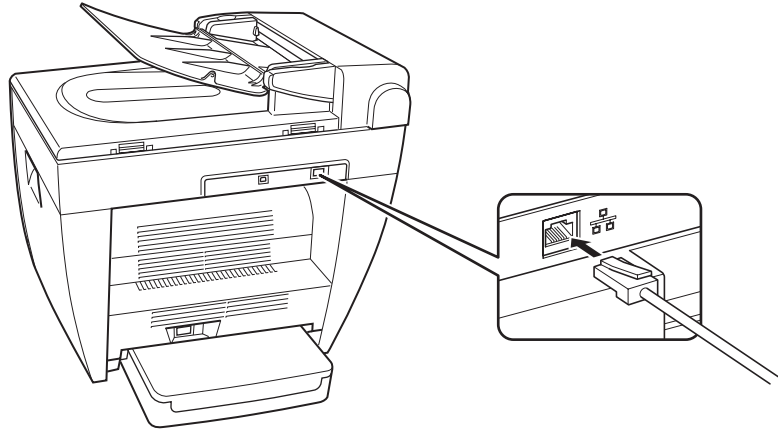
入力したデフォルトゲートウェイを控えておいてください。＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿

```
ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ
000.000.000.000
```

11 **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

12 **本製品の電源コードを抜いて 10 秒以上待ってから再び接続し、再起動させます。**

手順２　本製品をネットワークに接続する

1 LAN ケーブル（カテゴリ 5 のツイストペアケーブルをご用意ください）を、本製品裏面の 10Base -T/100Base-TX ポートとルータまたはハブに接続します。

手順３　ネットワーク設定を確認する

1 ［メニュー］を押し、［◀(-)］または［▶(+)］を押して操作パネルで< 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ>を選択し、［OK］を押します。

```
メニュー
 6.ネットワーク セッテイ
```

2 ［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 2.IP ｱﾄﾞﾚｽ ｶｸﾆﾝ>を選択し、［OK］を押します。

```
ネットワーク セッテイ
 2.IPｱﾄﾞﾚｽ ｶｸﾆﾝ
```

3 ［◀(-)］または［▶(+)］を押して確認したい項目を選択し、［OK］を押します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｶｸﾆﾝ
 1.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

4 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

手順４　MF ネットワークドライバをインストールする（ネットワーク接続）

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合は、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

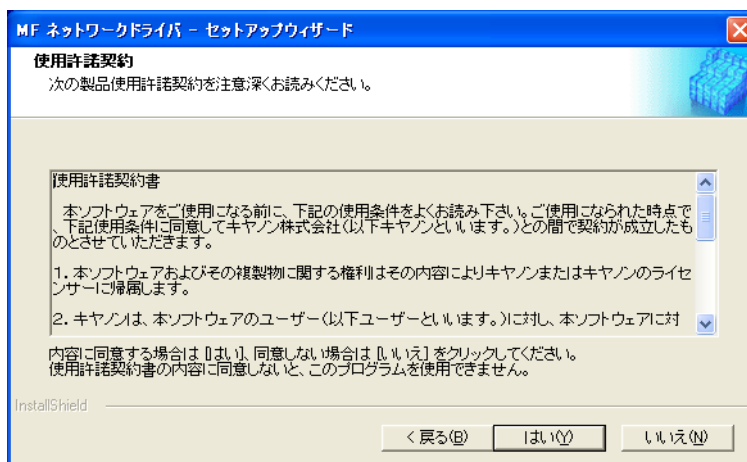
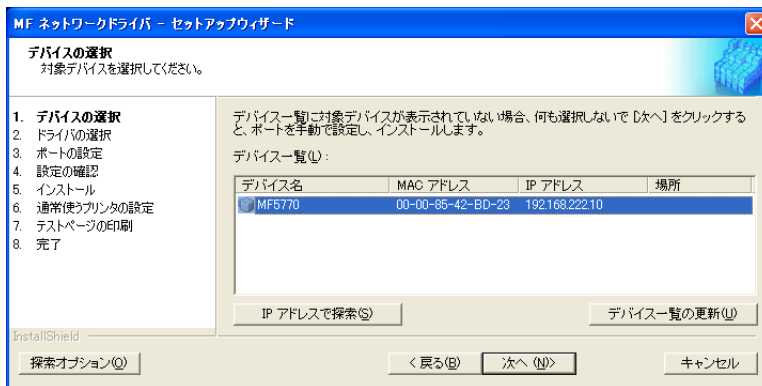
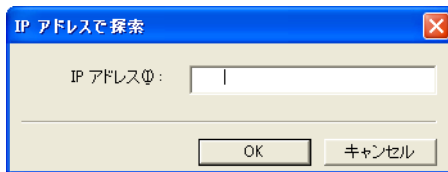
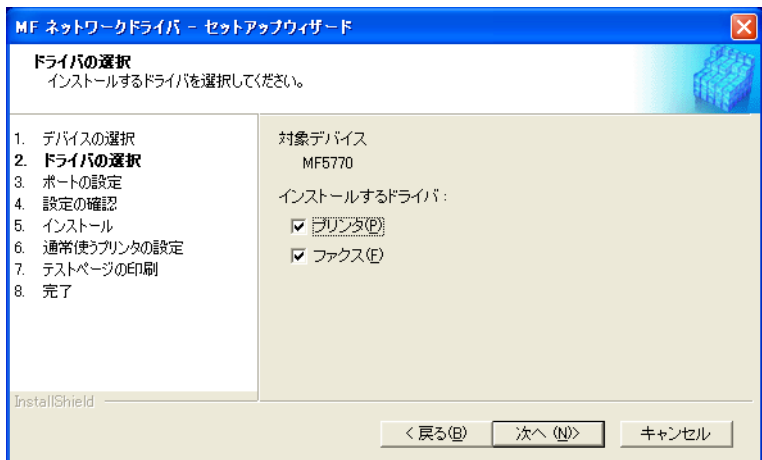
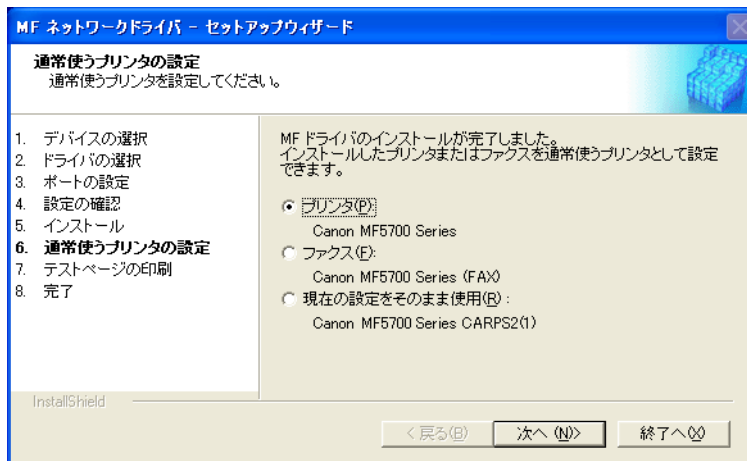
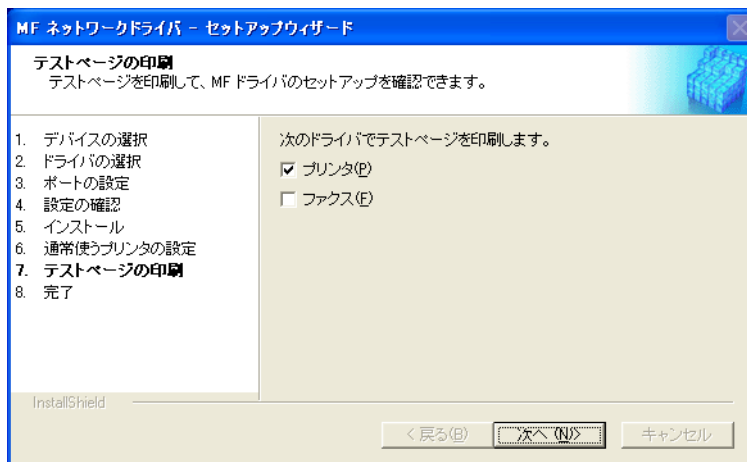
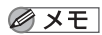
1　ソフトウェアCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

2　［MF5700 シリーズセットアップ］画面が表示されたら、［ネットワークで接続する］をクリックします。

3　［ドライバのインストール］をクリックします。

メモ　［マニュアルを読む］をクリックすると、PDF マニュアルを読むことができます。

4 ［次へ］をクリックします。

5 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックします。

6　デバイス一覧の中からドライバをインストールする製品名を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　目的の製品名がデバイスリストに表示されないときは、［IP アドレスで探索］をクリックして IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。IP アドレスが不明のときは、「手順 3　ネットワーク設定を確認する」を参照してください。

7　インストールするドライバを選択し、［次へ］をクリックします。

8 通常使用するプリンタまたはファクスを選択し、[次へ] をクリックします。

9 テストページを印刷するときは、テストするドライバの種類（プリンタ、ファクスまたは両方）を選択し、[次へ] をクリックします。

10 ［終了］をクリックします。

メモ　再起動を促すメッセージが表示されたら、［ただちにコンピュータを再起動します。］または、［あとでコンピュータを再起動します。］を選択して、［終了］をクリックします。

インストールの確認をする

インストールがうまくできたかどうか、また、本製品が通常使うプリンタとして設定されているかを確認します。

メモ　アプリケーションから［印刷］画面を開いたときに、本製品が選択されていれば、本製品が通常使うプリンタとして設定されています。

1 ［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 のときは［プリンタ］）フォルダを開きます。

タスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 のときは、［スタート］から、［設定］→［プリンタ］）をクリックします。

プリンタドライバ、ファクスドライバの名前とアイコンがそれぞれ表示されているか確認します。

2 本製品を通常使うプリンタに設定します。

すでに本製品が通常使うプリンタに設定されている場合は手順 3 へ進みます。

本製品のプリンタのアイコンをクリックします。

［ファイル］メニューから、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。

3 ［スキャナとカメラ］フォルダ（Windows 98/2000 のときは、［スキャナとカメラプロパティ］画面）を開きます。

タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］をクリックします。（Windows 98/2000 のときは、［スタート］から、［設定］→［コントロールパネル］をクリックして、［スキャナとカメラ］のアイコンをダブルクリックします。）

スキャナドライバの名前とアイコンがそれぞれ正しく表示されているか確認します。

4 デスクトップに［Canon MF Toolbox 4.7］のアイコンがあれば、MF Toolbox 4.7 はインストールされています。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する / 再インストールする

MF ドライバが正常に動作しない場合は、MF ドライバを削除してから、再インストールします。ソフトウェアを削除するときはまず MF toolbox を削除し、次に MF ドライバを削除します。再インストールするときも、まず現在インストールされているソフトウェアを削除する必要があります。MF ドライバを削除する前に、次の点を確認してください。

- インストールするソフトウェアを手元に用意してください。
- コンピュータ上で実行中のアプリケーションがある場合は、終了してください。

重要　Windows 2000/XP/Server 2003 からソフトウェアをアンインストールするときは、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

MF Toolbox を削除する

1 **MF Toolbox など、起動しているアプリケーション（ウイルスチェックプログラムも含む）をすべて終了します。**

MF Toolbox は、画面右上の［X］をクリックすると終了します。

2 **タスクバーの［スタート］から［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.7］→［Toolbox アンインストール］をクリックします。**

3 **画面上の指示に従って操作します。**

プログラムの修復または削除を選択する画面が開いたら、［削除］をチェックし、［次へ］をクリックします。

アプリケーションなどを削除してよいかを確認するメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。

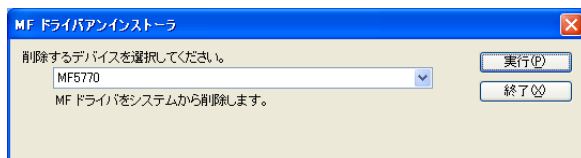
コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動させてください。

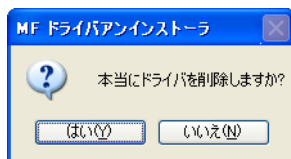
4 **［終了］をクリックします。**

MF ドライバを削除する

1　タスクバーの［スタート］から［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MF ドライバ］→［ドライバアンインストール］をクリックします。

［MF ドライバアンインストーラ］画面が表示されます。

2　削除したいプリンタドライバを選択して、［実行］をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

3　［はい］をクリックします。

ドライバが削除されます。

4　[終了] をクリックします。

メモ　再起動を促すメッセージが表示されることがあります。このときはコンピュータを再起動させてから再インストールしてください。

ソフトウェアを再インストールする

タスクバーの［スタート］から［マイコンピュータ］をクリック（Windows 98/Me/2000 のときは、［マイコンピュータ］をダブルクリック）して CD-ROM のアイコンを開き、［Setup（Setup.exe）］をダブルクリックすると、［MF セットアップ］画面が表示されます。

「手順 1　MF ドライバをインストールする（USB 接続）」(→ P.1-5)、または「手順 4　MF ネットワークドライバをインストールする （ネットワーク接続）」(→ P.1-15）に戻ってインストールし直してください。

ネットワークやハードディスクに保存したコピーを使ってインストールするときは、コピー先の［Setup（Setup.exe）］をダブルクリックして［MF セットアップ］画面を表示します。

印刷する

ここでは、Windows のアプリケーションから文書を印刷する手順について説明します。印刷設定を変更する場合は、プリンタドライバの［プロパティ］画面で変更します。

文書を印刷する

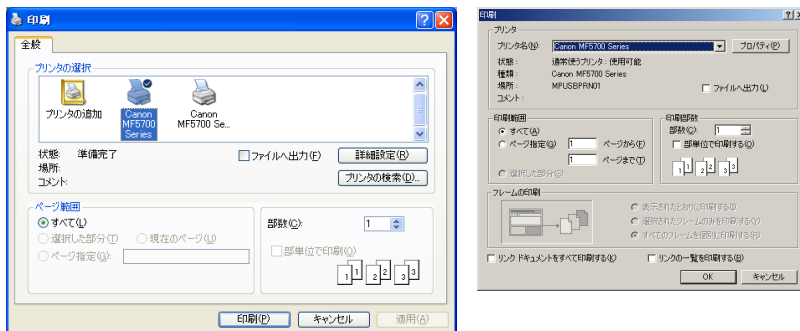
1 カセットまたはマルチフィーダに用紙をセットします。

用紙の入れ方は、「ユーザーズガイド」の「２章　用紙の取り扱い」を参照してください。

2 アプリケーションで印刷する文書を開きます。

3 印刷のコマンドを選びます。

通常は、［ファイル］メニューで［印刷］を選びます。

［印刷］画面が表示されます。

4 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］で、使用するプリンタをクリックします。

5 ［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

メモ　アプリケーションによっては［印刷］画面の［全般］タブで使用するプリンタを選択し、印刷の詳細設定を行います。（Windows 2000 のみ）

6 印刷の詳細設定を行い、［OK］をクリックします。

メモ　詳しくは、（→印刷の設定を変更する：P.2-3）を参照してください。

7 ［印刷］または［OK］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ　印刷を中止するには、［キャンセル］をクリックします。

印刷を中止する

1 ［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 のときは、［プリンタ］フォルダ）を開きます。

タスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 のときは、［スタート］から、［設定］→［プリンタ］）をクリックします。

2 ［Canon MF5700 Series］のアイコンをダブルクリックします。

3 印刷を中止する文書を右クリックし、［キャンセル］をクリックします。

メモ　本体の操作パネルの［システムモニタ］を使って印刷を中止することもできます。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「7 章　システムモニタ」を参照してください。

印刷の設定を変更する

印刷の設定を表示または変更する場合は、プリンタドライバの [プロパティ] または [印刷設定] 画面を表示してください。

[プロパティ] 画面は、アプリケーションの [印刷] 画面および [プリンタと FAX](Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]）フォルダから開くことができます。[印刷設定] ダイアログボックスは、[プリンタと FAX]（Windows 2000 の場合は [プリンタ]）フォルダから開くことができます。

ダイアログボックスを表示するには、次の方法に従ってください。

メモ

- ［プロパティ］画面では、プリンタの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用の印刷設定ができます。［印刷設定］画面では、本製品の印刷の詳細設定を変更することができます。（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）
- ［プロパティ］画面に表示されるタブの数は、お使いの環境と画面の表示のしかたによって異なります。
- 画面の表示のしかたによって、設定内容の有効期間が異なります。
  - ・アプリケーションの［印刷］画面から［プロパティ］画面を表示した場合、選択した印刷オプションは現在の印刷のみに適用され、アプリケーション終了時に無効になります。
  - ・［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 のときは［プリンタ］フォルダ）から［プロパティ］画面を表示した場合、選択した印刷オプションはすべての Windows アプリケーションに適用され、設定を変更するまで有効です。

Windows アプリケーションから表示する場合

■［印刷設定］または［プロパティ］画面を開く

1 印刷のコマンドを選択します。

通常は、［ファイル］メニューで［印刷］を選択します。

［印刷］画面が表示されます。

2 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］でプリンタを選択します。

3 ［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

［Canon MF5700 Series のプロパティ］または［印刷設定］画面が表示されます。

[プリンタと FAX]（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ]）フォルダから表示する場合

■[プロパティ］画面を開く

1 [プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 のときは、[プリンタ］フォルダ）を開きます。

タスクバーの［スタート］から、[プリンタと FAX]（Windows 98/Me/2000 のときは、［スタート］→［設定］→［プリンタ]）をクリックします。

2 プリンタのアイコンをクリックします。

3 [ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても、[プロパティ］画面を表示することができます。

［Canon MF5700 Series のプロパティ］画面が表示されます。

■Windows 2000/XP/Server 2003 で［印刷設定］画面を開く

1 [プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000 のときは、[プリンタ］フォルダ）を開きます。

タスクバーの［スタート］から、[プリンタと FAX]（Windows 2000 のときは、[スタート］から［設定］→［プリンタ]）をクリックします。

2 プリンタのアイコンをクリックします。

3 [ファイル］メニューから［印刷設定］をクリックします。

プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても、[印刷設定］画面を表示することができます。

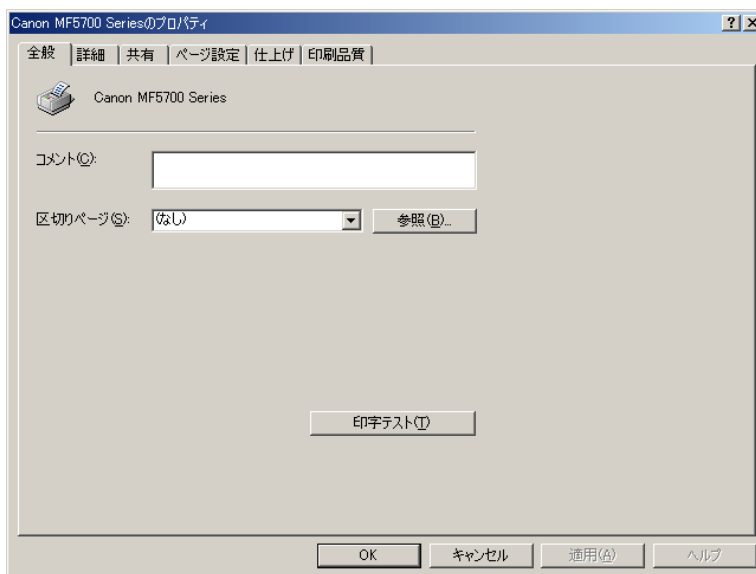
［Canon MF5700 Series 印刷設定］画面が表示されます。

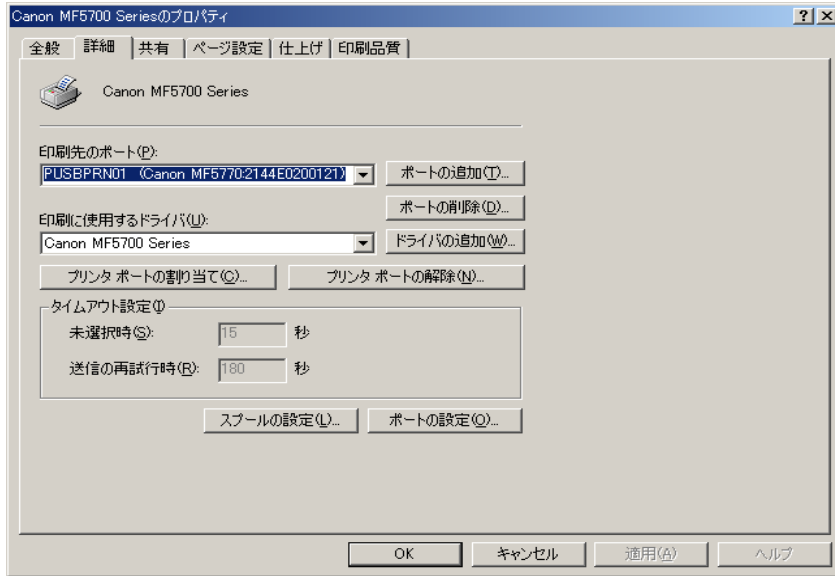
Windows 98/Me でのプリンタのプロパティ画面

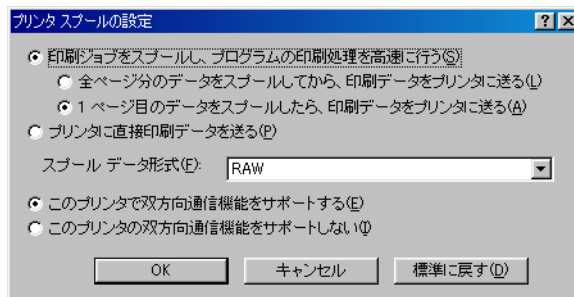
メモ

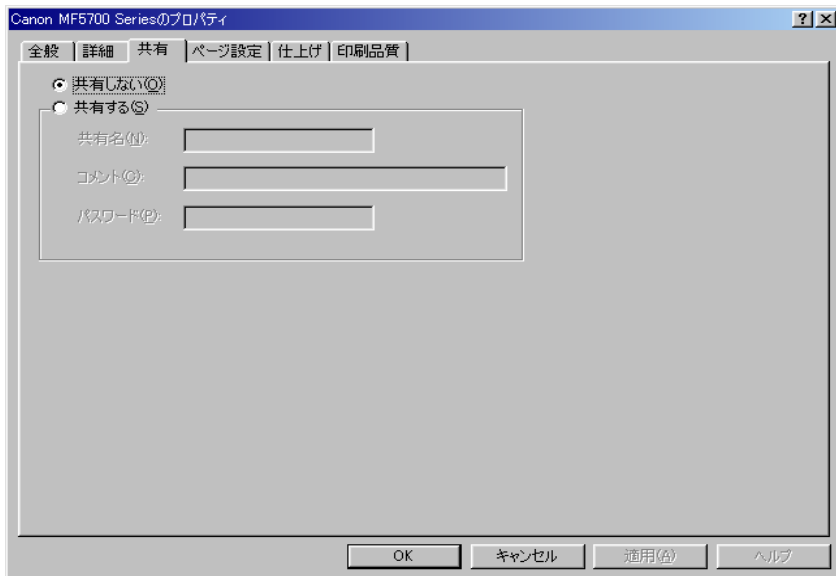
- 画面は［プリンタ］フォルダから［Canon MF5700 Series のプロパティ］画面を開いたときのものを使用しています。
- ［プロパティ］画面に表示されるタブの数は、お使いの環境と画面の表示のしかたによって異なります。

■［全般］タブ

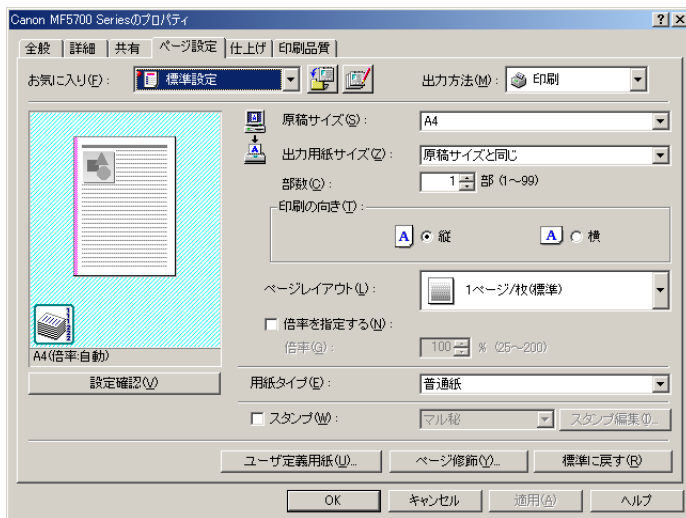
テストページの印刷や分割ページの定義が行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［詳細］タブ

プリンタポートやタイムアウトの設定をします。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

● プリンタ スプールの設定

初期設定値は次のように設定されています。

■［共有］タブ

プリンタ共有の設定値を指定します。このタブは、プリンタ共有が有効になっている場合のみ利用できます。(サーバサービスを追加する : → P.2-51)
詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［ページ設定］タブ

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。

［お気に入り］、［出力方法］の詳細については、「お気に入り」（→ P.2-18）を参照してください。

プレビュー画像　現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像の詳細については、「プレビュー画像」（→ P.2-19）を参照してください。

[原稿サイズ] アプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。選択できるサイズは［レター］、［レジャー］、［リーガル］、［エグゼクティブ］、［A5］、［B5］、［A4］、［B4］、［A3］、［封筒　洋形４号］、［封筒　洋形２号］、［はがき］、［往復はがき］および［ユーザ定義（名称固定）］です。
ただし、［原稿サイズ］に［レジャー］、［B4］または［A3］を設定すると、［A4］サイズに収まるように自動的に縮小されます。

[出力用紙サイズ] 印刷する用紙サイズを選択します。［原稿サイズと同じ］以外に設定すると、選択した用紙サイズに収まるように自動的に拡大 / 縮小して印刷されます。

> メモ
> [ユーザ定義用紙] をクリックすると表示される［ユーザ定義用紙］画面を使って、最大 50 とおりの用紙サイズを定義できます。（→ユーザ定義用紙：P.2-11）

[部数] 印刷する部数を指定します。（1 ～ 99 部）

[印刷の向き] 印刷する用紙の向きを指定します。（［縦］または［横］）

[ページレイアウト] 用紙 1 枚当たりに印刷する原稿の枚数を選択します。［1 ページ / 枚］および［ポスター］以外に指定すると、選択したページレイアウトに収まるように自動的に縮小されて印刷されます。

[N ページ / 枚] 複数枚（1、2、4、6、8、9、16 枚）の原稿を 1 枚の用紙にプリントします。

[ポスター（N × N）]

画像を拡大して、複数枚の用紙に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせてポスターのような大きなプリントができます。

> メモ
> - ［ポスター］を選択すると、［倍率を指定する］、［スタンプ］および［ページ修飾］が選択できなくなります。
> - ［1 ページ / 枚］を選択すると［倍率を指定する］が表示されます。［1 ページ / 枚］および［ポスター］以外に設定すると、［倍率を指定する］の代わりに、［配置順］が表示されます。

[倍率を指定する] 拡大 / 縮小して印刷する場合の倍率を指定します。チェックマークを付けると、右側の編集ボックスが使用可能になり、倍率（25 ～ 200 %）を指定できます。

> メモ
> ［印刷］画面でアプリケーションソフトの拡大 / 縮小倍率を選択すると、100 %が設定されます。

[配置順] 1 枚の用紙に複数の原稿を印刷する場合に、用紙に原稿を配置する順序を選択します。

[用紙タイプ] 印刷する用紙の種類を選択します。利用可能な用紙の種類は次のとおりです。
- 普通紙 (64 ～ 90 g/m^2)
- 普通紙 L
- 厚紙
- 厚紙 H
- OHP フィルム

メモ 出力用紙サイズとして、[封筒洋形 2 号]、または [封筒洋形 4 号] を選択すると、[用紙タイプ] は自動的に [封筒] に設定されます。
また、[はがき] または [往復はがき] を選択すると [用紙タイプ] は自動的に [はがき] に設定されます。詳しくは、ユーザーズガイドの「封筒をマルチフィーダにセットする」を参照してください。

[スタンプ] 選択したスタンプを各ページに付けて印刷します。6 種類のスタンプが用意されています。[スタンプ編集] でスタンプを追加することもできます。
- マル秘
- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- コピー禁止

[スタンプ] にチェックマークを付けると、[スタンプ編集] がアクティブになります。

メモ [スタンプ] は、[ページレイアウト] が [ポスター] に設定されている場合は使用できません。

[スタンプ編集] [スタンプ編集] 画面を表示して、スタンプ印刷の詳細設定を行います。(→スタンプ編集：P.2-10)

[ユーザ定義用紙] [ユーザ定義用紙] 画面を表示して、独自のサイズの用紙を設定します。(→ユーザ定義用紙：P.2-11)

メモ [ユーザ定義用紙] は [プリンタ] フォルダから [Canon MF5700 Series のプロパティ] 画面を表示した場合のみ設定できます。アプリケーションソフトから表示した [プロパティ] 画面からは設定できません。

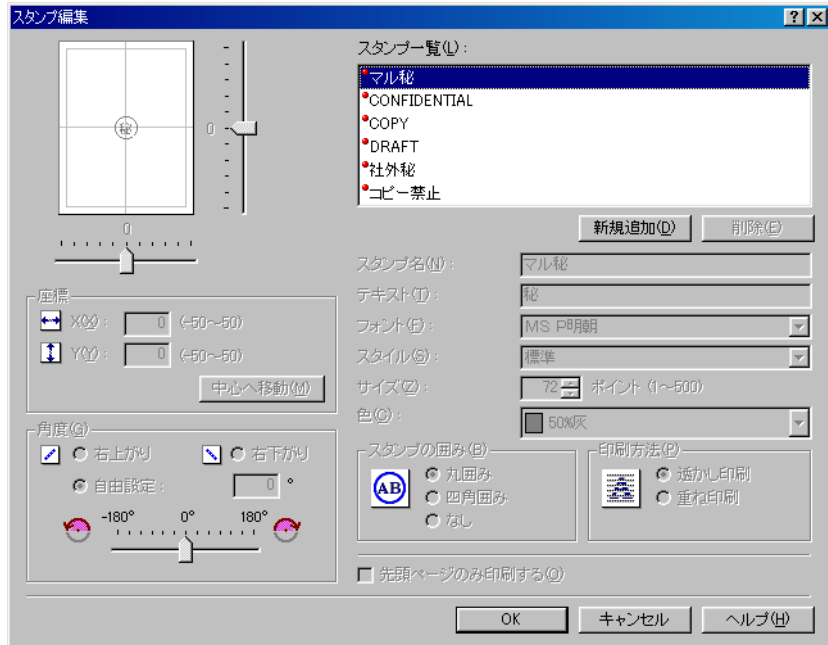
[ページ修飾] 日付やページ番号を印刷したり、用紙に枠を付けて印刷したい場合などに使用します。(→ページ修飾：P.2-12)

メモ [ページ修飾] は、[ページレイアウト] が [ポスター] に設定されている場合は使用できません。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定値に戻します。

[設定確認] [設定確認] 画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます。(→設定確認：P.2-21)

● スタンプ編集

［ページ設定］タブの［スタンプ編集］をクリックすると、［スタンプ編集］画面が表示されます。この画面では、登録されているスタンプを編集したり、新しくスタンプを作成することができます。［スタンプ編集］は、［ページ設定］タブで［スタンプ］にチェックマークが付いているときだけ利用できます。

［スタンプ一覧］　登録されているスタンプ名が表示されます。画面の左上に選択したスタンプの画像が表示されます。

［新規追加］　新しいスタンプを登録することができます。［スタンプ名］にスタンプ名を入力し、［OK］をクリックすると登録が完了します。登録できるスタンプは最大 50 個です。

［削除］　［スタンプ一覧］から選択したスタンプを削除します。

メモ　はじめから定義されているスタンプは削除できません。

［座標］　各ページに印刷するスタンプの位置を指定します。［X］および［Y］の編集ボックスに値を（– 50 ～ 50 の範囲で）入力するか、X と Y のスライドバーを使って位置を移動できます。

［中心へ移動］　スタンプをページの中央に配置します。

［角度］　スタンプの角度を指定します。(0°は用紙に対して水平方向を表します)

［右上がり］　用紙の対角線上（右上がり）に文字を配置します。

［右下がり］　用紙の対角線上（右下がり）に文字を配置します。

［自由設定］　任意の角度を入力します。用紙の水平方向（0°）を基準とする角度を設定します。スライドバーを使って角度を設定することもできます。

[スタンプ名] 新しいスタンプを入力します。最大で 31 文字まで（全角、半角を問わず）入力できます。登録されたスタンプ名は、[ページ設定] タブの [スタンプ] プルダウンリストに追加されます。

[テキスト] スタンプの文字列を入力します。最大で 31 文字まで（全角、半角を問わず）入力できます。

[フォント] スタンプとして印刷する文字列のフォントの種類を選択します。

[スタイル] スタンプの文字列のフォントスタイルを選択します。利用可能なスタイルは、[標準]、[斜体]、[太字] および [太字 斜体] です。

[サイズ] スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを指定します。（1 ～ 500）

[色] スタンプとして印刷する文字列の色を選択します。

[スタンプの囲み] スタンプに枠を追加します。枠の種類は [丸囲み]、[四角囲み]、または [なし] から選択できます。

[印刷方法] スタンプの印刷方法を選択します。

[透かし印刷] スタンプの文字をアプリケーションソフトで作成した文字などの上に透かして印刷します。

[重ね印刷] スタンプの文字をアプリケーションソフトで作成した文字などの上に重ねて印刷します。このため重なった文字などが見えなくなることがあります。

[先頭ページのみ印刷する]

選択したスタンプを原稿の先頭ページにのみ印刷します。

● ユーザ定義用紙

定型サイズ以外の用紙を使用する場合は、[ユーザ定義用紙] 画面で独自のサイズの用紙を設定します。ユーザ定義用紙サイズを選択したり、新しいユーザ定義用紙サイズを [用紙一覧] に登録することができます。また、各サイズの名前、幅および高さの指定が可能です。ユーザ定義用紙サイズは最大 50 通りまで定義できます。

メモ

- [ユーザ定義用紙] は、[プリンタ] フォルダから [Canon MF5700 Series のプロパティ] 画面を表示した場合にのみ設定できます。アプリケーションから表示した [プロパティ] 画面からは設定できません。
- ユーザー定義用紙を印刷するときは、マルチフィーダを使ってください。

[用紙一覧] 定型用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。

メモ ユーザ定義用紙（[ユーザ定義用紙（名称固定）] は除く）は、お使いのコンピュータのすべてのプリンタで共通に使用できます。ユーザ定義用紙は最大 50 通りまで登録できます。

[ユーザ定義用紙名] 登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。最大で 31 文字まで（全角、半角を問わず）入力できます。

[単位] 用紙サイズの寸法単位を選択します。([ミリメートル] または [インチ])

[用紙サイズ] ユーザ定義用紙の幅と高さを指定します。

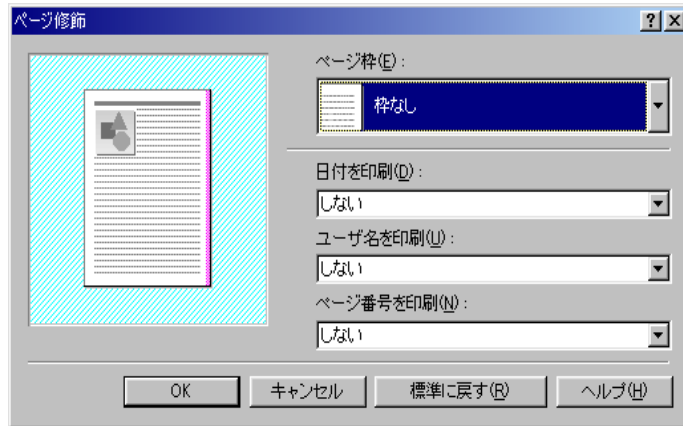
メモ
- [用紙サイズ] を指定するとき、[幅] には [高さ] より小さい値を入力してください。
- 用紙を横長に使って印刷する場合は、[印刷の向き] を [横] に設定します。

[登録] ユーザ定義用紙を登録して、その名前を [用紙一覧] に追加します。

[削除] [用紙一覧] から選択したユーザ定義用紙を削除します。

メモ はじめから定義されている用紙サイズは削除できません。

● ページ修飾

[ページ設定] タブの [ページ修飾] をクリックすると、[ページ修飾] 画面が表示されます。この画面では、ページ枠、ヘッダおよびフッタなどの設定ができます。[ページ修飾] は、[ページ設定] タブの [ページレイアウト] を [ポスター] に設定している場合は使用できません。(→ [ページ設定] タブ : P.2-7)

[ページ枠] 用紙の周囲にページ枠を表示できます。ページ枠を印刷すると、枠の分だけ元の原稿は縮小して印刷されます。選択できるページ枠は 11 種類です。

[日付を印刷] 日付を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。日付の印刷可能位置は 6 か所です。

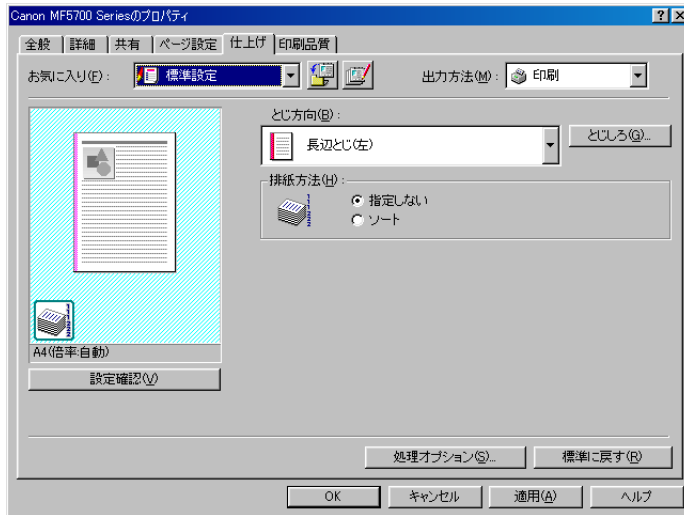
[ユーザ名を印刷] コンピュータに登録されているユーザ名を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。ユーザ名の印刷可能位置は 6 か所です。

[ページ番号を印刷] ページ番号を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、「しない」を選択します。ページ番号の印刷可能位置は 6 か所です。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定値に戻します。

■［仕上げ］タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。

［お気に入り］、［出力方法］については、「お気に入り」（→ P.2-18）を参照してください。

プレビュー画像　現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像の詳細については、「プレビュー画像」（→ P.2-19）を参照してください。

［とじ方向］　印刷原稿のとじ方（どの辺をとじるか）を設定します。［とじ方向］を設定すると、とじる辺に合わせて適切な余白が確保されます。

［とじしろ］　［とじしろ指定］画面が表示され、とじしろの幅を設定できます。（→とじしろ指定：P.2-13）

［排紙方法］　原稿を複数部数印刷する場合に、ソートして出力するかどうかを指定します。［ソート］を選択して 1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページが順に印刷されたあと、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。

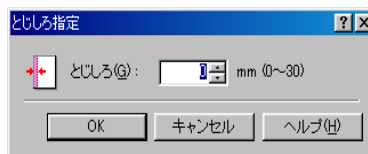
メモ　［排紙方法］で［ソート］を選択すると、プレビュー画面の左下の画像が変わります。

［処理オプション］　［処理オプション］画面が表示され、仕上げに関する詳細設定を行うことができます。（→処理オプション：P.2-14）

［標準に戻す］　現在の設定を初期設定値に戻します。

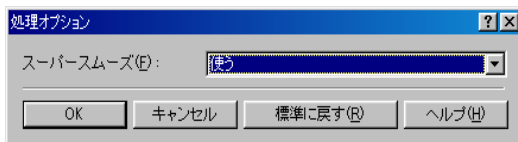
［設定確認］　［設定確認］画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます。（→設定確認：P.2-21）

● とじしろ指定

［仕上げ］タブの［とじしろ］をクリックすると、［とじしろ指定］画面が表示されます。

2
印刷する

[とじしろ] [とじ方向]で設定した辺に作成する「とじしろ」の範囲を 0 ～ 30 mm で指定できます。とじしろを設定すると、印字領域は狭くなります。

● 処理オプション

[仕上げ]タブの[処理オプション]をクリックすると、[処理オプション]画面が表示されます。

[スーパースムーズ] [スーパースムーズ]スーパースムーズ機能を設定します。スーパースムーズは、字や図形にあるギザギザの輪郭をなめらかに印刷する機能です。

[使わない] スーパースムーズ機能を使わずに印刷します。

[使う] スーパースムーズ機能を使って印刷します。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定に戻します。

■[印刷品質]タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。

[お気に入り]、[出力方法]については、「お気に入り」(→ P.2-18)を参照してください。

[印刷目的] 原稿の内容に合わせて印刷目的を設定すると、最適な設定で印刷することができます。各項目を選択すると、欄外にその項目に関するコメントが表示されます。[詳細]をクリックすると印刷目的の詳細が表示されます。

[詳細] ［詳細設定］画面を表示して印字の詳細設定を行うことができます。（→詳細設定：P.2-15）

[グレーの設定を行う]

チェックマークを付け、［グレー設定］をクリックして画像の詳細設定が行えます。プリンタドライバの初期値に戻す場合は、チェックマークを外します。（→グレー設定：P.2-16）

[グレー設定] ［グレーの設定を行う］にチェックマークを付けるとアクティブになります。［グレー設定］画面では、画像の明度とコントラストを調整することができます。（→グレー設定：P.2-16）

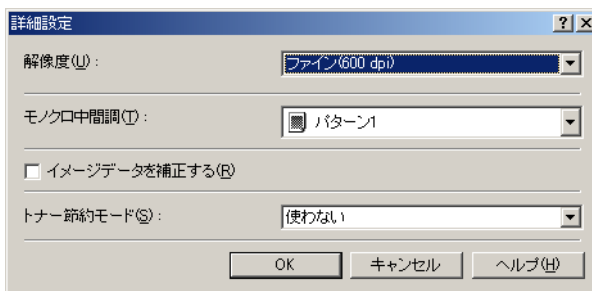
メモ ［グレー設定］は、［グレーの設定を行う］にチェックマークが付いているときだけ利用できます。

[設定確認] ［設定確認］画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます。（→設定確認：P.2-21）

[バージョン情報] ドライバソフトウェアの版権とバージョン情報が表示されます。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定値に戻します。

● 詳細設定

［印刷品質］タブの［詳細］をクリックすると、［詳細設定］画面が表示されます。この画面では、印刷品質を詳細に設定できます。

[解像度] プリンタの解像度を設定します。

[ファイン（600dpi）]

印刷データの処理を 600dpi で行い、高品質の印刷を行います。

[クイック（300dpi）]

印刷データの処理を 300dpi で行い、高速で印刷します。

[モノクロ中間調] モノクロ中間調のデータを印刷する場合のディザパターンの種類を選択します。

[パターン 1] テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対して同一のディザパターンを使用してプリントします。

[パターン 2] テキスト、グラフィックス、イメージデータのそれぞれに適応したディザパターンを使用してプリントします。

［パターン 3］ テキスト、グラフィックス、イメージデータのそれぞれに適応したディザパターンを使用してプリントします。低濃度の図形を含む文書などを印刷するときに効果的です。

［なし（黒ベタ）］ 白以外の色を黒で印刷します。

［イメージデータを補正する］

写真やグラフィックスなどのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。このような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定します。

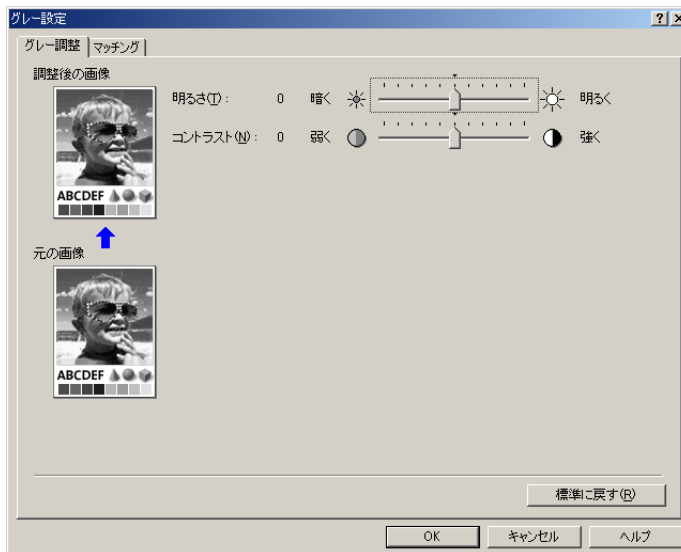
［トナー節約モード］ データを間引いて印刷が行われるため、印刷時のトナー使用量を節約することができます。原稿のチェック時などに利用することをお勧めします。

［パネル優先］ プリンタの操作パネルで行った設定を使用します。

［使わない］ 通常の印刷を行います。

［使う］ トナーを節約して印刷します。

● グレー設定

印刷品質タブの［グレー設定］をクリックすると、［グレー設定］画面が表示されます。この画面では、画像の明度とコントラストを調整することができます。［印刷品質］タブの［グレーの設定を行う］にチェックマークが付いているときに使用できます。（→［印刷品質］タブ：P.2-29）
［グレー設定］画面には 2 つのタブがあります。

● ［グレー調整］タブ

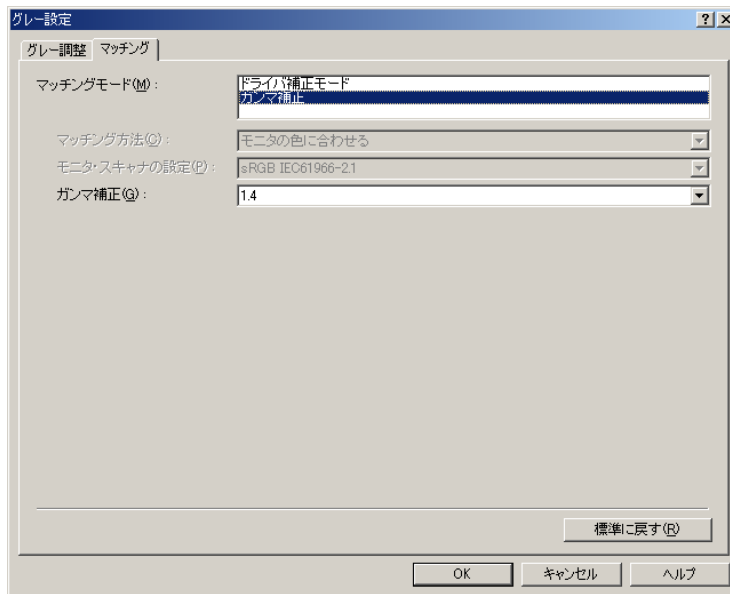
［調整後の画像］ 現在選択されている明度とコントラストの値で調整されたサンプル画像が表示されます。

［元の画像］ 調整前のサンプル画像が表示されます。

［明るさ］ 画像の明るさを、スライダーバーのつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。－５～５の範囲内で調整できます。

［コントラスト］ 印刷される画像のコントラストを、スライダーバーのつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。－５～５の範囲内で調整できます。

［標準に戻す］ 現在の設定を初期値に戻します。

●［マッチング］タブ

［マッチングモード］ マッチングの設定方法を選択します。（マッチングとは、印刷結果とモニタの表示やスキャナで取り込む前の画像とができるだけ同じ発色になるように補正することです。）

［ドライバ補正モード］

［マッチング方法］と［モニタ・スキャナの設定］で指定した方法で、マッチング処理を行います。

［ガンマ補正］ プルダウンリストで指定したガンマ値で、ガンマ補正を行います。

［マッチング方法］ ［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した場合に、どの要素を優先させてマッチングを行うかを設定します。

［モニタの色に合わせる］

モニタに表示される色味（色相）に合った出力結果となるようにマッチングを行います。

［色差最小］ ロゴなどの原稿と出力の色の差を最小にするようにマッチングを行います。白色は画面上で青みがかかっている場合でも白（紙白）で出力します。

[鮮やかな色に] 鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

メモ　［マッチング方法］は、［マッチングモード］が［ドライバ補正モード］に設定されているときにのみ選択できます。

[モニタ・スキャナの設定]

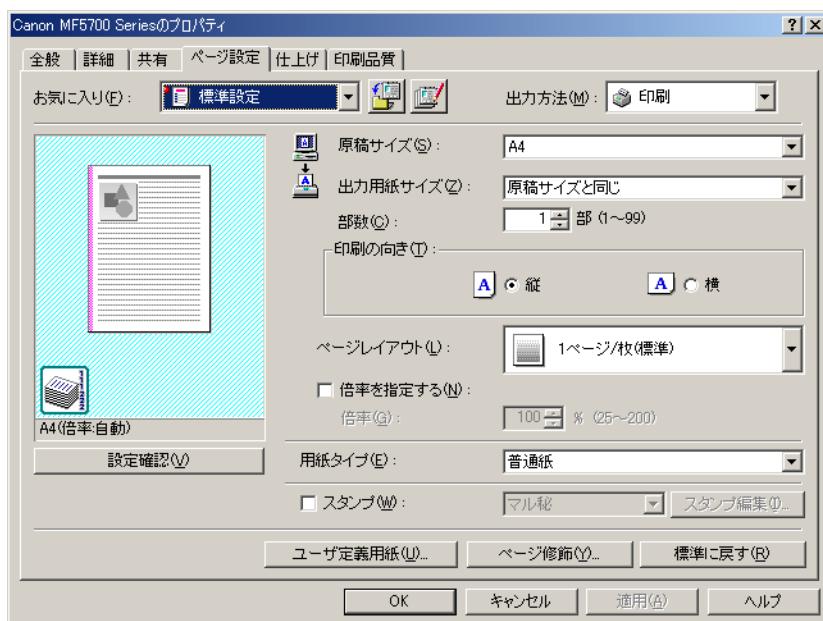
［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した場合に、使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目を選択できます。

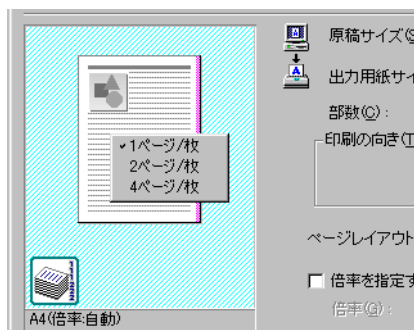
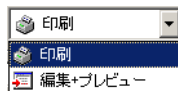
メモ　印刷画像がモニタ画面より薄く感じられる場合、ガンマ値を選択できるときはガンマ値を高く設定すると画面に近い色で印刷されます。
マッチング対象モニタ本体が初期状態の設定から変更されていると、対象モニタの発色に近づけて出力することが難しくなります。

[ガンマ補正] ［マッチングモード］で［ガンマ補正］を選択した場合に設定できます。原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。出力した結果がオリジナル画像（スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど）に比べて明るい場合や、明るさを変えて出力したい場合などに使用します。
［1.0］、［1.4］（初期設定値）、［1.8］、［2.2］から選択できます。設定数値が大きいほど暗く印刷されます。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定値に戻します。

■お気に入り

［ページ設定］、［仕上げ］および［印刷品質］タブの設定を組み合わせて登録したものを「お気に入り」と呼んでいます。各タブのお気に入り機能を使用すると、お気に入りの追加、編集、選択ができ、印刷ジョブが簡単に設定できます。

［お気に入り］　あらかじめいくつかの設定がお気に入りとして登録されています。使いたい設定をプルダウンリストから選択すると、さまざまな用途に合った印刷ができます。よく使う設定をお気に入りに登録しておくこともできます。

プレビュー画像　現在選択されている設定を反映した画像が表示されます。プレビュー画像内の任意の場所をクリックするたびに、［ページレイアウト］の設定値が変わります。（→［ページ設定］タブ：P.2-7）
設定値は、［1 ページ / 枚（標準）］→［2 ページ / 枚］→［4 ページ / 枚］→［1 ページ / 枚（標準）］の順に変わります。
プレビュー画像を右クリックするとポップアップメニューが表示され、そのメニューから［ページレイアウト］の設定を変更することもできます。ページのプレビュー画像の端をクリックすると、とじる向きが変わります。

［出力方法］　印刷ジョブを［印刷］と［編集 + プレビュー］の間で切り替えます。

［印刷］　通常の印刷を行います。

［編集 + プレビュー］

［Canon PageComposer］画面にデータを保存します。
［Canon PageComposer］画面では 2 つ以上の印刷ジョブを 1 つに結合して印刷したり、異なるアプリケーションソフトの印刷ジョブの編集ができます。
また、印刷ジョブのプレビュー表示もできます。（ロック）ボタンをクリックすると、［編集＋プレビュー］モードがロックされます。

（お気に入りの追加）

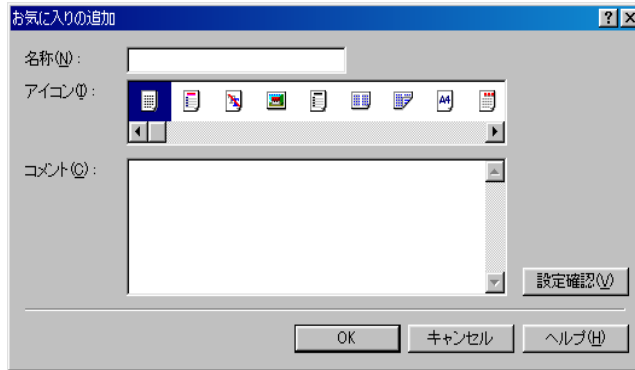
［お気に入りの追加］画面を表示して、新しい［お気に入り］を追加することができます。（→お気に入りの追加：P.2-20）

（お気に入りの編集）

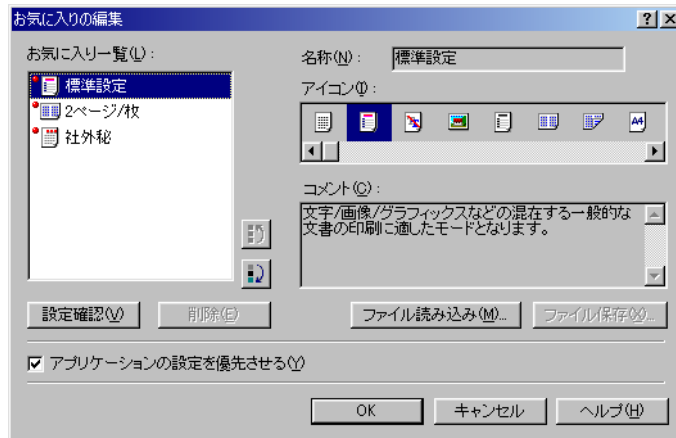
［お気に入りの編集］画面を表示して［お気に入り］を変更・削除することができます。（→お気に入りの編集：P.2-20）

［設定確認］　選択したお気に入りの設定内容を確認できます。（→設定確認：P.2-21）

● **お気に入りの追加**

（お気に入りの追加）をクリックすると、［お気に入りの追加］画面が表示されます。この画面では、現在の設定を新しいお気に入りとして登録できます。追加できるお気に入りは最大 50 個です。

［名称］	追加する「お気に入り」の名称を入力します。
［アイコン］	追加する「お気に入り」のアイコンを選択します。
［コメント］	追加する「お気に入り」に関するコメントを入力します。
［設定確認］	選択したお気に入りの設定内容を確認できます。（→設定確認：P.2-21）

● **お気に入りの編集**

（お気に入りの編集）をクリックすると、［お気に入りの編集］画面が表示されます。この画面では、［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを編集できます。

［お気に入り一覧］	登録されているお気に入りが一覧表示されます。
［設定確認］	選択したお気に入りの設定内容を確認できます。（→設定確認：P.2-21）
（上へ）	［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを 1 つ上へ移動します。

(下へ)　［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを１つ下へ移動します。

[削除]　［お気に入り一覧］から選択したお気に入りを削除します。

> メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）は削除できません。

[名称]　追加または編集する「お気に入り」の名称を入力します。

> メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）の名称は変更できません。

[アイコン]　追加または編集する「お気に入り」のアイコンを選択します。

> メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）のアイコンは変更できません。

[コメント]　追加または編集する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

> メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）のコメントは変更できません。

[ファイル読み込み]　ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、［お気に入り一覧］に追加します。

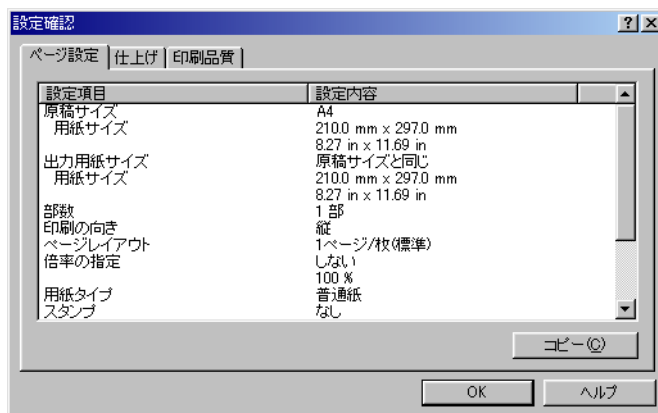
[ファイル保存]　［お気に入り一覧］で選択されている項目をファイルとして保存します。

> メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）は保存できません。

[アプリケーションの設定を優先させる]

チェックマークを付けると、［原稿サイズ］、［印刷の向き］および［部数］はアプリケーションの印刷画面での設定が有効になります。

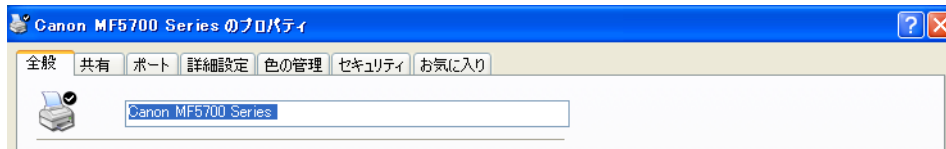
● 設定確認

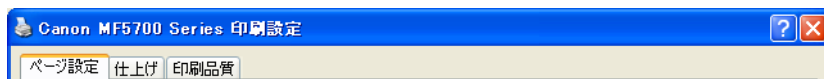
［設定確認］をクリックすると、［設定確認］画面が表示されます。この画面には、［ページ設定］、［仕上げ］および［印刷品質］タブの現在の設定が表示されます。

[コピー]　ドライバの設定内容やバージョン情報などがコピーされます。メモ帳などのアプリケーションソフトに貼り付けて設定や情報を確認することができます。

Windows 2000/XP/Server 2003 でのプロパティ画面と印刷設定画面

Windows 2000/XP/Server 2003 版のプリンタドライバには、次の 2 つの主要な画面があります。

■[プロパティ]画面

この画面では、プリンタの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用の印刷条件を設定できます。

■[印刷設定]画面

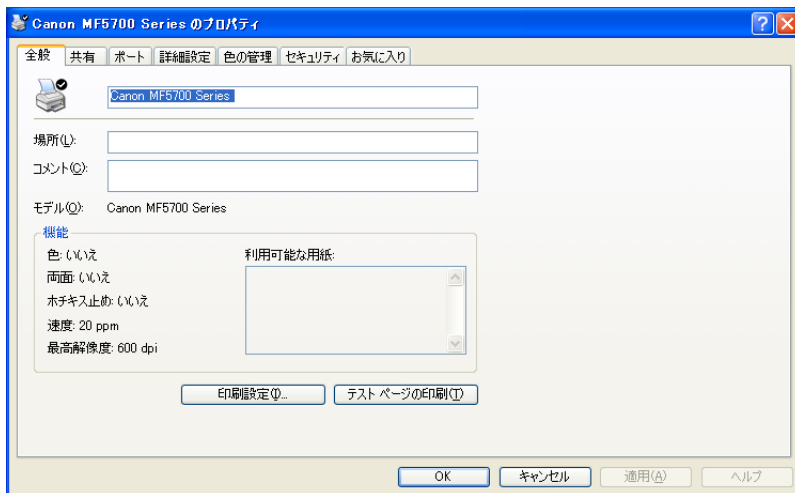
この画面では、本製品での印刷時に使用できる印刷オプションの初期設定を指定できます。

プリンタのプロパティ

[Canon MF5700 Series のプロパティ]画面には、プリンタの設定や、印刷条件を設定するためのタブがあります。

メモ

- [プロパティ]画面に表示されるタブの数は、お使いの環境によって異なります。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください(→困ったときの参照先:P.1-2)
- 画面は Windows XP を使用しています。

■[全般]タブ

テストページの印刷や印刷設定が行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■[共有]タブ

プリンタを共有する場合の名称などを設定します。このタブは、プリンタ共有が有効になっている場合のみ利用できます。(→ネットワーク上で共有プリンタを使用する:P.2-54)
詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［ポート］タブ

プリンタの接続先のポートを指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［詳細設定］タブ

印刷時のスプール機能の設定を指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

メモ　［印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う］および［すぐに印刷データをプリンタに送る］は、プリンタドライバのインストール時に自動的に有効（オン）に設定されます。

■［色の管理］タブ

カラープロファイルをプリンタに関連付けます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

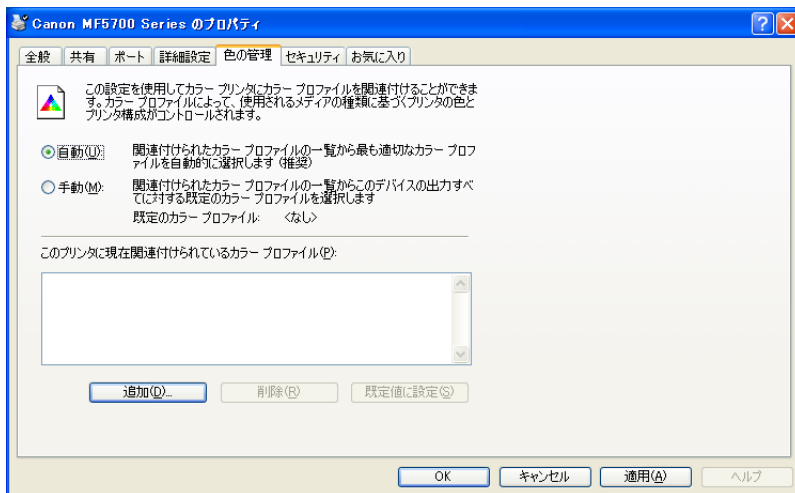
［自動］ 関連付けられたカラープロファイル一覧の中から最適なプロファイルを自動で選択する場合に選択します。

［手動］ カラープロファイルを手動で選択する場合に選択します。

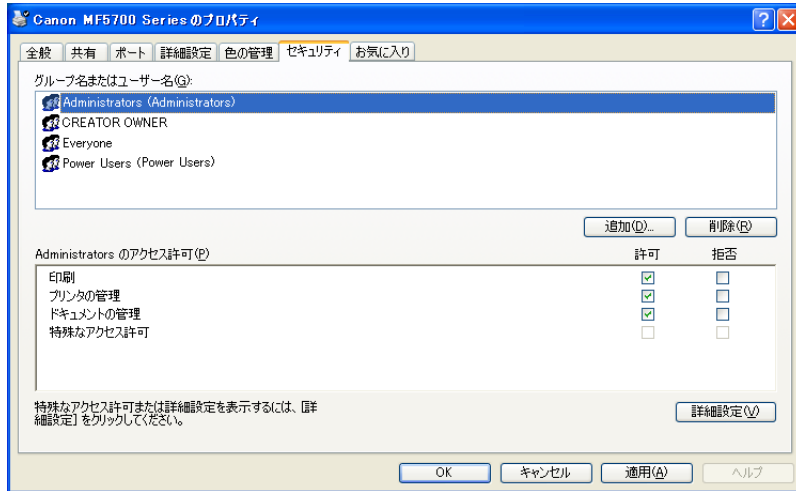
［このプリンタに現在関連付けられているカラー プロファイル］

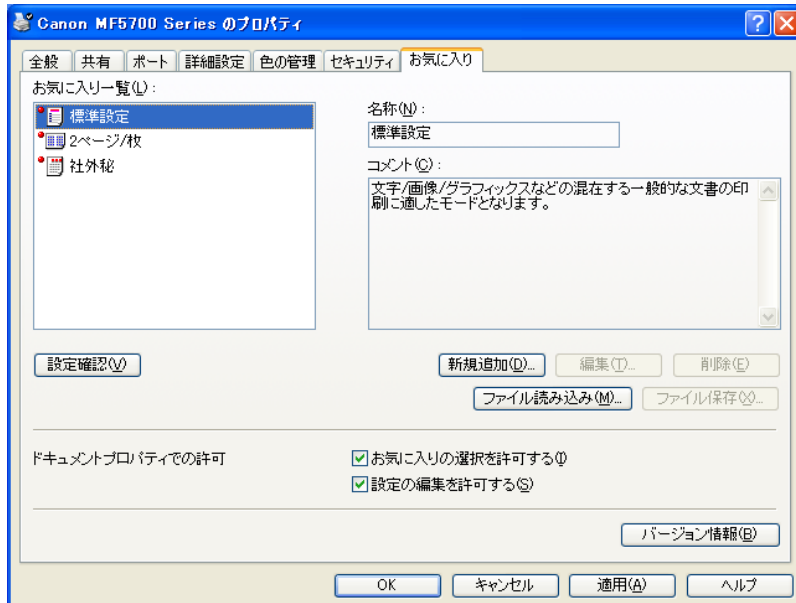
このプリンタに現在関連付けられているすべてのカラー プロファイルの一覧が表示されます。プロファイルをクリックして［既定値に設定］をクリックすると、プリンタに色の設定を適用するときに使うプロファイルに設定されます。

［追加］ プリンタに関連付けられるカラープロファイルを追加します。

［削除］ 選択されたカラープロファイルを、カラープロファイル一覧から削除します。

［既定値に設定］ ［手動］で選択したカラープロファイルを既定値として設定します。

■[セキュリティ］タブ

セキュリティの設定をします。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■[お気に入り］タブ

印刷ジョブに適用するお気に入りを追加、編集、選択することができます。

[お気に入り一覧] 登録されているお気に入りが一覧表示されます。

[名称] ［お気に入り一覧］で現在選択されているお気に入りの名前が表示されます。

[コメント] 現在選択されているお気に入りの説明が表示されます。

[設定確認] 現在選択されているお気に入りの設定を表示します。（→設定確認：P.2-47）

[新規追加] ［お気に入りの追加 / 編集］画面が表示され、新しいお気に入りを追加できます。（→お気に入りの追加 / 編集：P.2-28）

[編集] ［お気に入りの追加 / 編集］画面が表示され、登録されたお気に入りを編集できます。（→お気に入りの追加 / 編集：P.2-28）

メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）は編集できません。

[削除] ［お気に入り一覧］から選択したお気に入りを削除します。

メモ　はじめから定義されているお気に入り（[標準設定]、[2 ページ / 枚]、[社外秘]）は削除できません。

[ファイル読み込み] ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、［お気に入り一覧］に追加します。

[ファイル保存] ［お気に入り一覧］で選択されている項目をファイルとして保存します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りは保存できません。

[ドキュメントプロパティでの許可]

印刷プロパティの画面でお気に入りの設定を制御します。

[お気に入りの選択を許可する]

印刷プロパティの画面でお気に入りを選択できるようにします。

[設定の編集を許可する]

お気に入りの追加、編集および選択が行えるようにします。

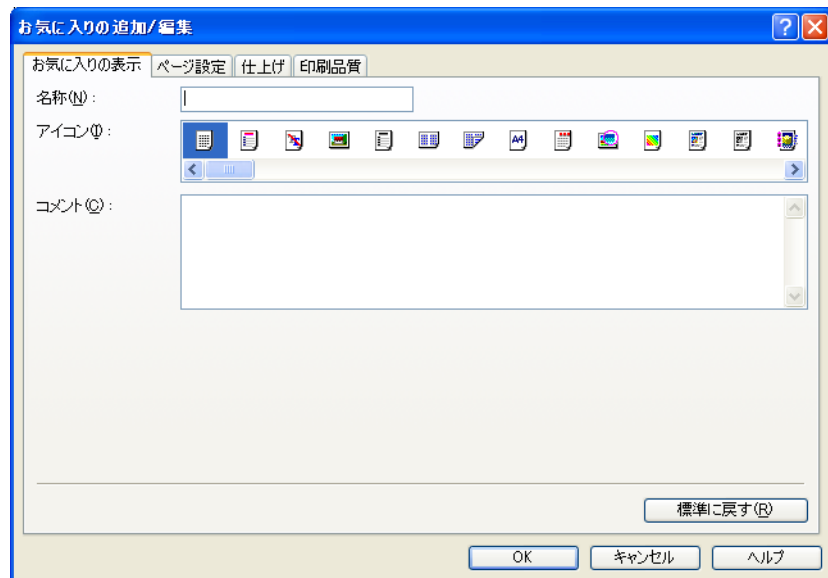
メモ ［お気に入りの選択を許可する］のチェックを外すと、［設定の編集を許可する］が使用できなくなります。

[バージョン情報] ドライバソフトウェアの版権とバージョン情報が表示されます。

● お気に入りの追加 / 編集

［新規追加］または［編集］をクリックすると、新しいお気に入りの登録や既存のお気に入りの編集が行える［お気に入りの追加 / 編集］画面が表示されます。この画面には、4つのタブがあります。

● ［お気に入りの表示］タブ

［お気に入りの表示］タブでは、お気に入りの名称、アイコンおよびコメントを指定できます。

[名称] 追加または編集する「お気に入り」の名称を入力します。

メモ はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

[アイコン] 追加または編集する「お気に入り」のアイコンを選択します。

メモ はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、アイコンは変更できません。

[コメント]　追加または編集する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りのコメントは変更できません。

[標準に戻す]　現在の設定を初期設定値に戻します。

● **[ページ設定] タブ**

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数などのページ情報を設定します。(→ [ページ設定] タブ：P.2-30)

● **[仕上げ] タブ**

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ情報を設定します。(→ [仕上げ] タブ：P.2-36)

● **[印刷品質] タブ**

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。(→ [印刷品質] タブ：P.2-38)

印刷設定

[Canon MF5700 Series 印刷設定] 画面には、すべての印刷ジョブに対する標準の印刷設定ができるタブが３つあります。

メモ

- アプリケーションの [印刷] 画面からこの画面を表示した場合には、選択した印刷設定は保存されず、現在の印刷ジョブにのみ適用されます。
- それぞれの機能について詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。(→困ったときの参照先：P.1-2)
- 画面は Windows XP を使用しています。

■[ページ設定] タブ

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。

[お気に入り]、[出力方法] については、「お気に入り」(→ P.2-44) を参照してください。

プレビュー画像 現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像の詳細については、「プレビュー画像」(→ P.2-45) を参照してください。

[原稿サイズ] アプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。選択できるサイズは [レター]、[レジャー]、[リーガル]、[エグゼクティブ]、[A5]、[B5]、[A4]、[B4]、[A3]、[封筒　洋形４号]、[封筒　洋形２号]、[はがき]、[往復はがき] および [ユーザ定義 (名称固定)] です。
ただし、[原稿サイズ] に [レジャー]、[B4] または [A3] を設定すると、[A4] サイズに収まるように元の原稿が自動的に縮小されます。

[出力用紙サイズ] 印刷する用紙サイズを選択します。[原稿サイズと同じ] 以外に設定すると、選択した用紙サイズに収まるように自動的に拡大 / 縮小して印刷されます。

[部数] 印刷する部数を指定します。(1 ～ 99 部)

[印刷の向き] 印刷する用紙の向きを指定します。([縦] または [横])

[ページレイアウト] 用紙 1 枚当たりに印刷する原稿の枚数を選択します。[1 ページ / 枚] および [ポスター] 以外に指定すると、選択したページレイアウトに収まるように自動的に原稿が縮小されて印刷されます。

[N ページ / 枚] 複数枚 (1、2、4、6、8、9、16 枚) の原稿を 1 枚の用紙にプリントします。

[ポスター (N × N)]

画像を拡大して、複数枚の用紙に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせてポスターのような大きなプリントができます。

メモ

- アプリケーションソフトによっては、部単位で印刷する機能がありますが、部単位の印刷機能と［ページレイアウト］の設定は同時に使用しないでください。
- ［ポスター］を選択すると、［倍率を指定する］、［スタンプ］、および［ページ修飾］が選択できなくなります。
- ［1 ページ / 枚］を選択すると［倍率を指定する］が表示されます。［1 ページ / 枚］および［ポスター］以外に設定すると、［倍率を指定する］の代わりに、［配置順］が表示されます。

［倍率を指定する］ 拡大 / 縮小して印刷する場合の倍率を指定します。チェックマークを付けると、右側の編集ボックスが使用可能になり、倍率（25 ～ 200 %）を指定できます。

メモ

- アプリケーションソフトの［印刷］画面で拡大 / 縮小率を設定できる場合、プリンタドライバでは等倍（100 %）を設定し、アプリケーションソフトで目的の拡大 / 縮小率を設定してください。

［配置順］ 1 枚の用紙に複数の原稿を印刷する場合に、用紙に原稿を配置する順序を選択します。

［スタンプ］ 選択したスタンプを各ページに付けて印刷します。6 種類のスタンプが用意されています。［スタンプ編集］でスタンプを追加することもできます。
- マル秘
- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- コピー禁止

［スタンプ］にチェックマークを付けると、［スタンプ編集］がアクティブになります。

メモ

［スタンプ］は、［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません。

［用紙タイプ］ 印刷する用紙の種類を選択します。利用可能な用紙の種類は次のとおりです。
- 普通紙 (64 ～ 90 g/m2)
- 普通紙 L
- 厚紙
- 厚紙 H
- OHP フィルム

メモ

出力用紙サイズとして、[封筒洋形 2 号]、または [封筒洋形 4 号] を選択すると、[用紙タイプ] は自動的に [封筒] に設定されます。
また、[はがき] または [往復はがき] を選択すると [用紙タイプ] は自動的に [はがき] に設定されます。

［スタンプ編集］ ［スタンプ編集］画面を表示して、スタンプ印刷の詳細設定を行います。（→スタンプ編集：P.2-32）

[ユーザ定義用紙] ［ユーザ定義用紙］画面を表示して、独自のサイズの用紙を設定します。（→ユーザ定義用紙：P.2-33）

メモ　［ユーザ定義用紙］は［スタート］から［設定］→［プリンタ］で表示した［印刷設定］画面でのみ設定できます。アプリケーションソフトから表示した［印刷設定］画面では設定できません。

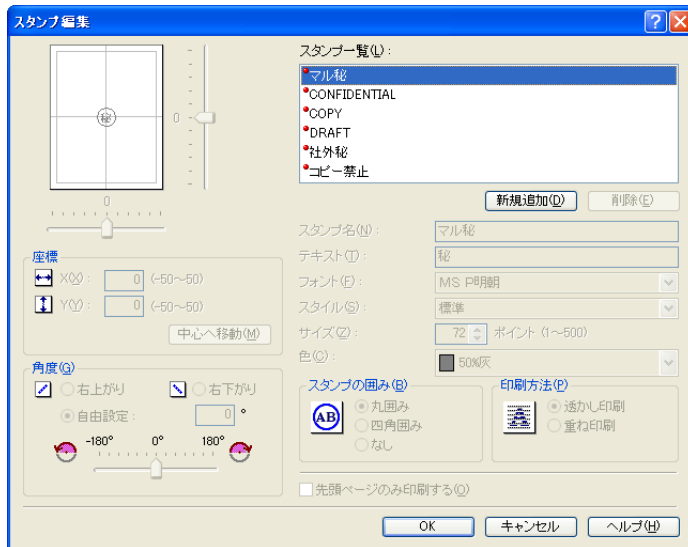
[ページ修飾] 日付やページ番号を印刷したり、用紙に枠を付けて印刷したい場合などに使用します。（→ページ修飾：P.2-35）

メモ　［ページ修飾］は、［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません。

[標準に戻す] 現在の設定を初期設定値に戻します。

[設定確認] ［設定確認］画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます。（→設定確認：P.2-47）

● スタンプ編集

［ページ設定］タブの［スタンプ編集］をクリックすると、［スタンプ編集］画面が表示されます。この画面では、登録されているスタンプを編集したり、新しくスタンプを作成することができます。［スタンプ編集］は、［ページ設定］タブで［スタンプ］にチェックマークが付いているときだけ利用できます。（→［ページ設定］タブ：P.2-30）

[スタンプ一覧] 登録されているスタンプ名が表示されます。画面の左上に選択したスタンプの画像が表示されます。

[新規追加] 新しいスタンプを登録することができます。［スタンプ名］にスタンプ名を入力し、［OK］をクリックすると登録が完了します。登録できるスタンプは最大 50 個です。

[削除] ［スタンプ一覧］で選択したスタンプを削除します。

メモ　はじめから定義されているスタンプは削除できません。

[座標] 各ページに印刷するスタンプの位置を指定します。[X] および [Y] の編集ボックスに値（-50 ～ 50）を入力するか、X と Y のスライドバーを使って位置を移動できます。

[中心へ移動] スタンプをページの中央に配置します。

[角度] スタンプを印字する角度を指定します。（0° は用紙に対して水平方向を表します）

- **[右上がり]** 用紙の対角線上（右上がり）に文字を配置します。
- **[右下がり]** 用紙の対角線上（右下がり）に文字を配置します。
- **[自由設定]** 任意の角度を入力します。用紙の水平方向（0°）を基準とする角度を設定します。スライドバーを使って角度を設定することもできます。

[スタンプ名] 新しいスタンプを入力します。最大で 31 文字まで（全角、半角を問わず）入力できます。登録されたスタンプ名は、[ページ設定] タブの [スタンプ] プルダウンリストに追加されます。

[テキスト] スタンプの文字列を入力します。最大で 31 文字まで（全角、半角を問わず）入力できます。

[フォント] スタンプとして印刷する文字列のフォントの種類を選択します。

[スタイル] スタンプの文字列のフォントスタイルを選択します。利用可能なスタイルは、[標準]、[斜体]、[太字]、および [太字 斜体] です。

[サイズ] スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを指定します。（1 ～ 500）

[色] スタンプとして印刷する文字列の色を選択します。

[スタンプの囲み] スタンプに枠を追加します。枠の種類は [丸囲み]、[四角囲み]、または [なし] から選択できます。

[印刷方法] スタンプの印刷方法を選択します。

- **[透かし印刷]** スタンプの文字をアプリケーションソフトで作成した文字などの上に透かして印刷します。
- **[重ね印刷]** スタンプの文字をアプリケーションソフトで作成した文字などの上に重ねて印刷します。重なった文字などは見えなくなることがあります。

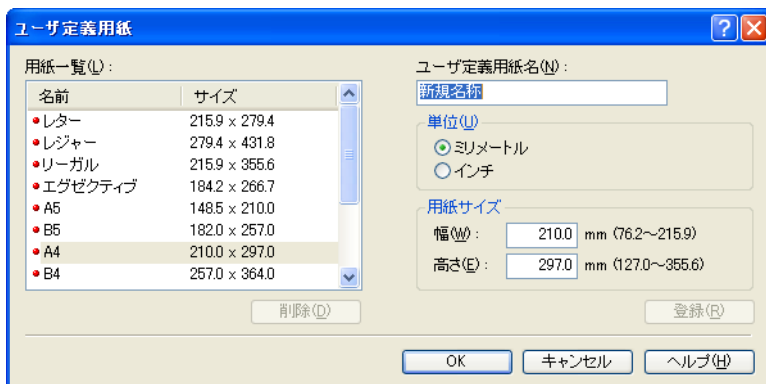
[先頭ページのみ印刷する]

選択したスタンプを原稿の先頭ページにのみ印刷します。

● ユーザ定義用紙

[ページ設定] タブで [ユーザ定義用紙] をクリックすると、[ユーザ定義用紙] 画面が表示され、独自の用紙サイズを設定できます。設定したサイズを [用紙一覧] に追加して、[ページ設定] タブから簡単に選択できます。各サイズの名前、幅、および高さを指定できます。ユーザ定義用紙サイズは最大 50 通りまで定義できます。

メモ

- [ユーザ定義用紙] は、[プリンタと FAX] フォルダ（Windows 2000 の場合は [プリンタ] フォルダ）から [Canon MF5700 Series 印刷設定] 画面を表示した場合にのみ設定できます。アプリケーションソフトから表示した [プロパティ] 画面からは設定できません。
- ユーザ定義用紙で印刷する場合は、マルチフィーダを使用してください。

[用紙一覧] 定型用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。

メモ ユーザ定義用紙（[ユーザ定義用紙（名称固定)］は除く）は、お使いのコンピュータのすべてのプリンタで共通に使用できます。ユーザ定義用紙は最大50 通りまで登録できます。

[ユーザ定義用紙名] 登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。最大で 31 文字まで（全角、半角を問わず）入力できます。

[単位] 用紙サイズの寸法単位を選択します。([ミリメートル］または［インチ])

[用紙サイズ] ユーザ定義用紙の幅と高さを指定します。

メモ
- [用紙サイズ］を指定するとき、[幅］には［高さ］より小さい値を入力してください。
- 用紙を横長に使って印刷する場合は、[印刷の向き］を［横］に設定します。

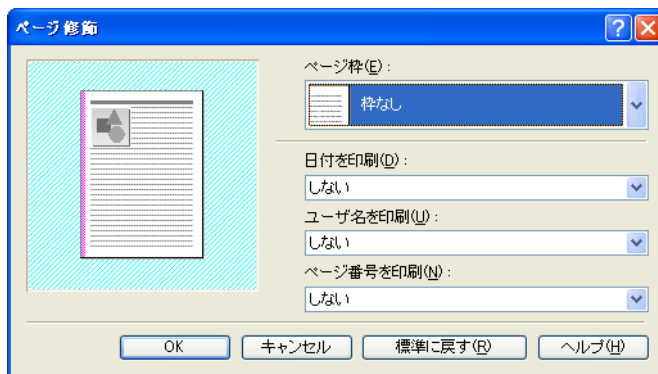
[登録] ユーザ定義用紙を登録して、その名前を［用紙一覧］に追加します。

メモ 新しく[ユーザ定義用紙]を登録するには、管理者権限を持つユーザ(Windows 2000/XP/Server 2003）またはパワー・ユーザ（Windows 2000 のみ）としてログオンする必要があります。現在の［ユーザ定義用紙］を変更するには、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

[削除] [用紙一覧］から選択したユーザ定義用紙を削除します。

メモ
- はじめから定義されている用紙サイズは削除できません。
- 登録されているユーザ定義用紙サイズを削除するには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

● ページ修飾

［ページ設定］タブの［ページ修飾］をクリックすると、［ページ修飾］画面が表示されます。この画面では、ページ枠、ヘッダ、およびフッタなどの設定ができます。［ページ修飾］は、［ページ設定］タブの［ページレイアウト］が［ポスター］に設定されている場合は使用できません。（→ P.2-30）

［ページ枠］ 用紙の周囲にページ枠を表示できます。ページ枠を印刷すると、枠の分だけ元の原稿は縮小して印刷されます。選択できるページ枠は 11 種類です。［印刷品質］タブの［グレー調整サンプルプリント］にチェックマークが付いているときは使用できません。（→グレー調整サンプルプリント：P.2-39）

［日付を印刷］ 日付を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、［しない］を選択します。日付の印刷可能位置は 6 か所です。

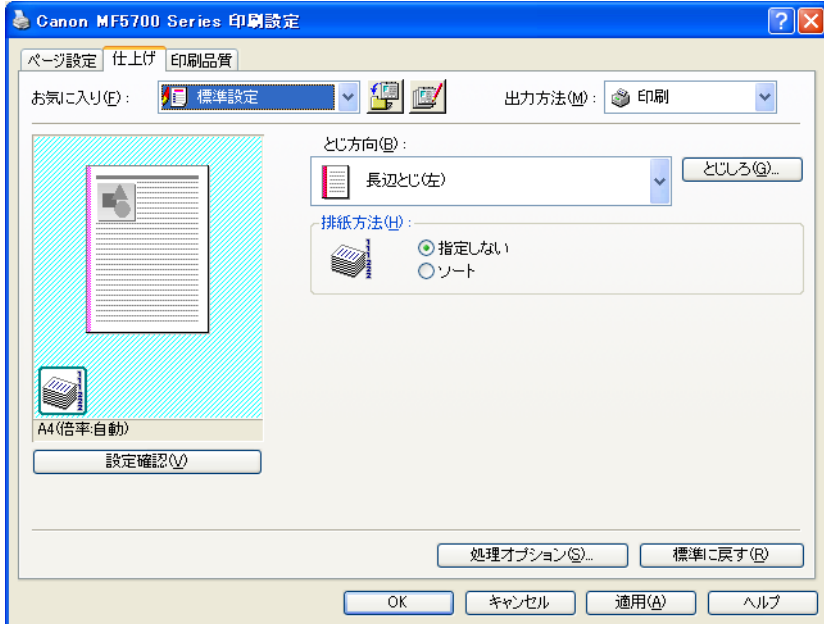
［ユーザ名を印刷］ コンピュータに登録されているユーザ名を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、［しない］を選択します。ユーザ名の印刷可能位置は 6 か所です。

［ページ番号を印刷］ ページ番号を印刷する位置を指定します。印刷しない場合は、［しない］を選択します。ページ番号の印刷可能位置は 6 か所です。

［標準に戻す］ 現在の設定を初期設定値に戻します。

■［仕上げ］タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。

［お気に入り］、［出力方法］については、「お気に入り」（→ P.2-44）を参照してください。

プレビュー画像　現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像の詳細については、「プレビュー画像」（→ P.2-45）を参照してください。

［とじ方向］　印刷原稿のとじ方（どの辺をとじるか）を設定します。［とじ方向］を設定すると、とじる辺に合わせて適切な余白が確保されます。

［とじしろ］　［とじしろ指定］画面が表示され、とじしろの幅を設定できます。（→とじしろ指定：P.2-37）

［排紙方法］　原稿を複数部数印刷する場合に、ソートして出力するかどうかを指定します。［ソート］を選択して 1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページが順に印刷されたあと、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。

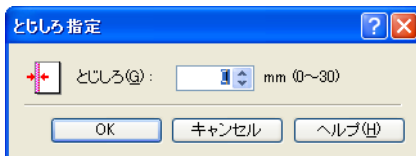
メモ　［排紙方法］で［ソート］を選択すると、プレビュー画面の左下の画像が変わります。

［処理オプション］　［処理オプション］画面が表示され、仕上げに関する詳細設定を行うことができます。（→処理オプション：P.2-37）

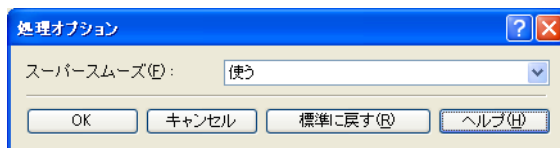
［標準に戻す］　現在の設定を初期設定値に戻します。

［設定確認］　［設定確認］画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます。（→設定確認：P.2-47）

● とじしろ指定

［仕上げ］タブの［とじしろ］をクリックすると、［とじしろ指定］画面が表示されます。

［とじしろ］　［とじ方向］で設定した辺に作成する「とじしろ」の範囲を 0 〜 30 mm で指定できます。とじしろを設定すると、印字領域は狭くなります。

● 処理オプション

［仕上げ］タブの［処理オプション］をクリックすると、［処理オプション］画面が表示されます。

［スーパースムーズ］　［スーパースムーズ］スーパースムーズ機能を設定します。スーパースムーズは、字や図形にあるギザギザの輪郭をなめらかに印刷する機能です。

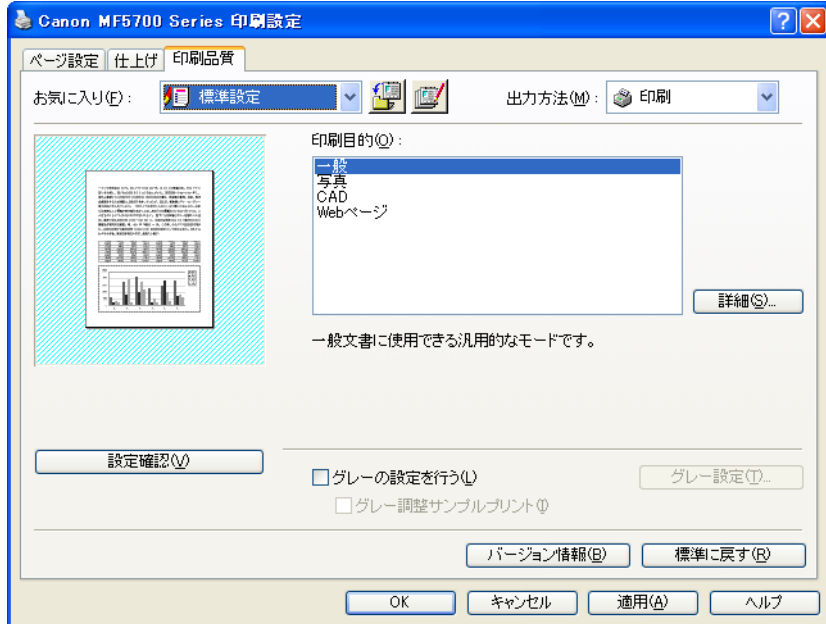
［使わない ］　スーパースムーズ機能を使わずに印刷します。

［使う］　スーパースムーズ機能を使って印刷します。

［標準に戻す］　現在の設定を初期設定に戻します。

■［印刷品質］タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。

［お気に入り］、［出力方法］については、「お気に入り」（→ P.2-44）を参照してください。

［印刷目的］ 原稿の内容に合わせて印刷目的を設定すると、最適な設定で印刷することができます。各項目を選択すると、欄外にその項目に関するコメントが表示されます。［詳細］をクリックすると印刷目的の詳細が表示されます。

［詳細］ ［詳細設定］画面を表示して印字の詳細設定を行うことができます。（→詳細設定：P.2-39）

［グレーの設定を行う］

チェックマークを付け、［グレー設定］をクリックして画像の詳細設定をします。プリンタドライバの初期値に戻す場合は、この項目のチェックマークを外します。

［グレー設定］ ［グレーの設定を行う］にチェックマークを付けるとアクティブになります。［グレー設定］画面では、画像の明度とコントラストを調整することができます。（→グレー設定：P.2-41）

メモ ［グレー設定］は、［グレーの設定を行う］にチェックマークが付いているときだけ利用できます。

［グレー調整サンプルプリント］

この項目は、［グレーの設定を行う］にチェックマークを付けた場合のみ設定できます。
［グレー設定］をクリックしたときに表示される［グレー調整］タブで設定を行ったあと、この項目にチェックマークを付けると、調整前と調整後のサンプル画像を 1 枚の用紙に印刷できます。調整結果を比較して、出力を調整するのに役立ちます。

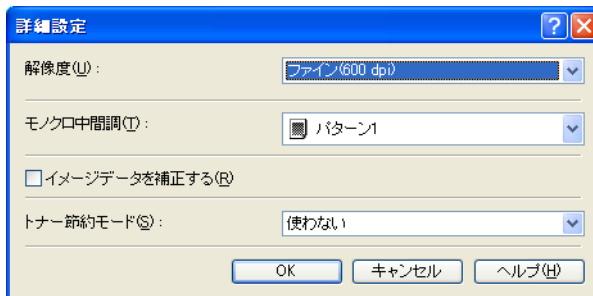
重要 グレー調整サンプルを印刷したあと通常の印刷を行う場合は、［グレー調整サンプルプリント］のチェックマークを外してください。

［設定確認］ ［設定確認］画面が表示され、現在のすべてのタブの設定内容を一覧で確認できます。（→設定確認：P.2-47）

［バージョン情報］ ドライバソフトウェアの版権とバージョン情報が表示されます。

［標準に戻す］ 現在の設定を初期設定値に戻します。

● 詳細設定

［印刷品質］タブの［詳細］をクリックすると、［詳細設定］画面が表示されます。この画面では、印刷品質を詳細に設定できます。

［解像度］ プリンタの解像度を設定します。

［ファイン（600dpi）］

印刷データの処理を 600dpi で行い、高品質の印刷を行います。

［クイック（300dpi）］

印刷データの処理を 300dpi で行い、高速で印刷します。

[モノクロ中間調] モノクロ中間調のデータを印刷する場合のディザパターンの種類を選択します。

[パターン 1] テキスト、グラフィックス、イメージのデータに対して同一のディザパターンを使用して印刷します。

[パターン 2] テキストはくっきり、グラフィックスはグラデーションをきれいに、イメージデータは自然な感じになるように、それぞれに適したディザパターンを使用して印刷します。

[パターン 3] テキストとグラフィックスはくっきり、イメージデータは自然な感じになるように２種類のディザパターンを使用して印刷します。低濃度の図形を含む文書などを印刷するときに効果的です。

[なし（黒ベタ）] 白以外の色を黒で印刷します。

[イメージデータを補正する]

写真やグラフィックスなどのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。このような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定します。

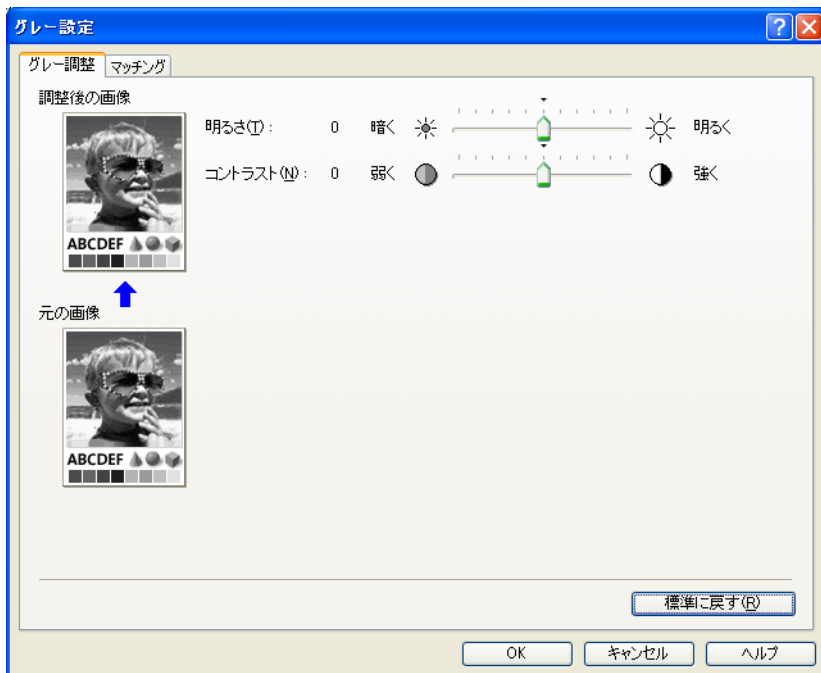
[トナー節約モード] データを間引いて印刷が行われるため、印刷時のトナー使用量を節約することができます。原稿のチェック時などに利用することをお勧めします。

[パネル優先] プリンタの操作パネルで行った設定を使用します。

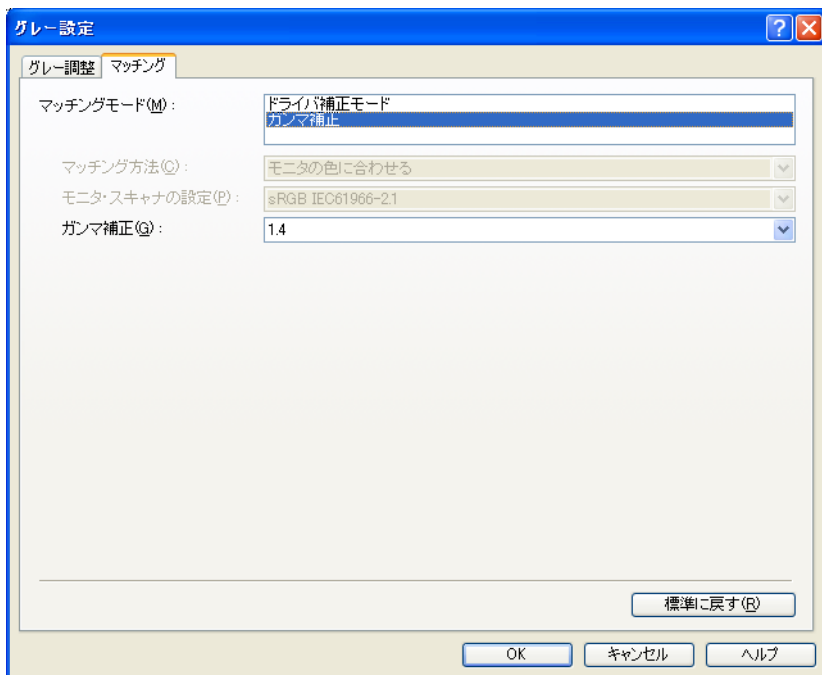
[使わない] 通常の印刷を行います。

[使う] トナーを節約して文字などを薄めに印刷します。

● グレー設定

印刷品質タブの［グレー設定］をクリックすると、［グレー設定］画面が表示されます。この画面では、画像の明度とコントラストを調整することができます。［印刷品質］タブの［グレーの設定を行う］にチェックマークが付いているときに使用できます。（→［印刷品質］タブ：P.2-38）
［グレー設定］画面には 2 つのタブがあります。

●［グレー調整］タブ

［調整後の画像］	現在選択されている明度とコントラストの値で調整されたサンプル画像が表示されます。
［元の画像］	調整前のサンプル画像が表示されます。
［明るさ］	画像の明るさを、スライダーバーのつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。－ 5 ～＋ 5 の範囲内で調整できます。
［コントラスト］	印刷される画像のコントラストを、スライダーバーのつまみを左右にドラッグして調整します。右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。－ 5 ～＋ 5 の範囲内で調整できます。
［標準に戻す］	現在の設定を初期設定値に戻します。

●［マッチング］タブ

［マッチングモード］ マッチングの設定方法を選択します (マッチングとは、印刷結果とモニタの表示やスキャナで取り込む前の画像とができるだけ同じ発色になるように補正することです)。

［ドライバ補正モード］

［マッチング方法］と［モニタ・スキャナの設定］で指定した方法で、マッチング処理を行います。

［ガンマ補正］ プルダウンリストで指定したガンマ値で、ガンマ補正を行います。

［マッチング方法］ ［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した場合に、どの要素を優先させてマッチングを行うかを設定します。

［モニタの色に合わせる］

モニタに表示される色味（色相）に合った出力結果となるようにマッチングを行います。

［色差最小］ ロゴなどの原稿と出力の色の差を最小にするようにマッチングを行います。白色は画面上で青みがかかっている場合でも白（紙白）で出力します。

［鮮やかな色に］ 鮮やかさを優先させてマッチングを行います。

メモ　この項目は、［マッチングモード］が［ドライバ補正モード］に設定されているときにのみ選択できます。

2 印刷する

[モニタ・スキャナの設定]

［マッチングモード］で［ドライバ補正モード］を選択した場合に、使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目を選択できます。

メモ

印刷画像がモニタ画面より薄く感じられる場合、ガンマ値を選択できるときはガンマ値を高く設定すると画面に近い色で印刷されます。

マッチング対象モニタ本体が初期状態の設定から変更されていると、対象モニタの発色に近づけて出力することが難しくなります。

[ガンマ補正]

［マッチングモード］で［ガンマ補正］を選択した場合は、［ガンマ補正］の項目を設定できます。

原稿の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。出力した結果がオリジナル画像（スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど）に比べて明るい場合や、明るさを変えて出力したい場合などに使用します。［1.0］、［1.4］（初期設定値）、［1.8］、［2.2］から選択できます。

設定数値が大きいほど暗く印刷されます。

[標準に戻す]

現在の設定を初期設定に戻します。

■お気に入り

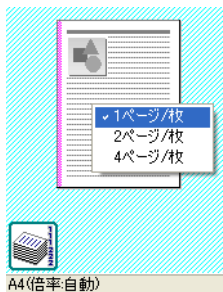
［ページ設定］、［仕上げ］および［印刷品質］タブの設定を組み合わせて登録したものを［お気に入り］と呼んでいます。各タブのお気に入り機能を使用すると、お気に入りの追加、編集、選択ができるため、印刷ジョブが簡単に設定できます。

［お気に入り］ あらかじめいくつかの設定がお気に入りとして登録されています。使いたい設定をプルダウンリストから選択すると、さまざまな用途に合った印刷ができます。よく使う設定をお気に入りに登録しておくこともできます。

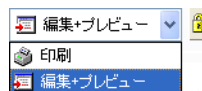
プレビュー画像

現在選択されている設定を反映した画像が表示されます。プレビュー画像内の任意の場所をクリックするたびに、[ページレイアウト] の設定値が変わります。設定値は、[1 ページ／枚 (標準)] → [2 ページ／枚] → [4 ページ／枚] → [1 ページ／枚 (標準)]… の順に変わります。

プレビュー画像の上でマウスを右クリックすると、［ページレイアウト］の設定変更用のポップアップメニューが表示されます。

ページのプレビュー画像のふちをクリックすると、「[とじ方向]」（→ P.2-36）を変更できます。

［出力方法］

印刷ジョブを［印刷］と［編集 + プレビュー］の間で切り替えます。

［印刷］

通常の印刷を行います。

［編集 + プレビュー］

［Canon PageComposer］画面にデータを保存します。[プリンタと FAX]（Windows 2000 では [プリンタ]）から [Canon MF5700 Series 印刷設定］画面を開き、［編集＋プレビュー］モードを選ぶと、（ロック）ボタンが表示されます。（ロック）ボタンをクリックすると、［編集＋プレビュー］モードがロックされます。

（お気に入りの追加）

［お気に入りの追加］画面が表示され、新しい［お気に入り］を追加することができます。（→お気に入りの追加：P.2-46）

（お気に入りの編集）

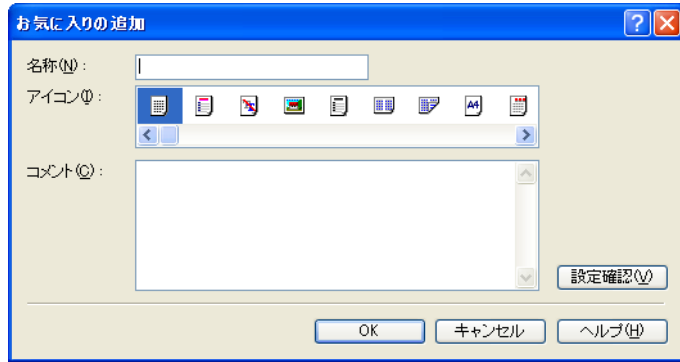
［お気に入りの編集］画面が表示され、［お気に入り］を変更・削除することができます。（→お気に入りの編集：P.2-46）

［設定確認］

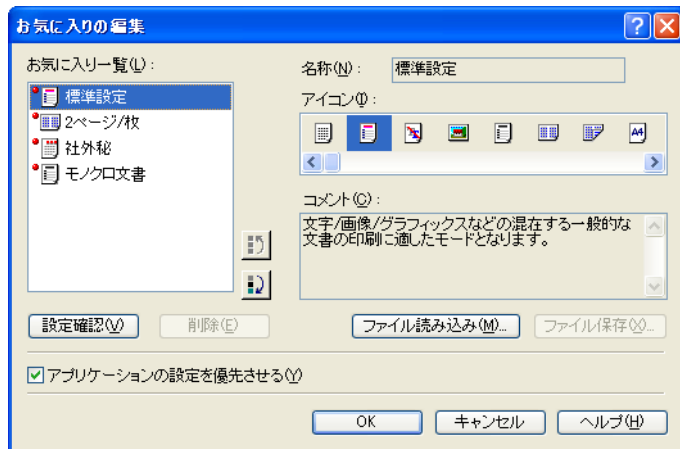
選択されたお気に入りの設定内容を確認できます。（→設定確認：P.2-47）

2
印刷する

● お気に入りの追加

（お気に入りの追加）をクリックすると、［お気に入りの追加］画面が表示されます。この画面では、現在の設定で新しいお気に入りを登録できます。追加できるお気に入りは最大 50 個です。

［名称］	追加する「お気に入り」の名称を入力します。
［アイコン］	追加する「お気に入り」のアイコンを選択します。
［コメント］	追加する「お気に入り」に関するコメントを入力します。
［設定確認］	選択されたお気に入りの設定内容を確認できます。（→設定確認：P.2-47）

● お気に入りの編集

（お気に入りの編集）をクリックすると、［お気に入りの編集］画面が表示されます。この画面では、［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを編集できます。

［お気に入り一覧］	登録されているお気に入りが一覧表示されます。
［設定確認］	選択されたお気に入りの設定内容を確認できます。（→設定確認：P.2-47）
（上へ）	［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを 1 つ上へ移動します。
（下へ）	［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを 1 つ下へ移動します。

[削除] ［お気に入り一覧］で選択したお気に入りを削除します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りや、プリンタのプロパティ画面の［お気に入り］タブで定義したお気に入りは削除できません。

[名称] 追加または編集する「お気に入り」の名称を入力します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りや、プリンタのプロパティ画面の［お気に入り］タブで定義したお気に入りの名称は変更できません。

[アイコン] 追加または編集する「お気に入り」のアイコンを選択します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りや、プリンタのプロパティ画面の［お気に入り］タブで定義したお気に入りのアイコンは変更できません。

[コメント] 追加または編集する「お気に入り」に関するコメントを入力します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りや、プリンタのプロパティ画面の［お気に入り］タブで定義したお気に入りのコメントは変更できません。

[ファイル読み込み] ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、［お気に入り一覧］に追加します。

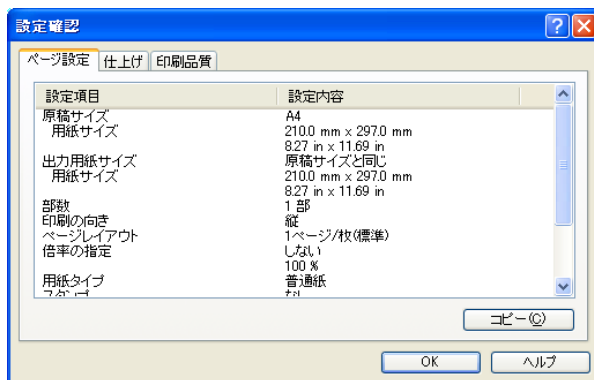
[ファイル保存] ［お気に入り一覧］で選択されている項目をファイルとして保存します。

メモ　はじめから定義されているお気に入りは保存できません。

[アプリケーションの設定を優先させる]

チェックマークを付けると、［原稿サイズ］、［印刷の向き］および［部数］はアプリケーションの印刷画面での設定が有効になります。

● 設定確認

［設定確認］をクリックすると、［設定確認］画面が表示されます。この画面には、［ページ設定］、［仕上げ］および［印刷品質］タブの現在の設定が表示されます。

[コピー] ドライバの設定内容やバージョン情報などがコピーされます。メモ帳などのアプリケーションソフトに貼り付けて設定や情報を確認することができます。

本製品をネットワーク上で使用する

この章では、Canon Satera MF5700 シリーズをネットワーク上で使用する方法について説明します。

本製品をネットワーク上の共有プリンタとして設定すると複数のコンピュータで本製品を印刷用に共有して使用できます。プリントサーバとクライアントは、同じオペレーティングシステムを使用する必要はなく、また Windows 98/Me クライアントから Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバへ印刷したり、またはその逆へ印刷したりするなど異なる環境のコンピュータでも利用できます。

クライアントの起動時にサーバが動作していない場合でも、サーバを起動するだけで印刷を開始することができます。

サーバが Windows 2000/XP/Server 2003 上で動作している場合は、サーバにログインしているユーザがいなくても印刷できます。

本製品を共有プリンタとして設定する

ネットワーク上で Canon Satera MF5700 シリーズを共有する場合は、プリントサーバをそれぞれにインストールしてから、次の設定を行います。詳しくは、プリントサーバシステムのマニュアルを参照してください。

■Windows 2000/XP/Server 2003 でのサーバの設定

ここでは、Windows 2000/XP/Server 2003 でネットワークを使って本製品を共有できるようにする手順を説明します。

● サーバサービスを追加する (Windows XP)

1. **タスクバーの［スタート］をクリックして［コントロールパネル］を選択します。**

   ［コントロールパネル］フォルダが表示されます。

2. **［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。**

   ［ネットワークとインターネット接続］フォルダが表示されます。

3. **[ネットワーク接続] をダブルクリックします。**

   [ネットワーク接続] フォルダが表示されます。

4　[ローカルエリア接続] アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

[ローカル エリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

5　[Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有]にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

サーバサービスが追加されます。

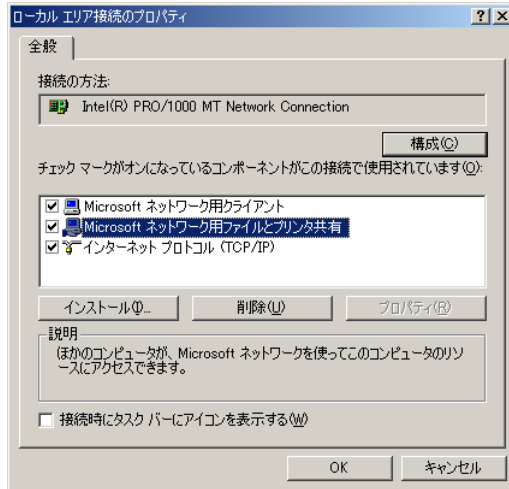
● サーバサービスを追加する (Windows 2000)

1　タスクバーの [スタート] から [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。

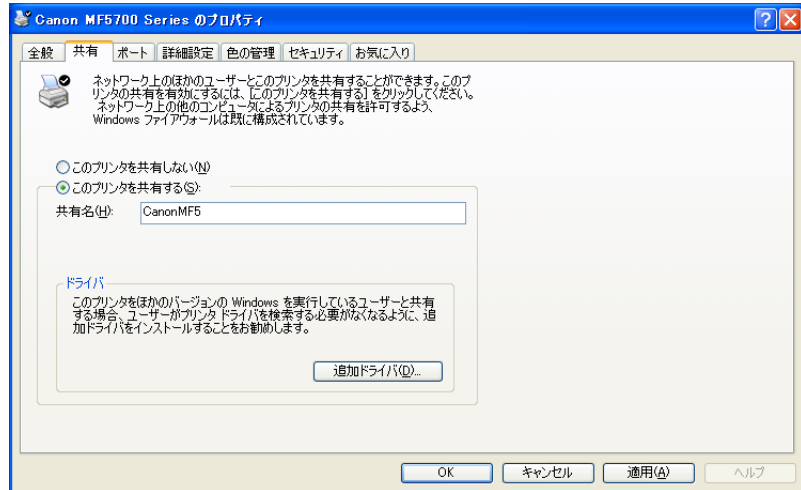
[ネットワークとダイヤルアップ接続] フォルダが表示されます。

2　[ローカルエリア接続] アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

[ローカル エリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

3 [Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有]にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

サーバサービスが追加されます。

● プリンタの共用を設定する

1 [Canon MF5700 Series のプロパティ] 画面を表示し、[共有] タブの [このプリンタを共有する]（Windows 2000 では [共有する]）を選択します。

メモ　[Canon MF5700 Series のプロパティ] 画面を表示する方法については、「印刷の設定を変更する」（→ P.2-3）を参照してください。

2 必要に応じて、共有名を入力します。

メモ ［共有名］には、スペースまたは特殊文字を入力しないでください。

3 ［OK］をクリックします。

プリンタドライバアイコンが共有を表すアイコンに変わります。

■Windows 98/Me でのサーバ設定

ここでは、Windows 98/Me でネットワークを使って本製品を共有できるようにする手順を説明します。

画面は Windows 98 を使用しています。

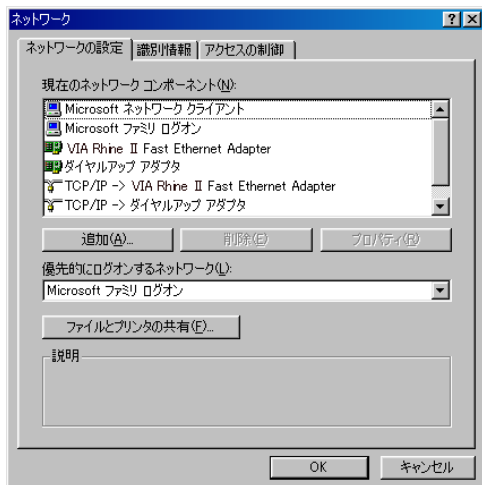
● サーバサービスを追加する

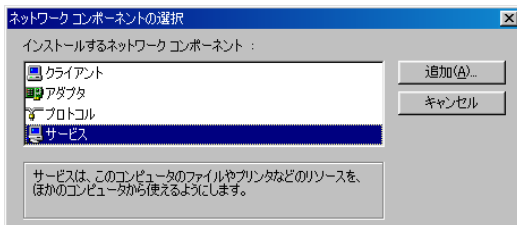
1 タスクバーの［スタート］から［設定］→［コントロールパネル］を選択します。

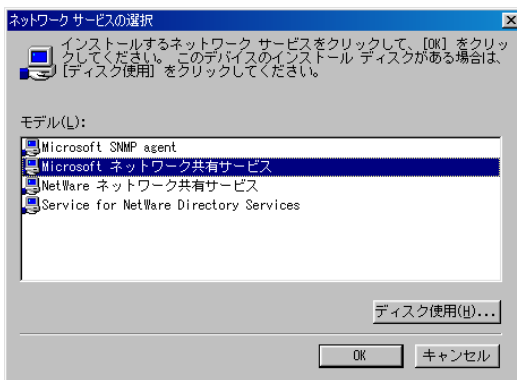
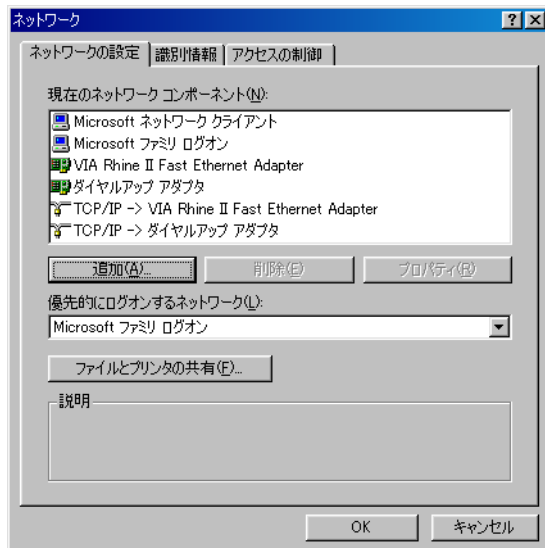
［コントロールパネル］フォルダが表示されます。

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

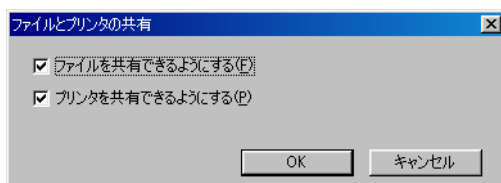
［ネットワーク］画面が表示されます。

3 ［ネットワークの設定］タブで［追加］をクリックします。

［ネットワークコンポーネントの選択］画面が表示されます。

4 ［サービス］を選択し、［追加］をクリックします。

［ネットワークサービスの選択］画面が表示されます。

5 ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。

6 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

［ファイルとプリンタの共有］画面が表示されます。

7 ［プリンタを共有できるようにする］にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

2
印刷する

8　［アクセス制御］タブを選択し、［共有レベルでアクセスを制御する］または［ユーザーレベルでアクセスを制御する］にチェックマークを付けます。

9　［OK］をクリックします。

サーバサービスが追加されます。

確認メッセージが表示された場合は、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動してください。

ネットワーク上で共有プリンタを使用する

Satera MF5700 シリーズがすでにネットワーク上にあり、共有プリンタとして設定されている場合は、ネットワーク経由で使用できます。お使いのコンピュータから本製品を利用できるようにするには、ネットワークダウンロードを使用する方法が最も簡単です。ただし、お使いのオペレーティングシステムが Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、Windows 98/Me サーバからドライバをダウンロードできません。その場合は、［プリンタの追加ウィザード］を使用してください。

■ネットワークダウンロード

ここでは、ネットワークダウンロードを使ってネットワーク上の共有プリンタに接続する手順を説明します。

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 クライアントは、Windows 98/Me サーバからドライバをダウンロードできません。

1 **エクスプローラを開いて、共有プリンタのアイコンが見つかるまでネットワークを検索します。**

2 **目的のプリンタアイコンをダブルクリックするか、そのプリンタアイコンを［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダへドラッグします。**

［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。

3 **画面の指示に従ってインストールします。**

■プリンタの追加ウィザード（Windows 2000/XP/Server 2003）

ここでは、Windows 2000/XP/Server 2003 を使ってネットワーク上の共有プリンタに接続する手順を説明します。

重要　Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いのときは、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。

1 **［プリンタと FAX］(Windows 2000 の場合は、［プリンタ］) フォルダを開きます。**

タスクバーの［スタート］から［プリンタと FAX］（Windows 2000 の場合は、［スタート］から［設定］→ ［プリンタ］)）を選択します。

2 **［プリンタの追加ウィザード］画面を表示します。**

［プリンタのタスク］にある［プリンタのインストール］をクリックします (Windows 2000 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします)。

3 **［次へ］をクリックします。**

4 **［ネットワークプリンタ、またはほかのプリンタに接続されているプリンタ］（Windows 2000 場合は、［ネットワーク プリンタ］）を選択し、［次へ］をクリックします。**

［プリンタの指定］（Windows 2000 の場合は、［プリンタの検索］）画面が表示されます。

5 **[指定したプリンタに接続する（プリンタを参照するにはこのオプションを選択して［次へ］をクリック）]（Windows 2000 の場合は、[プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します]）を選択し、接続先のプリンタの名前を入力して、[次へ］をクリックします。**

プリンタの名前がわからない場合は、名前を入力しないで［次へ］をクリックし、［プリンタの参照］画面へ進みます。一覧からプリンタを選択して、［OK］をクリックします。

メモ
- プリンタ名が無効の場合は、クライアントは共有プリンタへ接続できません。
- 適切なドライバが見つからない場合は、サーバがWindows 98/Meコンピュータである可能性があります。

6 **画面の指示に従ってインストールします。**

■プリンタの追加ウィザード（Windows 98/Me）

ここでは、Windows 98/Me の［プリンタの追加ウィザード］を使ってネットワーク上の共有プリンタに接続する手順を説明します。

画面は、Windows 98 を使用しています。

1 **タスクバーの［スタート］から［設定］→ ［プリンタ］を選択します。**

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリックします。**

4 **［ネットワークプリンタ］を選択し、[次へ］をクリックします。**

5 **接続先のネットワークパスまたはプリントキューを入力するか、共有プリンタの場所を選択します。**

● **場所を直接入力する場合**

パス名またはプリントキューを入力します。

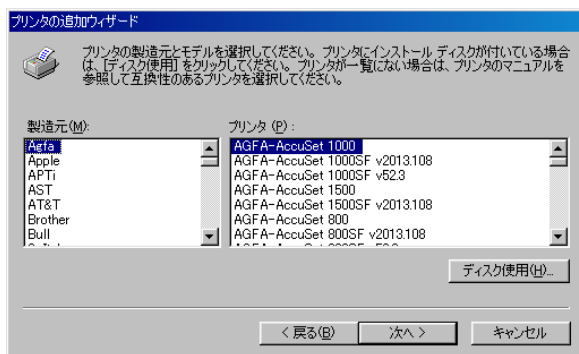
● **場所を選択する場合**

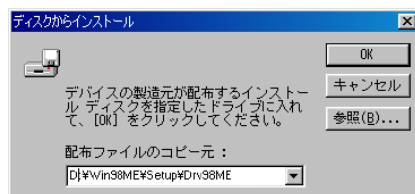
［参照］をクリックします。

プリンタの場所を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　ネットワーク環境によっては、ドライバのインストールが自動的に実行される場合があります。その場合、次の手順 7 〜 10 は不要です。

6 ［次へ］をクリックします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

［ディスクからインストール］画面が表示されます。

8 プリンタドライバが存在する場所を選択します。

● **初期設定の場所を指定する場合**

手順 9 に進みます。

● **場所を変更する場合**

［参照］をクリックします。

プリンタドライバが存在する場所を選択し、［OK］をクリックします。

パス名を直接入力することもできます。

9 ［OK］をクリックします。

10 使用するプリンタ名を入力し、［次へ］をクリックします。

標準のプリンタ名を使用する場合は、そのままの状態で、［次へ］をクリックします。

メモ　接続に失敗した場合、プリンタのインストールは可能ですが、正しくネットワーク接続されるまでプリンタを使用することはできません。

11 画面の指示に従ってインストールします。

原稿をスキャンする

3
CHAPTER

ここでは、原稿をコンピュータに読み込む（スキャンする）手順について説明します。

重要　よりよい品質でスキャンするためには、原稿を原稿台ガラスに置いて読み込むことをお勧めします。ADF を使っての読み込みは、鮮明な画像が得られないことがあります。

操作パネルのキーを使って読み込む

本体操作パネルの［スキャン］を押して［スタート］を押すだけで、原稿をコンピュータに読み込むことができます。

［スキャン］を押して［スタート］を押すと、MF Toolbox の［保存］をクリックしたときと同じように読み込まれます。

［保存］の設定を変えたり、他のボタンを動作させるように設定することもできます。（→［スタート］を押したときの読み込み方を設定する：P.3-2）

メモ　本製品は、ローカルスキャナ（直接コンピュータに接続して使用するスキャナ）としてお使いください。

1　原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

2　［スキャン］を押して［スタート］を押します。

利用するプログラムをたずねてきたら、MF Toolbox Ver4.7 を選択します。

読み込みが始まります。

MF Toolbox と［保存］画面が開きますが、［保存］画面の［スタート］をクリックしなくても読み込みは開始されます。

設定に従って原稿が読み込まれます。

［スタート］を押すと、［マイドキュメント］フォルダの［マイピクチャ］フォルダに、その日の日付のフォルダが自動的に作成され、読み込まれた原稿が保存されます。［マイピクチャ］フォルダがない場合は、［マイドキュメント］フォルダの中にその日の日付のフォルダが作成され、原稿が保存されます。

［スタート］を押したときの読み込み方を設定する

初期設定では、操作パネルの［スタート］を押すと、MF Toolbox の［保存］をクリックしたときと同じ動作をするように設定されています。

［スタート］からのスキャン動作を設定する

1 デスクトップの［Canon MF Toolbox 4.7］をダブルクリックします。

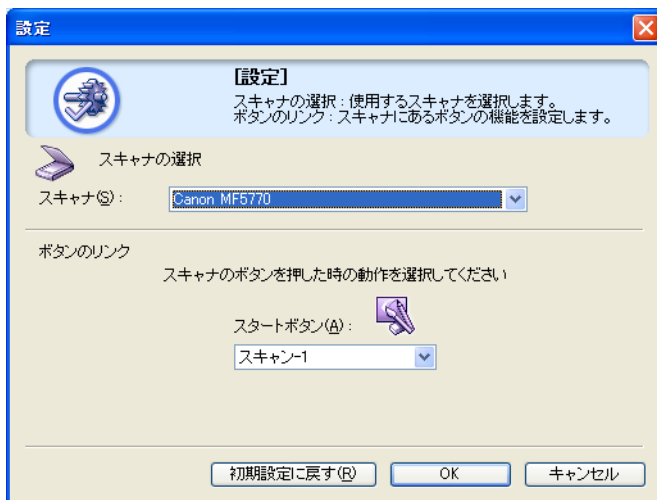
または、タスクバーの［スタート］から、［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.7］→［Toolbox 4.7］をクリックします。

MF Toolbox が開きます。

2 マークを、選びたいボタンの上にドラッグします。

選んだボタンの上に マークが移動します。

[設定] 画面で [スタート] を設定する

MF Toolbox で [設定] をクリックします。[設定] 画面の [スタートボタン] のプルダウンリストから、操作パネルの [スタート] に割り当てる動作を選択します。

[スキャナとカメラ] フォルダから、[スタート] で起動させるアプリケーションを設定することができます。(→ [スキャナとカメラ] フォルダで [スタート] を設定する : P.3-3)

[スキャナとカメラ] フォルダで [スタート] を設定する

メモ　Windows 98/2000 の場合は [スキャナとカメラのプロパティ] 画面と表示されます。

1 **[スキャナとカメラ] フォルダ (Windows 98/2000 の場合は [スキャナとカメラのプロパティ] 画面) を開きます。**

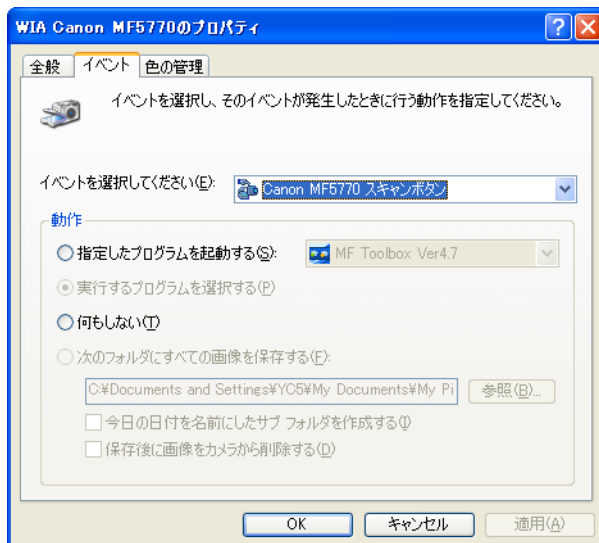
タスクバーの [スタート] から、[コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [スキャナとカメラ] をクリックします。(Windows 98/Me/2000 のときは、[設定] → [コントロールパネル] をクリックして、[スキャナとカメラ] のアイコンをダブルクリックします。)

2 **開きたいスキャナドライバ名またはアイコンをクリックします。**

3　［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。（Windows 98/2000 の場合は、［プロパティ］をクリックします。）

4 ［スタート］に割り当てる動作を指定します。

● Windows XP の場合

［イベント］タブの［イベントを選択してください］のプルダウンリストから［Canon MF5730 スキャンボタン］、［Canon MF5750 スキャンボタン］または［Canon MF5770 スキャンボタン］を選択し、［動作］欄で起動するプログラムを選択して、［OK］をクリックします。

● Windows 98/2000/Me の場合

［イベント］タブの［スキャナイベント］で［Canon MF5730 スキャンボタン］、［Canon MF5750 スキャンボタン］または［Canon MF5770 スキャンボタン］を選択し、［次のアプリケーションに送る］で起動するプログラムを選択して、［OK］をクリックします。
［デバイスのイベントを実行しない］にはチェックを入れないでください。

メモ　スキャナの［プロパティ］画面で指定した設定がすぐに反映されないときは、USB ケーブルを外し、もう一度接続し直すか、コンピュータを再起動させてください。

MF Toolbox を使って読み込む

MF Toolbox の各ボタンを使って原稿を読み込みます。

1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。**

2 **デスクトップの［Canon MF Toolbox 4.7］をダブルクリックします。**

または、タスクバーの［スタート］から、［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.7］→［Toolbox 4.7］をクリックします。

MF Toolbox が開きます。

［MF Toolbox］

3 **目的に合った MF Toolbox のボタンをクリックします。**

[メール] 原稿が読み込まれ、E メールソフトで画像を添付したメールが作られます。

[OCR] 原稿が読み込まれ、OCR ソフト（文字読み取りソフト）に読み込まれます。

[保存] 原稿が読み込まれ、保存されます。

[PDF] 原稿が読み込まれ、PDF ファイルとして保存されます。

[スキャン -1]、[スキャン -2]

原稿が読み込まれ、登録されたアプリケーションで表示されます。ボタン名は、直接入力して変えることができます。全角 4 文字（半角 8 文字）まで入力できます。

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

［メール］画面の例

4 設定を行います。

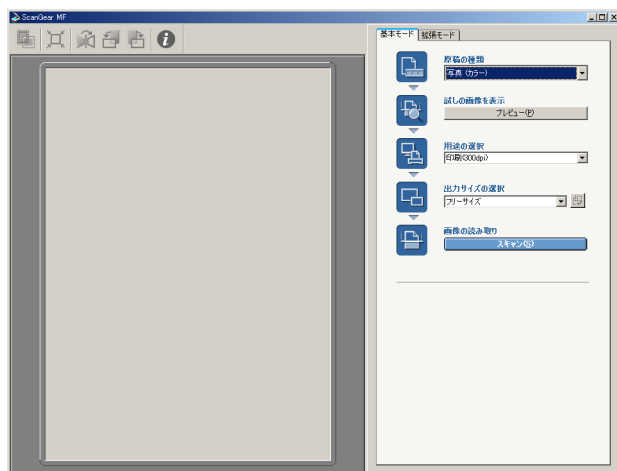
詳しくは、「MF Toolbox を設定する」（→ P.3-9）を参照してください。

［メール］、［保存］または［PDF］以外のボタンをクリックして、［スキャン画像の渡し先］にアプリケーションが表示されていないときは、アプリケーションを登録してください。

次回以降も同じ設定にしたいときは、［適用］をクリックしてから［スタート］をクリックします。

5 ［スタート］をクリックします。

手順 4 の操作で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークを付けたときは、ScanGear MF が開きます。

設定を行って、［スキャン］をクリックします。

「ScanGear MF」画面

詳しくは、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」(→ P.3-18) を参照してください。

読み込みが行われます。

手順 3 で［メール］、［保存］または［PDF］をクリックしたときは、［マイドキュメント］フォルダの中の［マイピクチャ］フォルダに読み込んだ日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。［マイドキュメント］フォルダの中に［マイピクチャ］フォルダがない場合は、［マイドキュメント］フォルダの中に読み込んだ日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

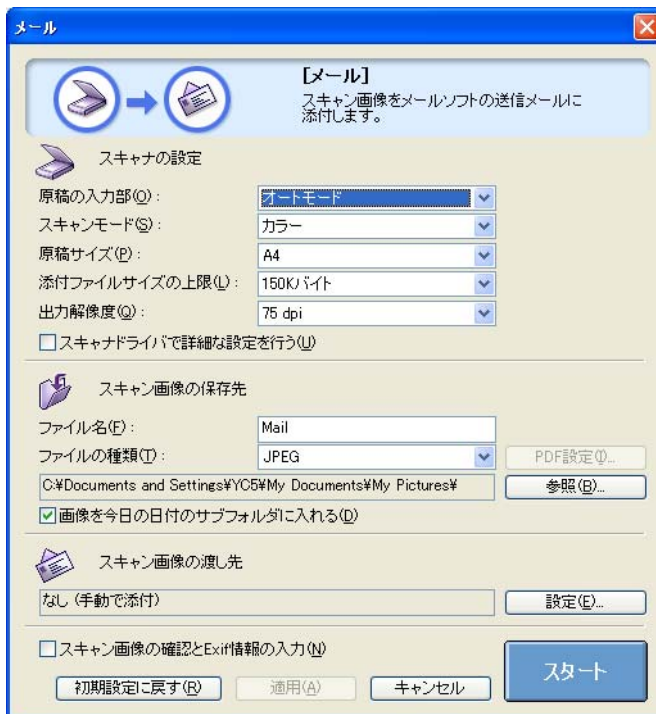
手順 3 で［メール］、［OCR］、［PDF］、［スキャン -1］または［スキャン -2］をクリックしたときは、読み込みが終わると、読み込んだ原稿がアプリケーションに表示されますので、メールの送信や OCR の変換などの操作をしてください。(付属のユーザソフトウェア CD-ROM に収められているアプリケーションがインストールされていない場合や、［スキャン画像の渡し先］が設定されていないときは読み込んだ原稿は表示されません。)

付属のユーザソフトウェアCD-ROMに収められているアプリケーションはインストールされると、次の MF Toolbox ボタンに登録されます。

［OCR］e.Typist エントリー

［PDF］やさしくファイリングエントリー

メモ スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）の端から約 3 mm 離してセットしてください。

メール
[メール]
スキャン画像をメールソフトの送信メールに添付します。
スキャナの設定
原稿の入力部(O)：
オートモード
スキャンモード(S)：
カラー
原稿サイズ(P)：
A4
添付ファイルサイズの上限(L)：
150Kバイト
出力解像度(Q)：
75 dpi
スキャナドライバで詳細な設定を行う(U)
スキャン画像の保存先
ファイル名(F)：
Mail
ファイルの種類(T)：
JPEG
PDF設定(I)...
C:¥Documents and Settings¥YC5¥My Documents¥My Pictures¥
参照(B)...
画像を今日の日付のサブフォルダに入れる(D)
スキャン画像の渡し先
なし（手動で添付）
設定(E)...
スキャン画像の確認とExif情報の入力(N)
初期設定に戻す(R)
適用(A)
キャンセル
スタート

［メール］画面の例

スキャナを設定する

スキャンモード、読み取り解像度、原稿サイズや読み込んだ画像のサイズを指定することができます。ScanGear MF を使って詳細な設定を行うこともできます。

■[原稿の入力部]

[原稿台ガラス]、[自動給紙装置（ADF）]、[オートモード］から選択できます。

メモ　[オートモード］が選択されていると、ADF にセットされた原稿が自動的に読み込まれます。ADF に原稿がセットされていないときは原稿台ガラスの原稿が読み込まれます。

■[スキャンモード]

原稿の種類と読み込みかたを選択します。MF Toolbox のどのボタンをクリックしたかによって、選択できるスキャンモードが変わります。

[白黒]	白と黒の画像（白黒 2 値の画像）になるように原稿を読み込みます。
[白黒 (OCR)]	OCR ソフトに適した白黒画像になるように原稿を読み込みます。
[グレースケール]	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿を読み込みます。写真を読み込むときに適しています。
[カラー]	カラーで原稿を読み込みます。
[カラー（雑誌、カタログ)]	モアレ低減機能を使って、カラーで原稿を読み込みます。モアレ低減機能は、印刷物を読み込むときに発生する縞のような模様（モアレ）をできるだけ減らす機能です。この機能を使うと、読み込み時間が長くなります。

■[原稿サイズ]

幅と高さを数値で指定したいときは、[カスタム］を選択します。原稿サイズを設定する画面が表示されますので、[単位］を選択して、[幅］と［高さ］を入力し、[OK］をクリックしてください。

■[添付ファイルサイズの上限]

送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限の目安を選択します。
（画像によっては圧縮後のファイルサイズが、設定値を超える場合があります）
一般的なメールでは、[150K バイト］をお勧めします。
[ファイルの種類］が［PDF］のときは、選択できません。

■[出力解像度]

読み込む細かさ（解像度）を選択します。
[メール］を使って読み込むときは、[添付ファイルサイズの上限］の設定によって、選択肢が変わります。

■[スキャナドライバで詳細な設定を行う]

チェックマークを付けて［スタート］をクリックすると、ScanGear MF の画面が表示され、読み込みについて細かく設定できます。
チェックマークを付けないと、表示されている設定で、すぐに読み込まれます。
［OCR］を使って読み込むときは、このオプションは使用できません。

スキャンした画像を保存する

読み込んだ画像のファイル名やファイルの種類、保存先を指定することができます。ファイルの種類に［PDF］を選択した場合は、さらに細かく設定することができます。

■[ファイル名]

読み込んだ画像に付けるファイル名を入力します。
同じ名前のファイルが存在するときは、ファイル名の後ろに「0001」から順に 4 桁の番号が付けられます。

■[ファイルの種類]

[BMP] BMP 形式。

[JPEG] JPEG 形式。グレースケールのときに選択します。

[TIFF] TIFF 形式。

[PDF] PDF 形式。［PDF 設定］で細かい設定ができます。［PDF 設定］画面の詳細については、「複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする」(→ P.3-15）を参照してください。

各ボタンで保存できるファイルの種類は次のとおりです。

	BMP	JPEG	TIFF	PDF
[メール]	−	○	−	○
[OCR]	○	−	○	−
[保存]	○	○	○	○
[PDF]	−	−	−	○
[スキャン -1]、[スキャン -2]	○	○	○	−

拡張モードの出力設定によっては、［ファイルの種類］を［PDF］にしたときに、画像サイズが大きすぎるという警告メッセージが表示されます。その場合には、［出力サイズ］や［出力解像度］を低くして、読み込んだ画像の［データサイズ］を小さくしてください。
［ファイルの種類］を［JPEG］にしたときは、ScanGear MF 基本モードの［新聞（白黒）］や、ScanGear MF 拡張モードの［白黒］を選択していても、画像はグレースケールで保存されます。
読み込んだ画像を保存する場所を変えるときは、［参照］をクリックし、保存先のフォルダを選択して、［OK］をクリックします。

読み込んだ画像は、[マイドキュメント]フォルダの中の[マイピクチャ]フォルダ、[マイピクチャ]フォルダがない場合は、[マイドキュメント]フォルダの中に読み込んだ日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

■[画像を今日の日付のサブフォルダに入れる]

チェックマークを付けると、保存先で設定したフォルダの中にその日の日付のフォルダ(たとえば「2005-12-13」など)が作成され、原稿が保存されます。

スキャン画像の渡し先

読み込んだ画像を開くアプリケーションを指定することができます。アプリケーション名が表示されていない場合や、他のアプリケーションを使いたい場合は、[設定]をクリックし、使いたいアプリケーションを選択して、[開く]をクリックします。

[メール]を押したときに使いたいアプリケーションがリストに表示されない場合は、[なし(手動で添付)]を選択します。この場合は、アプリケーションで画像ファイルを開いたり、添付する操作などを手動で行ってください。

Eメールソフトは、Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messengerに対応しています。

アプリケーションを登録したくないときは、[リンクの削除]をクリックします。([OCR]、[PDF]、[スキャン -1]、[スキャン -2]を使用しているときのみ)リンクの削除を確認する画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。

スキャン画像の確認と Exif 情報の入力(スキャン画像を確認する)

読み込んだ画像をサムネール形式のプレビュー画面で見て、ファイル形式や保存場所を指定できます。([OCR]で読み込んだとき以外)

[PDF]で読み込んだときには、読み込んだ画像の確認と、保存場所の指定のみが行えます。

[スキャン画像の確認と Exif 情報の入力]([PDF]の場合は[スキャン画像を確認する])にチェックマークを付け、[スタート]をクリックします。読み込みが終わると、読み込んだ原稿のサムネールが表示されます。サムネールの画像を確認し、ファイル形式と保存先を指定して、[保存]または[転送]をクリックします。

[スキャン画像の保存先]

読み込んだ画像の保存先を指定します。

[ファイルの種類]

読み込んだ画像のファイルの種類を指定します。[スキャン画像の保存先]の[ファイルの種類]の[JPEG/EXIF]、[PDF]の中から選択できます。[保存]から設定すると、[BMP]、[TIFF]も選択できます。指定可能なファイル形式は、[スキャン画像の保存先]の[ファイルの種類]に表示されます。
[JPEG/EXIF]を選んだときは、[Exif 設定]画面で、Exif 情報を設定できます。(→ Exif 設定:P.3-13)
[PDF]を選んだときは、[PDF 設定]で詳細設定をします。(→ P.3-15)

[画像を今日の日付のサブフォルダに入れる]

チェックマークを付けると、保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のフォルダを作って、原稿を保存します。

［追加］ 画像を追加して読み込みます。
読み込んだ画像はサムネール形式のプレビュー画面に追加されます。

［転送］ ［スキャン画像の渡し先］設定で指定したアプリケーションに読み込んだ画像を送ります。［メール］で読み込み、［スキャン画像の渡し先］設定が［なし（手動で添付）］に設定されている場合は、［転送］をクリックすると、読み込んだ画像が保存されたフォルダが開きます。

［保存］ 読み込んだ画像を指定した場所へ保存します。［保存］で読み込んだときに、［転送］の代わりに表示されます。

■Exif 設定

Exif 設定では、JPEG ファイルにコメントや読み込んだ日時などの情報を付けることができます。リストから読み込んだ画像を選択して表示させ、情報を加えます。

［基本情報］ 画像を読み込んだときに自動的に得られた情報を表示します。

［拡張情報］ 入力した追加情報を表示します。入力したい項目にチェックマークを付け、数値を入力して［適用］をクリックします。

メモ ［コメント］、［作者名］には ASCII 文字でのみ入力できます。

［前回設定した入力内容を引き継ぐ］
前回の読み込み操作と同じ設定にしたいときに、チェックマークを付けます。

［適用］ クリックすると、設定内容が反映されます。

［OK］ Exif 設定を終了します。

アプリケーションから画像を読み込む

TWAIN または WIA（Windows XP）に対応したアプリケーションを操作しながら画像を読み込んで、その画像をアプリケーションで利用することができます。

この操作は、アプリケーションによって異なります。ここでは、その一例を示します。詳しい操作のしかたは、使用するアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

---

1 原稿台ガラスまたは ADF に、原稿をセットします。

2 アプリケーションを起動します。

3 読み込むためのコマンドを選択します。

通常は、［ファイル］メニューから［読み込み］や［イメージの取得］、［画像獲得］などを選びます。

4 スキャナドライバを選択します。

Windows XP では、スキャナドライバとして、ScanGear MF と WIA ドライバを使うことができます。

ScanGear MF を使うときは、［Canon MF5730］、［Canon MF5750 ］または［Canon MF5770 ］を選択します。

WIA ドライバを使うときは、［WIA Canon MF5730］、［WIA Canon MF5750 ］または［WIA Canon MF5770 ］を選択します。

5 スキャナの設定を指定し、［スキャン］をクリックします。

詳しくは、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.3-18）か、「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」（→ P.3-40）を参照してください。

読み込みが終わると、アプリケーションの画像表示領域に読み込んだ画像が表示されます。

メモ スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）の端から約 3 mm 離してセットしてください。

複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにする

複数ページの原稿を読み込んで、1 つの PDF ファイルにまとめることができます。

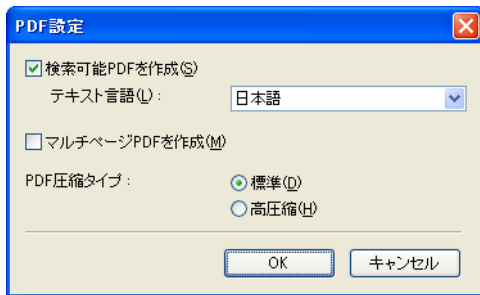
1 **原稿台ガラスまたは ADF に、原稿をセットします。**

2 **デスクトップの［Canon MF Toolbox 4.7］をダブルクリックします。**

または、［スタート］から、［(すべての）プログラム］→［Canon］→［MF Toolbox 4.7］→［Toolbox 4.7］をクリックします。MF Toolbox が開きます。

3 **［PDF］をクリックします。**

必要があれば、MF Toolbox の設定をします。

4 **［PDF 設定］をクリックします。**

5 **［マルチページ PDF を作成］にチェックマークを付けると、複数ページの原稿が 1 つの PDF ファイルに作成されます。**

6 必要に応じて次の設定をして、[OK］をクリックします。

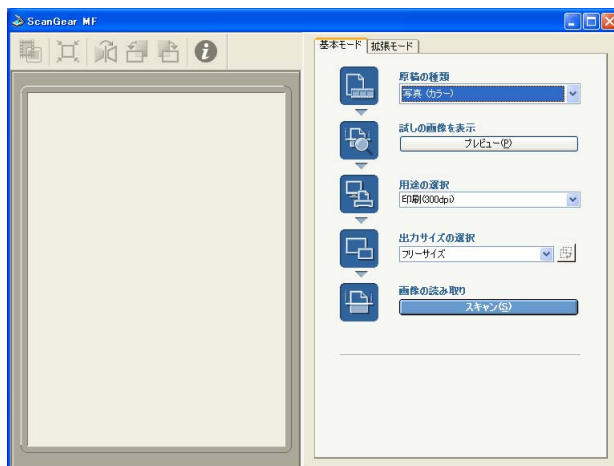
［検索可能 PDF を作成］

チェックマークをつけると、原稿中の文字をテキストデータに変換し、簡単なキーワード検索などができるようになります。ただし原稿中のすべての文字を正しく認識できるわけではありません。
［テキスト言語］は［日本語］か［英語］を選択し、スキャナの設定にある［出力解像度］は 300 dpi 以上にしてください。

［PDF 圧縮タイプ］ ［高圧縮］を選択すると、画像（写真、イラストなど）がより圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。

7 ［スタート］をクリックします。

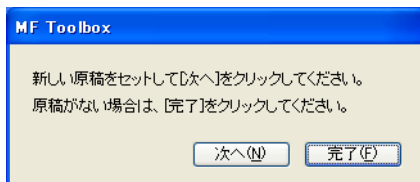
手順 3 で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークを付けたときは、ScanGear MF が開きます。

設定を行って、［スキャン］をクリックします。

「ScanGear MF」画面

設定の詳細については、「ScanGear MF で細かく設定して読み込む」（→ P.3-18）を参照してください。

読み込みが行われます。

メモ スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）の端から約 3 mm 離してセットしてください。

原稿台ガラスを使って読み込んでいるときは、原稿が 1 枚読み込まれるごとに、次の画面が開きます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。
ADF を使って書類をスキャンした場合は、上記の画面は表示されません。

［マイドキュメント］フォルダの中の［マイピクチャ］フォルダ、［マイピクチャ］フォルダがない場合は、［マイドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

文字原稿や白黒原稿を読み込むときは、［スキャンモード］を［白黒］か［グレースケール］にすることをお勧めします。

カラー原稿（［出力解像度］が［300 dpi］）でマルチページ PDF を作成するときは、1 つの PDF ファイルを 20 ページ以下にすることをお勧めします。

ScanGear MF で細かく設定して読み込む

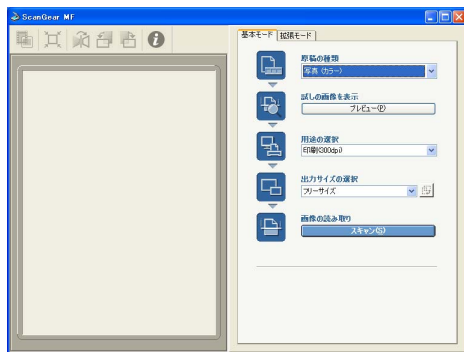
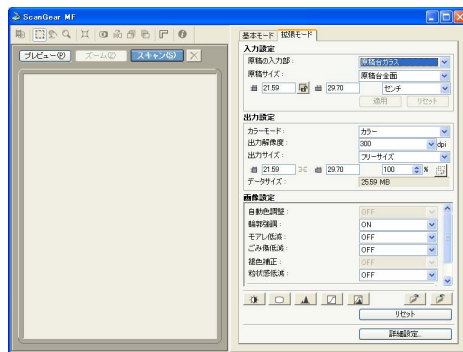
ScanGear MF を使うと、プレビュー（仮読み込み）で原稿がどのように読み込まれるかを確認したり、原稿の大きさや色などを細かく調整できます。プレビューに問題がなければ、正式に原稿を読み込みます。

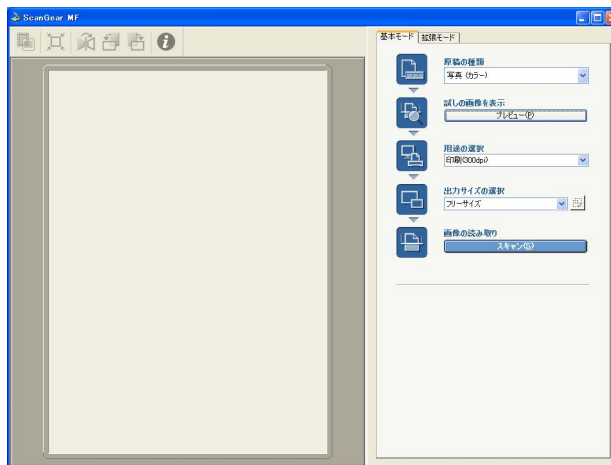
原稿を読み込むときに、ScanGear MF で設定してから読み込みたいときは、MF Toolbox で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークを付けてスキャンするか、アプリケーションから読み込みます。

メモ　Windows XP でアプリケーションから読み込むときは、アプリケーションで ScanGear MF を選択してから読み込みます。詳しくは、「アプリケーションから画像を読み込む」（→ P.3-14）を参照してください。

基本モードと拡張モードを切り替える

ScanGear MF には、［基本モード］と［拡張モード］があります。［拡張モード］では、解像度や色調などの細かい設定ができます。

基本モードと拡張モードを切り替えるには、それぞれのタブをクリックしてください。

［基本モード］の操作

［拡張モード］の操作

基本モードの操作

1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

2 ［原稿の種類］を選択します。

［写真（カラー)］ カラー写真を読み込むとき（300 dpi）

［雑誌（カラー)］ カラーの雑誌を読み込むとき（150 dpi、モアレ低減）

［新聞（白黒)］ 文字や線画だけの原稿を読み込むとき（白黒、300 dpi）

［文書（グレー)］ カラーの写真や原稿を白黒で読み込むとき
特に高解像度の白黒画像が必要なとき（300 dpi）

［文書（カラー）ADF］
ADF を使ってカラーの原稿（300 dpi）を読み込むとき

［文書（グレー）ADF］
ADF を使って白黒の原稿（300 dpi）を読み込むとき

メモ ［新聞（白黒)］以外を選択すると、自動色調整機能が働きます。自動色調整機能をオフにするには、［拡張モード］の［詳細設定］をクリックして、［色の設定］タブの［常に自動色調整を行う］のチェックマークを外します。

3 プレビュー（仮読み込み）を見たいときは、［プレビュー］をクリックします。

プレビューの読み込みが行われ、プレビュー画面に画像が表示されます。

4 読み込んだ画像の用途を選択します。

手順 2 で選んだ［原稿の種類］に合わせて、［印刷（300 dpi）］、［画面表示（150 dpi）］、または［OCR（300 dpi）］から選択します。

この設定の詳細については、「解像度を決める」（→ P.3-39）を参照してください。

5 手順4で選んだ用途に合わせて、読み込んだ画像の出力サイズを選択します。

［追加 / 削除］で、個別に指定した出力サイズの設定を追加や削除することができます。この設定の詳細については、「出力サイズの追加 / 削除」（→ P.3-20）を参照してください。

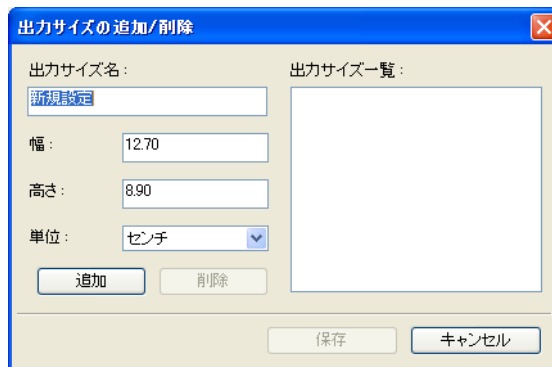
をクリックすると、出力サイズの方向（縦か横）が変わります。

6 ［スキャン］をクリックします。

読み込みが行われます。

メモ　スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）の端から約 3mm 離してセットしてください。

■出力サイズの追加 / 削除

［基本モード］タブの［出力サイズの選択］で［追加 / 削除］を選択し、［出力サイズの追加 / 削除］画面を開きます。この画面では、個別に指定した出力サイズの設定を追加や削除することができます。

［出力サイズ名］	登録したい出力サイズ名を指定します。
［幅］	出力サイズの幅を指定します。
［高さ］	出力サイズの高さを指定します。
［単位］	出力サイズの単位を指定します。
［追加］	出力サイズを［出力サイズ一覧］に追加します。追加された出力サイズは［基本モード］タブの［出力サイズの選択］で選択できます。

[削除] 選択している出力サイズを［出力サイズ一覧］から削除します。

■基本モードのツールバー

基本モードのツールバーで、プレビューした画像を調整したり、表示された画像の一部を選択することができます。

本製品では使用できません。

(オートクロップ)

画像の読み込み範囲を自動的に選択します。このボタンをクリックするたびに、選択範囲が少しずつ狭くなります。詳しくは、「拡張モードで読み込む範囲を指定する」（→ P.3-24）を参照してください。

(左右反転) 画像の左右を逆にします。

(左回転) 画像を左に 90 度回転させます。

(右回転) 画像を右に 90 度回転させます。

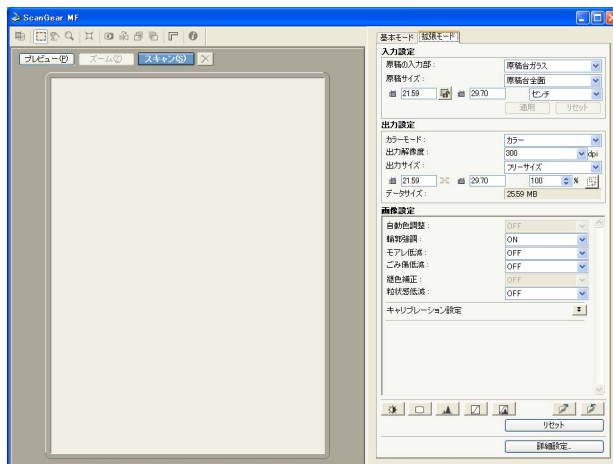
(情報) 読み込んだ画像の情報を表示します。

● ツールバーの切り離しと移動

ツールバーの端でマウスのボタンを押し、そのままドラッグすると、ツールバーが ScanGear MF の画面から切り離されます。ツールバーのタイトル部分をダブルクリックすると、元に戻ります。

プレビュー領域の左や右、下の枠にドラッグすると、その位置に移動します。

拡張モードの操作

拡張モードでは、プレビューの色合いや明るさなどを調整できます。

1　原稿台ガラスまたは ADF に、原稿をセットします。

2　[入力設定]、[出力設定] と [画像設定] を設定し、色の設定をします。

詳しくは、「拡張モードを設定する」(→ P.3-25) を参照してください。

3　[プレビュー] をクリックします。

メモ

- プレビュー領域で範囲を指定し、[ズーム] をクリックすると、指定した範囲の画像をもう一度読み込んで拡大表示します。
  拡大表示されると、[ズーム] が [戻す] に変わります。[戻す] をクリックすると、拡大表示が元に戻ります。
- 表示されているプレビューを消すには [×] をクリックします。消去を確認する画面が開いたら、[OK] をクリックします。

4　原稿の一部を読み込みたいときは、範囲を指定します。

詳しくは、「拡張モードで読み込む範囲を指定する」(→ P.3-24) を参照してください。

5 ［スキャン］をクリックします。

読み込みが行われます。

メモ　スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）の端から約 3mm 離してセットしてください。

■拡張モードのツールバー

拡張モードのツールバーで、プレビューした画像を調整したり、表示された画像の一部を選択することができます。

	本製品では使用できません。
（クロップ）	読み込む範囲を指定します。詳しくは、「拡張モードで読み込む範囲を指定する」（→ P.3-24）を参照してください。
（画像移動）	画像を移動します。拡大した画像が画面に入りきらないときは、ツールバーのをクリックして、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。スクロールバーでも同じように移動ができます。
（ズーム）	プレビューを拡大、縮小します。ツールバーのこのボタンをクリックして、画像の上で左クリックすると画像が拡大し、右クリックすると画像が縮小します。
（オートクロップ）	画像の読み込み範囲を自動的に選択します。このボタンをクリックするたびに、選択範囲が少しずつ狭くなります。詳しくは、「拡張モードで読み込む範囲を指定する」（→ P.3-24）を参照してください。
（色反転）	画像の色をネガポジ反転させます。
（左右反転）	画像の左右を逆にします。
（左回転）	画像を左に 90 度回転させます。
（右回転）	画像を右に 90 度回転させます。
（ルーラー）	プレビュー領域の上端と左端に定規が表示されますので、より正確に作業ができます。
（情報）	読み込んだ画像の情報を表示します。

● ツールバーの切り離しと移動

ツールバーの端でマウスのボタンを押し、そのままドラッグすると、ツールバーが ScanGear MF の画面から切り離されます。ツールバーのタイトル部分をダブルクリックすると、元に戻ります。

プレビュー領域の左や右、下の枠にドラッグすると、その位置に移動します。

拡張モードで読み込む範囲を指定する

画像の一部を選択して、読み込む範囲を指定できます。もう一度読み込むと、選択した範囲だけが読み込まれます。

範囲を指定するには、いくつかの方法があります。

■読み込む範囲を自動的に選択するには

プレビューを行ってから、ツールバーの をクリックします。クリックするたびに、範囲が少しずつ狭くなります。

■読み込む範囲を指定するには

1 **範囲を選択した後も、元画像の幅と高さの比率を保持したいときは、[入力設定] で をクリックします。**

2 **次のいずれかの操作をします。**

● **ドラッグして指定する**

をクリックします。指定する範囲の左上角から右下角に向けてドラッグします。さらに調整したいときは、選択した範囲の角や辺をドラッグします。

● **サイズを指定する**

（幅）と （高さ）に設定値を入力します。

メモ　手順 1 で をクリックしたときは、（幅）か （高さ）のどちらかを入力するだけで、もう一方は自動的に設定されます。

3 **選択した範囲を動かすときは、範囲の内側にマウスポインタを置いて、ドラッグします。**

4 **[プレビュー] をクリックするとプレビュー画像が表示されます。**

設定を解除するときは、範囲の外側でクリックします。

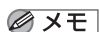
拡張モードを設定する

■入力設定

● [原稿の入力部]

［原稿台ガラス］、［自動給紙装置（ADF）］から選択します。

● [原稿サイズ]

読み込む原稿のサイズを選択します。原稿サイズを選択すると、プレビュー領域の大きさ（縦横比率）が変わります。
使用目的に応じた原稿サイズを選択することで、必要な範囲のみを読み込むことができます。原稿のサイズがわからないときは、［原稿台全面］を選択するか、プレビュー後に範囲指定できます。プレビュー後に［原稿サイズ］を変えると、プレビュー画像が消去されます。

メモ　［原稿の入力部］で［自動給紙装置（ADF）］を選択したときは、［LL 判 横］、［A5 縦］［A5 横］、［B5］、［A4］、［レター］、［リーガル］の中から選択します。

読み込む範囲の幅と高さを、数値を入力して指定できます。入力する数値の単位は、[ピクセル]、[インチ]、[センチ] から選択します。入力後、他の表示部をクリックするか、Enter キーを押すと、クロップ枠の大きさが変わります。をクリックすると、アイコンがに変わり、幅と高さの比率が保たれるようになります。

重要
- アプリケーションによっては、受け取れる画像データの容量に制限があります。範囲が 21,000 × 30,000 ピクセル以上のときは受け取れません。
- 入力できる数値は、選択されている原稿サイズの範囲内です。
- 最小選択範囲は、[出力解像度] が [600] dpi の場合で 96 × 96 ピクセルです。

■出力設定

● [カラーモード]

どんな原稿をどのように読み込むかを選択します。

[白黒] 写真などの原稿を白黒のプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の 2 色で表現します。画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、2 色で表現します。スレッショルド値は [白黒設定] で設定します。

[グレースケール] 白黒写真などの読み込みや白から黒までの明暗だけ（モノクロ）で表現したいときに選択します。画像を白黒 256 段階（グレースケール）で表現します。

[カラー] カラー原稿などを読み込むときに選択します。画像を、R（赤）、G（緑）、B（青）各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

[テキスト（OCR)] 文字などをはっきりと読み込みます。OCR ソフトなどで文字を読み込むときに選択します。画像を白と黒の 2 色で表現します。グレースケールで読み込んでから白黒に変換するので、[白黒] より時間がかかります。

● [出力解像度]

読み込むときの解像度を選択します。[カラーモード] で [カラー] を選択した場合は、クリックして表示される選択肢から選択するか、25 ～ 2400 dpi の範囲の数値（1 dpi 単位)、または 4800、7200、9600 dpi のいずれかの数値を入力します。[白黒] や [グレースケール]、[テキスト（OCR)] を選択した場合は、クリックして表示される選択肢から選択するか、25 ～ 600 dpi の範囲の数値（1 dpi 単位）を入力します。詳しくは、「解像度を決める」（→ P.3-39）を参照してください。

● [出力サイズ]

指定した読み込み範囲のプリントサイズ（出力サイズ）を設定します。
（幅)、（高さ)、[%]（拡大／縮小）のいずれかに数値を入力するか、[%]（拡大／縮小）の表示部右の▲、▼をクリックして設定します。設定後、他の表示部をクリックするか Enter キーを押すと、入力した数値に連動して他の数値が変わります。
画面に表示されている枠の大きさや解像度は変わりませんが、実際に読み込む時の解像度（読込解像度）は設定した数値に比例して変わります。

（幅）と（高さ）の比率は、[原稿サイズ] の（幅）と（高さ）の比率と連動しています。[%]（拡大／縮小）は、25 ～ 3200 の範囲（1 %単位）で設定できます。[出力解像度] を 4800、7200、9600 dpi にすると、100 %に固定されます。

出力サイズの方向（縦か横）を変更するには をクリックします。[出力サイズ］で［フリーサイズ］を選択した場合は使用できません。

● [データサイズ]

指定した設定で読み込んだ画像のデータサイズを表示します。

■画像設定

● [自動色調整]

ON にすると、画像のトーンを自動的に調整します。画像を読み込んでから、トーンの調整の結果を画像全体に反映します。プレビュー画面が表示されていないときは、この設定を適用できません。初期設定では、読み込み範囲を指定したプレビュー画像に自動色調整が適用されます。

自動色調整をせずにプレビュー画面を見たいときは、[OFF］にします。

メモ　［褪色補正］が OFF 以外になっているときは、設定できません。

重要　［カラーモード］が［白黒］か［テキスト（OCR)］のときは設定できません。

● [輪郭強調]

［ON］にすると、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。初期設定では、［ON］になっています。ピントのあまい写真などを読み込むときに効果的です。

重要　［カラーモード］が［白黒］か［テキスト（OCR)］のときは設定できません。

● [モアレ低減]

印刷された写真や絵を読み込むときは、[ON］にします。初期設定では、[OFF］になっています。

重要
- ［カラーモード］が［白黒］か［テキスト（OCR)］のときは設定できません。
- ［モアレ低減］が［ON］になっていても、[輪郭強調］が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、[輪郭強調］を［OFF］にしてください。
- ScanGear MF 画面を表示しないアプリケーションから読み込むときは、設定できません。ScanGear MF を使わないで、MF Toolbox から読み込むときは、［スキャンモード］で［カラー（雑誌、カタログ)］を選択するとモアレ低減ができます。

メモ
- 印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。そのまま読み込むと、点と点が干渉し、モアレといわれる濃淡のムラや縞模様が出ることがあります。[モアレ低減］は、このモアレを少なくする機能です。
- 基本モードの［原稿の種類］で、[雑誌（カラー)］を選択すると、拡張モードの［モアレ低減］を選んだときと同じ効果があります。

● [ごみ傷低減]

写真を読み込むと、ゴミや傷が原因で白い点が出ることがあります。このスキャン後の画像データ上に出るゴミや傷の再現を少なくすることができます。初期設定では、[OFF］になっています。

[OFF]　ごみ傷低減を行いません。

[弱]　小さなゴミや傷を減らします。大きいゴミや傷は残ることがあります。

[標準]　通常は、この設定をお勧めします。

[強]　大きいゴミや傷も減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまうことがあります。

重要
- [カラーモード] が [白黒] か [テキスト (OCR)] のときは設定できません。
- 印刷物を読み込むときは、[OFF] をお勧めします。
- [モアレ低減] が [ON] のとき、[ごみ傷低減] は選択できません。
- 写真の種類によっては、この機能を使わない方がよい場合があります。

● [褪色補正]

褪色補正機能は、あせた色を補正します。また、くすんだ原稿の彩度を高め、あざやかな画像に仕上げます。初期設定では、[OFF] になっています。

[OFF]　褪色補正を行いません。

[弱]　あせた色を少しだけ補正します。

[標準]　通常は、この設定をお勧めします。

[強]　あせた色を大きく補正しますが、画像のトーンが変わってしまうことがあります。

メモ
- [詳細設定] 画面の [色の設定] タブで [Canon ColorGear] が選択されていると、設定できません。
- この設定はプレビュー画面にも反映します。
- [カラーモード] で [カラー] が選択されていると設定できます。
- プレビュー画像が表示されていないときは、実行できません。
- [褪色補正] を [弱]、[標準]、[強] に設定していると、処理速度が遅くなることがあります。
- 読み込む範囲が狭すぎると、褪色補正が働かないことがあります。

● [粒状感低減]

高感度フィルムで撮影した写真のざらつきを補正し、なめらかなトーンで高品質に仕上げることができます。初期設定では、[OFF] になっています。

[OFF]　粒状感低減を行いません。

[弱]　ざらつきがあまり目立たないときはこの設定にします。

[標準]　通常は、この設定をお勧めします。

[強]　粒状感を大きく調整しますが、画像のシャープさや品質を下げてしまうことがあります。

メモ
- この設定はプレビュー画面には反映しません。
- [カラーモード] で [カラー] や [グレースケール] が選択されているときに設定できます。
- [粒状感低減] を [弱]、[標準]、[強] に設定していると、処理速度が遅くなることがあります。
- 読み込む範囲が狭すぎると、粒状感低減が働かないことがあります。

● [キャリブレーション設定]

プレビュー画像の色合いが、原稿と違うときに読み込んだ画像が正しい色合いになるように調整します。[▼]を押し、「実行」をクリックすると、キャリブレーションが始まり、読み込んだ画像が正しい色合いになるように調整されます。毎回キャリブレーションによる補正を行いたいときは、[スキャン前に毎回実行] を [ON] にします。

重要　キャリブレーション設定が行われている間は、絶対に原稿台カバーをあけないでください。

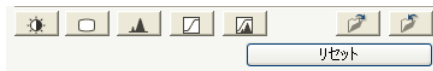
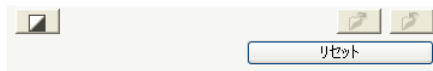
■色の設定

色の設定ボタンでは、画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、モニタの明るさに合った調整（ガンマ値の補正）、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）などの設定ができます。

色の設定ボタンは、[カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] のときに表示されます。

[白黒] モードのときは、[白黒設定] ボタンに変わり、[テキスト（OCR)] または [Canon ColorGear] のときは表示されません。詳細設定で [Canon ColorGear] を選択したときは使用できません。

色の設定ボタンで画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。また、読み込み時にも反映されます。

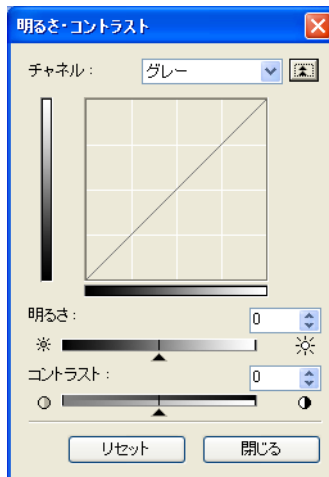
● [カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] のときの色の設定ボタン

● [カラーモード] が [白黒] のときの色の設定ボタン

(保存)	設定をカラー調整ファイルに保存します。 同じ画像を再度読み込むときに、設定値を保存しておくと、同じ設定で読み込めます。拡張子は、カラーが（.adc)、グレースケールが（.adg）です。
(読み込み)	保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込みます。
[リセット]	すべての補正をとりやめ、初期状態にします。[マスタ]、[赤]、[緑]、[青] や [明るさ・コントラスト]、[ガンマ]、[ヒストグラム]、[トーンカーブ] などのすべての調整が中止され、[常に自動色調整を行う]（→ [色の設定] タブ：P.3-37）で調整された画像も、もとの状態に戻ります。

● **明るさ・コントラスト**

をクリックすると、[明るさ・コントラスト] 画面が開きます。

画像の明るさや明暗差（コントラスト）を調整します。読み込む前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。

[カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] のときに調整できます。

を押すと、明るさとコントラストを図表上で調整できます。

[チャネル]	カラーモードを [グレー] に設定した場合は、グレーの要素を調整します。[カラー] に設定した場合は、[赤]、[緑] または [青] を選択してそれぞれを個別に調整するか、[マスタ] を選択して 3 つの色の要素をまとめて調整します。
[明るさ]	スライダを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。 数値（－ 127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。
[コントラスト]	スライダを左に動かすと明暗差（コントラスト）が弱まり、右に動かすと強まります。数値（－ 127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。
[リセット]	現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

● **ガンマ**

[ボタン]をクリックすると、［ガンマ］画面が開きます。
元の原稿の明るさとコンピュータのモニタ（ディスプレイ）で見る画像の明るさを近づけます。初期設定では、2.20 に設定されていますので、ガンマ値が異なるモニタを使うときは変更してください。
モニタのガンマ値を設定すると、次の計算式（モニタのガンマ値の逆数）でスキャナのガンマ値が自動的に表示されます。
1/ モニタのガンマ値＝スキャナのガンマ値
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。
[ボタン]を押すと、ガンマを図表上で調整できます。

メモ
- モニタは、色を再現するときの特性（ガンマ値）を持っています。一般的なモニタのガンマ値は 1.4 から 2.2 で、多少暗めに画像を再現します。したがって、元の原稿に近づけるには、ガンマ値を補正する必要があります。
- モニタのガンマ値は、モニタの取扱説明書を参照してください。記載されていないときは、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

［チャネル］ カラーモードを［グレー］に設定した場合は、グレーの要素を調整します。[カラー] に設定した場合は、[赤]、[緑] または [青] を選択してそれぞれを個別に調整するか、[マスタ] を選択して 3 つの色の要素をまとめて調整します。

［ガンマ］ スライダを左に動かすと、全範囲の中間値（中間色）で表示されているコントラストが弱くなり、右に動かすと強くなります。数値（0.10 〜 10.00）を直接入力して指定することもできます。

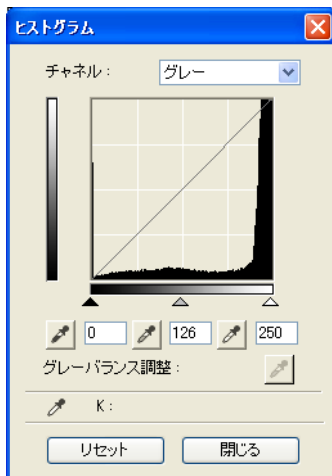
［リセット］ 現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

● ヒストグラム

をクリックすると、［ヒストグラム］画面が開きます。

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。

画像の中の最も明るいレベル（ハイライト）と最も暗いレベル（シャドー）を指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。

［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

［チャネル］ カラーモードを［グレー］に設定した場合は、グレーの要素を調整します。［カラー］に設定した場合は、［赤］、［緑］または［青］を選択してそれぞれを個別に調整するか、［マスタ］を選択して 3 つの色の要素をまとめて調整します。

［リセット］ 現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

1 暗点、中間点、明点を変えるときは、次のいずれかの操作をします。

（暗点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でいちばん暗くしたい部分をクリックします。

数値（0 ～ 245）でも指定できます。

（中間点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像で白と黒の中間の色にしたい部分をクリックします。

数値（5 ～ 250）でも指定できます。

（明点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でいちばん明るくしたい部分をクリックします。

数値（10 ～ 255）でも指定できます。

ヒストグラムの下にある三角形を適当なレベルまでドラッグします。

▲より左の部分（［暗点］に指定した数値より暗い部分）は、すべて黒になります。

△の部分（［中間点］に指定した部分）は、暗点と明点のちょうど中間の色になります。

△より右の部分（［明点］に指定した数値より明るい部分）は、すべて白になります。

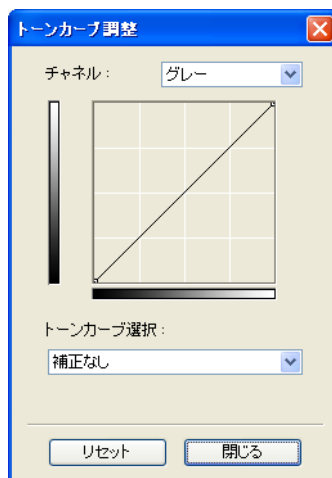
2 画像の色を調整するときは、（グレーバランス調整スポイトツール）をクリックし、プレビュー画像の中の、グレーバランス調整を行いたい場所をクリックします。

グレーバランスの調整を行うと、読み込んだ画像の中のグレーの要素が中間色となり、その他の要素も本来の色を再現します。

● トーンカーブの設定

をクリックすると、［トーンカーブ調整］画面が開きます。

明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選択して、画像の明るさを調整します。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。

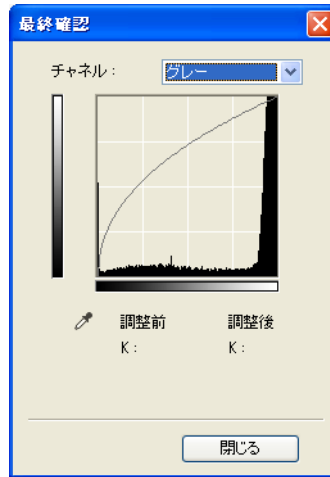
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

［チャネル］ カラーモードを［グレー］に設定した場合は、グレーの要素を調整します。[カラー] に設定した場合は、[赤]、[緑] または [青] を選択してそれぞれを個別に調整するか、[マスタ] を選択して 3 つの色の要素をまとめて調整します。

［トーンカーブ選択］ トーンカーブを選択します。（[補正なし]、[露出オーバーにする]、[露出アンダーにする]、[ハイコントラストにする]）

［リセット］ 現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

● 最終確認

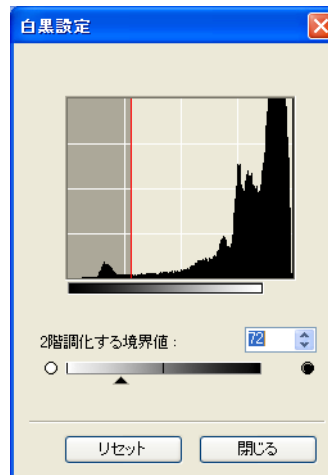
をクリックすると、［最終確認］画面が開きます。

この画面では、色の設定の確認ができます。

● 白黒設定

をクリックすると、［白黒設定］画面が開きます。

［カラーモード］で［白黒］を選択すると、［色の設定］は［白黒設定］になります。

メモ

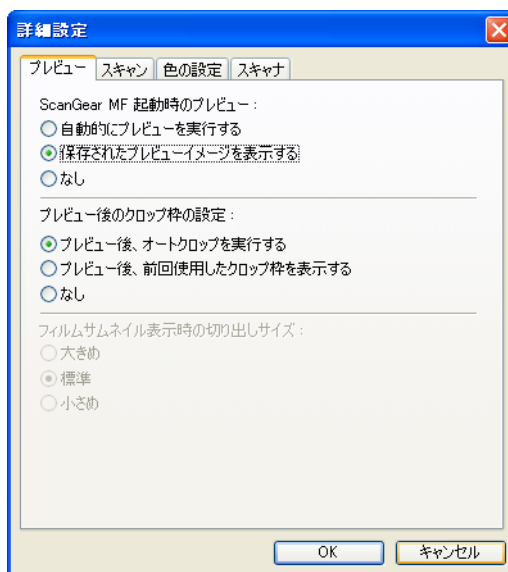
- カラーやグレースケールの画像は、明るさを 0 ～ 255 の数値で表現しますが、白黒の場合は中間色の部分も、白と黒のどちらかに分けます。このときの、白と黒に分ける境をスレッショルドといいます。
- 2 階調化する境界値を調節すると、文字原稿の文字が明瞭になり、新聞などの裏写りを軽減できます。

[2 階調化する境界値]

スライダを右にドラッグして 2 階調化する境界値の数値を大きくすると、白になる部分が少なく（黒になる部分が多く）なり、左にドラッグして数値を小さくすると、白になる部分が多く（黒になる部分が少なく）なります。数値（0 ～ 255）を入力して直接指定することもできます。

[リセット] 現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

■詳細設定

［拡張モード］タブの［詳細設定］をクリックすると、［詳細設定］画面が開きます。

● [プレビュー] タブ

[ScanGear MF 起動時のプレビュー]

ScanGear MF を起動したときのプレビューの動作を選択します。初期設定では、［保存されたプレビューイメージを表示する］が選択されています。

[自動的にプレビューを実行する]

ScanGear MF を起動すると、自動的にプレビューを開始します。

[保存されたプレビューイメージを表示する]

前回、プレビューしたときの画像を表示します。色の設定ボタンや［色の設定］タブの設定項目、ツールバーの鏡映、左回転、右回転、色反転、ルーラーボタンなどの設定も反映されます。

[なし] 起動時はプレビュー画像を表示しません。

［プレビュー後のクロップ枠の設定］

プレビュー画面を表示するときに、どのように枠を表示させるかを設定します。初期設定では、［プレビュー後、オートクロップを実行する］が選択されています。

［プレビュー後、オートクロップを実行する］

原稿サイズに合わせて読み込む範囲を自動的に選択します。

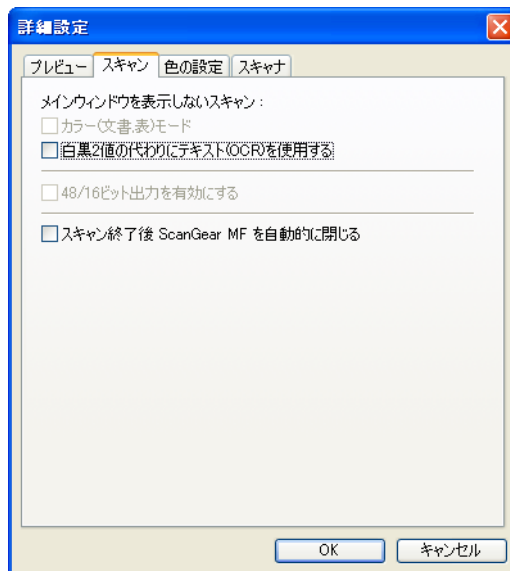
［プレビュー後、前回使用したクロップ枠を表示する］

前回設定した枠が表示されます。

［なし］ プレビュー画像のときに、枠が表示されません。

［フィルムサムネイル表示時の切り出しサイズ］

本製品では設定できません。

●［スキャン］タブ

［メインウィンドウを表示しないスキャン］

OCR ソフトなど、読み込み時に ScanGear MF の画面を表示しないアプリケーション（UI オフモード）では、カラーモードが変えられないので、ご使用のアプリケーション内に初期設定されている数値で読み込まれます。アプリケーションの設定値を無視して、特定のカラーモードでスキャンしたいときは、ここで設定します。初期設定では、両方ともオフになっています。

［カラー (文書 , 表) モード］

本製品では設定できません。

［白黒 2 値の代わりにテキスト (OCR) を使用する］

アプリケーションで［白黒］の設定をしたときに、［テキスト (OCR)］で読み込みます。

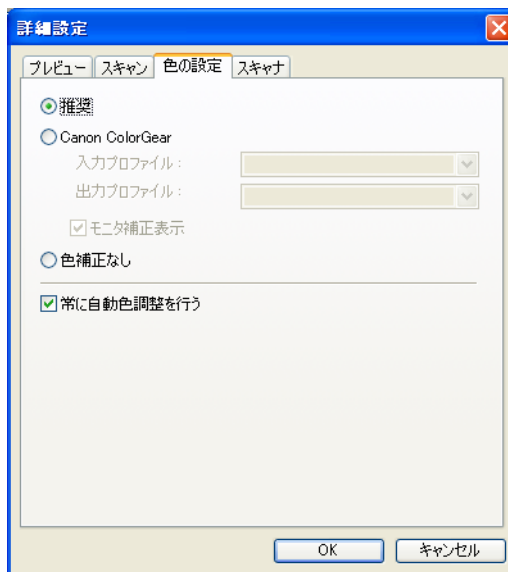
重要 ［メインウィンドウを表示しないスキャン］は、UI モード（ScanGear MF の画面を表示するモード）のときは無効です。

[48/16 ビット出力を有効にする]

本製品では設定できません。

[スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる]

チェックマークを付けると、画像を読み込んだあと、ScanGear MF の画面が自動的に閉じます。初期設定では、チェックマークは外れています。アプリケーションによっては、この設定にかかわらず、スキャン終了後、ScanGear MF を自動的に閉じます。

● [色の設定］タブ

初期設定では、［推奨］になっています。

[推奨] 原稿の色合いを、画面上で鮮やかに再現します。

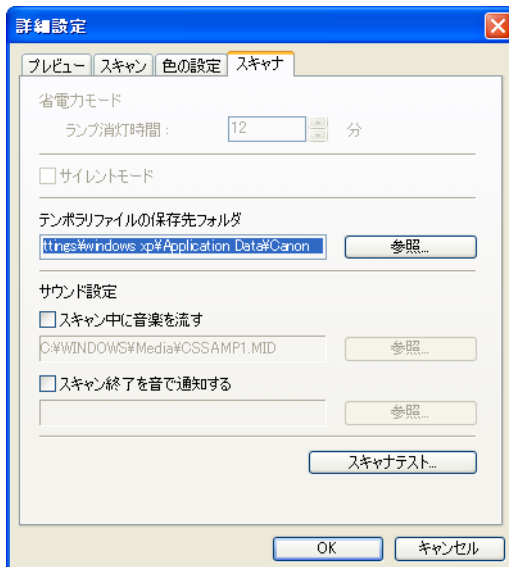
[Canon ColorGear]

[カラーモード] で [カラー] を選択した場合に使用できます。スキャナ、モニターおよびカラープリンタの色に自動的に合うよう選択されますので、モニターやカラープリンタの色を手動で調整する際の時間やトラブルが低減できます。[Canon ColorGear] を選択すると、色の設定ボタンが拡張モードタブに表示されます。

[色補正なし] カラーマッチングは行いません。[カラーモード] で [白黒] または [テキスト（OCR）] を選択した場合は使用できません。

[常に自動色調整を行う]

[カラーモード] で [カラー] または [グレースケール] を選択した場合に使用できます。画像の色を常に自動的に調整します。[Canon ColorGear] または [色補正なし] を選択した場合は、この設定は使用できません。初期設定で選択されています。

● [スキャナ] タブ

[省電力モード] 本製品では設定できません。

[サイレントモード] 本製品では設定できません。

[テンポラリファイルの保存先フォルダ]

画像を一時的に保存するフォルダを指定します。[参照] をクリックして、保存先のフォルダを指定します。

[サウンド設定] スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。

[スキャン中に音楽を流す]

スキャン中に音楽を流すことができます。[参照] をクリックして、サウンドファイルを指定します。

[スキャン終了を音で通知する]

スキャン終了時に音楽を流すことができます。[参照] をクリックして、サウンドファイルを指定します。

次のファイルを指定できます。
・MIDI ファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
・オーディオファイル（*.wav、*.aiff）
・MP3 ファイル（*.mp3）

[スキャナテスト] 本製品に電源が接続され、USB ケーブルで本製品とコンピュータが接続されているか確認します。

解像度を決める

MF Toolbox の各動作ボタンをクリックしたときに開く設定画面の［出力解像度］か、ScanGear MF の拡張モードタブの出力設定の［出力解像度］で指定します。

メモ
- 読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点の集まりです。この点の密度を解像度といい、1 インチあたりの点（ドット）の数を dpi（ドット・パー・インチ）で表します。画像のきめ細かさや粗さは、この解像度で決まります。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かい画像になり、低く（数字を小さく）すると粗い画像になります。
- 原稿を読み込むときの解像度は、その画像を最終的に出力する機器（たとえばディスプレイやプリンタなど）の解像度に合わせるのが原則です。

■ディスプレイに表示するとき

ディスプレイに表示する画像は、一般的なディスプレイの解像度、75 dpi で読み込みます。

■プリンタで印刷するとき

プリンタで印刷する画像は、そのプリンタの解像度に合わせて読み込みます。

たとえば、600 dpi のモノクロプリンタで印刷する場合には［600 dpi］を選択します。

メモ　カラープリンタでは、色はインクの粒子で表示されますので、プリンタの半分の解像度できれいに印刷できます。たとえば、600dpi のカラープリンタを使う場合、原稿は［300dpi］で」スキャンしてください。

■拡大／縮小して印刷するとき

たとえば、縦横の長さを 2 倍に拡大して印刷すると、実質上の解像度は半分になります。元の画像の解像度が 300 dpi であれば、拡大した画像の解像度は 150 dpi になります。これを 600 dpi で印刷すると、粗さが目立つ可能性があります。このようなときに、600 dpi で読み込んでおけば、2 倍に拡大すると 300 dpi になり、十分な品質で印刷できます。逆に、半分に縮小して印刷するときは、半分の解像度で十分です。

■解像度とデータ容量

解像度を 2 倍にすると、読み込んだ画像データの容量は 4 倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）

「スキャナとカメラ」から読み込む

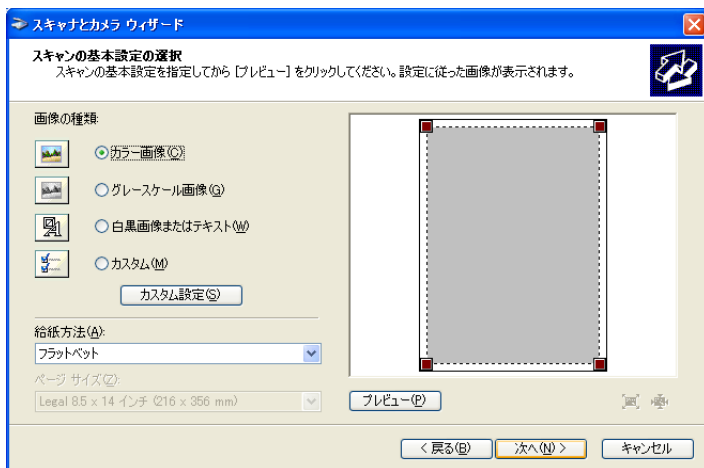
メモ　スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）の端から約 3 mm 離してセットしてください。

1　［スキャナとカメラ］フォルダを開きます。

［スキャナとカメラ］フォルダの開き方について詳しくは、「［スキャナとカメラ］フォルダで［スタート］を設定する」（→ P.3-3）を参照してください。

2　スキャナのアイコン（［WIA Canon MF5730］、［WIA Canon MF5750］または［WIA Canon MF5770］）をダブルクリックします。

3　［次へ］をクリックします。

4　［画像の種類］を選択します。

以下から選択することができます。

・［カラー画像］
・［グレースケール画像］
・［白黒画像またはテキスト］
・［カスタム］

メモ　［カスタム］にするときは、［カスタム設定］をクリックし、［ プロパティ ］画面で詳細設定をします。

5　給紙方法を選択します。

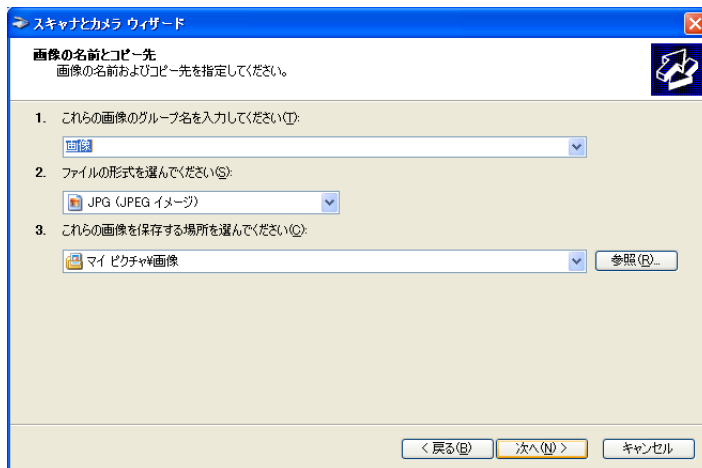
[給紙方法]	［フラットベット］（原稿台ガラス）または［ドキュメント フィーダ］（ADF）を選択します。
[ページ サイズ]	［ドキュメント フィーダ］を選択したときの原稿サイズを指定します。

メモ　［ドキュメント フィーダ］を選択したときは、［ページ サイズ］で用紙のサイズを指定してから手順 7 に進んでください。

6　読み込む範囲を指定します。

［プレビュー］をクリックし、■をドラッグして読み込み範囲を指定します。

7　［次へ］をクリックします。

8 名前、ファイル形式、画像の保存先を指定します。

❑ 画像のグループの名前を入力します。

同じ場所に複数の画像を保存したときは、ファイル名の最後に、自動的に連番が振られます。(例：001、002・・・と２つ目の画像から加えられます。)

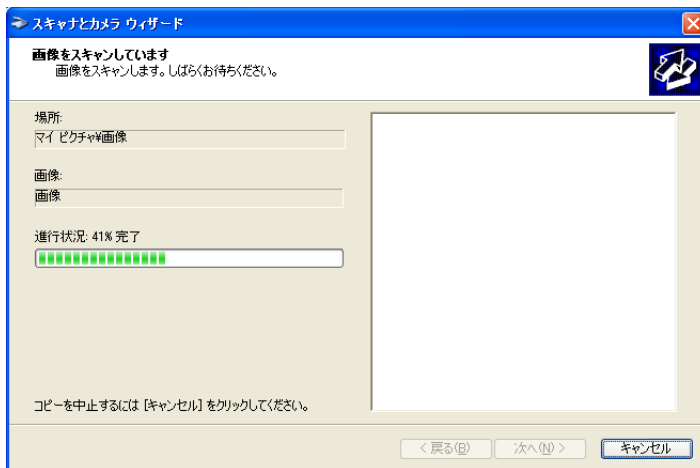
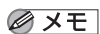
❑ ファイル形式を選択します。

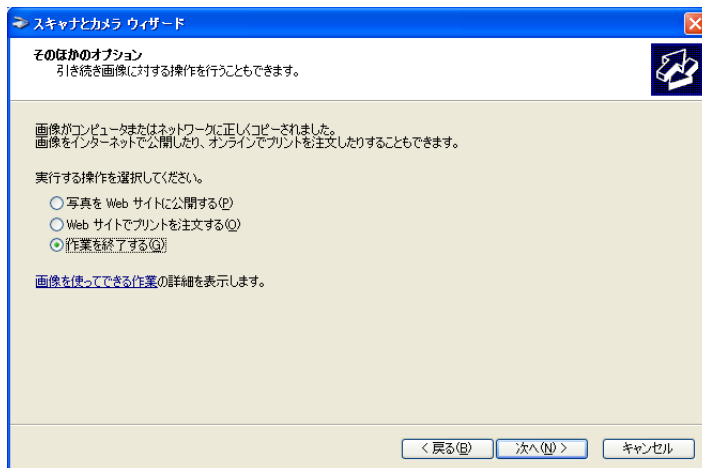
以下から選択することができます。

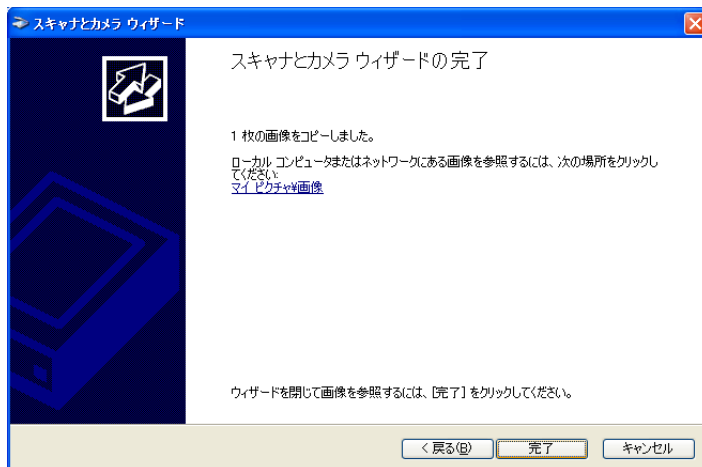
- ［BMP（ビップマップイメージ)］
- ［JPG（JPEG イメージ)］
- ［TIF（TIF イメージ)］
- ［PNG（PNG イメージ)］

❑ 画像の保存先を指定します。

保存先を変えるときは、［参照］をクリックして、新しい場所を指定し、［OK］をクリックします。

9 ［次へ］をクリックします。

読み込みが行われます。

メモ　読み込みを中止するときは、［キャンセル］をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします。

Web サイトにこれらの画像を載せるときや、オンライン出力するときは、適切なオプションを選択します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

11 ［完了］をクリックします。

手順 8 で選んだ場所が表示されます。

■詳細プロパティ

次の画面は Windows XP の［詳細プロパティ］タブです。［詳細プロパティ］画面の表示のしかたは P.3-46、［プロパティ］画面の表示のしかたは P.3-41 を参照してください。

メモ　［詳細プロパティ］タブの設定項目と初期設定は、選択した画像タイプにより異なります。

［外観］　画像の例を表示します。

［明るさ］　明るさを指定します。（－ 127 ～ 127）

メモ　［詳細プロパティ］タブでの設定が不十分と感じられるときは、「e.Typist エントリー」や「やさしくファイリングエントリー」からも明るさを設定できます。

［コントラスト］　コントラストを指定します。（－ 127 ～ 127）

メモ　［詳細プロパティ］タブでの設定が不十分と感じられるときは、「e.Typist エントリー」や「やさしくファイリングエントリー」からもコントラストを設定できます。

［解像度（dpi）］　解像度を dpi で選択します。（50 ～ 300）

メモ　解像度を直接入力することもできます。範囲外の数値を入力したときは、エラーメッセージが表示され、範囲内で最も近い数値に変更されます。

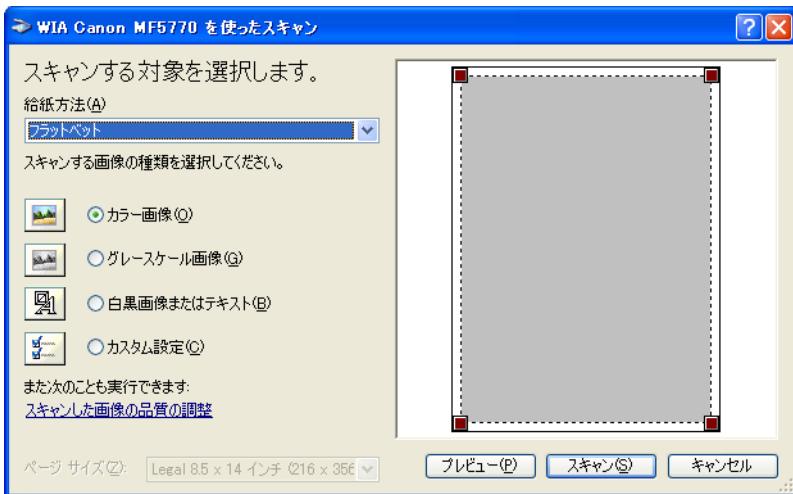
［画像の種類］　原稿をどのような色の種類（［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］）で読み込むかを選択します。

［リセット］　現在の設定をすべてとりやめ、初期状態にします。

アプリケーションから画像を読み込む

WIA ドライバの画面が表示されたら、以下の手順に従ってください。

WIA ドライバを表示するには、「アプリケーションから画像を読み込む」(→ P.3-14)を参照してください。

メモ　スキャンした画像の端に白い線が入るときは、原稿が原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。原稿は原稿台ガラスの手前側(操作パネル側)の端から約 3 mm 離してセットしてください。

1 原稿の給紙方法を選択します。

- [フラットベット](原稿台ガラス)
- [ドキュメント フィーダ](ADF)

メモ　[ドキュメント フィーダ] を選択したときは、手順 4 に進みます。

2 画像の種類を選択します。

以下から選択することができます。

- [カラー画像]
- [グレースケール画像]
- [白黒画像またはテキスト]
- [カスタム設定]

3 読み込んだ画像の品質を調整したいときは、[スキャンした画像の品質の調整] をクリックします。

[詳細プロパティ] 画面が表示されます。(→詳細プロパティ:P.3-45)

4　画像の品質を調整し、[OK] をクリックします。

画像品質の調整の詳細については、「詳細プロパティ」(→ P.3-45)を参照してください。

5　読み込み範囲を指定します。

[フラットベット] を選択した場合は [プレビュー] をクリックし、■をドラッグして読み込み範囲を指定します。

[ドキュメントフィーダ] を選択した場合は、[ページサイズ] リストボックスのプルダウンメニューから用紙サイズを選択します。

6　[スキャン] をクリックします。

読み込みが行われます。読み込みが終わると、アプリケーションの画像表示領域に読み込んだ画像が表示されます。

コンピュータからファクス送信する (MF5750/MF5770 のみ)

4
CHAPTER

ここでは、お使いのコンピュータから文書をファクス送信する手順について説明します。ファクスドライバを使うと、文書印刷機能のあるアプリケーションからファクス送信ができます。(MF5750/MF5770 のみ)

ファクスを送る

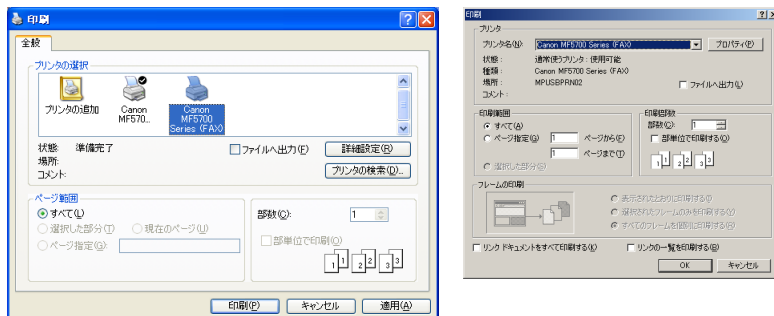
一度に複数の相手先に送信することができます。

メモ
- 本製品にエラーが発生しているときは送信できません。
- ドキュメントサイズが大きいものは送れない場合があります。
- ファクス送信 1 回につき、256ページまで送信できます。(ITU-Tチャート No1 標準モード)
257 ページ以上を送信するときは、数回に分けて送信してください。

1 アプリケーションでファクスしたい文書を開き、[印刷] のコマンドを選択します。

通常は、[ファイル] メニューで [印刷] を選択します。

[印刷] 画面が表示されます。

2 [印刷] 画面の [プリンタの選択] または [プリンタ名] で、[Canon MF5700 Series (FAX)] を選択します。

3 [印刷] または [OK] をクリックします。

[ファクス送信設定] 画面が表示されます。

4 ［ファクス送信設定］画面に、［相手先名］と［ファクス番号］を入力するか、［アドレス帳］から選択し、［相手先一覧に追加］をクリックします。

［ファクス送信設定］画面の詳細は、「ファクス送信設定」(→ P.4-2）を参照してください。

ファクス番号入力に使用できる文字や記号について詳しくは、「ファクス番号入力に使える文字と数字」(→ P.4-2）を参照してください。

アドレス帳からの相手先の選択のしかたについて詳しくは、「相手先をアドレス帳から選択」(→ P.4-4）を参照してください。

メモ
- ［相手先名］を入力しないと送信できません。
- ［ファクス番号］には 45 文字以内（ハイフン「-」を除く 38 文字以内）で入力できます。
- ［相手先名］には全角 42 文字（半角 85 文字まで）入力できます。
- アドレス帳から［相手先名］と［ファクス番号］を選択するには、はじめにアドレス帳に入力しておく必要があります (P.4-16、P.4-30)。
- 入力した相手先名とファクス番号をアドレス帳に登録しておくと、繰り返し入力する手間が省けて便利です。［ファクス送信設定］画面で相手先名とファクス番号を入力して、［アドレス帳に追加］をクリックしてください。［アドレス帳の編集］タブを使うと会社名や部署名などのような追加情報を入力することができます (P.4-16、P.4-30)。

5 ［OK］をクリックしてください。

ファクス番号入力に使える文字と数字

コンピュータから送信するファクス番号やアドレス帳に登録する相手先の番号には以下の文字や数字が使えます。

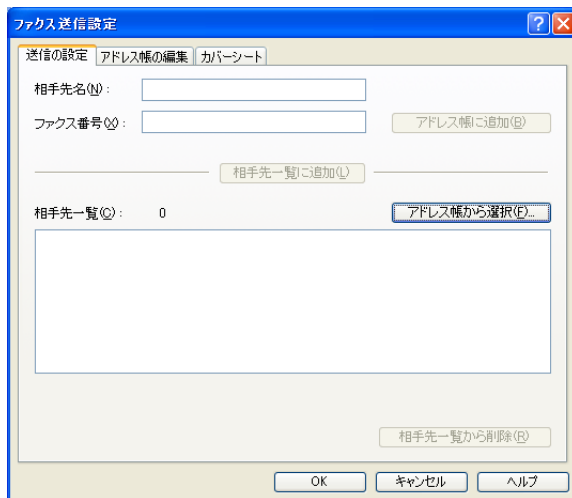
文字・数字	説明
0～9、*、#	電話番号、ファクス番号として使います。
p	数字の間にポーズをおきます。
P	数字列の最後にポーズを置きます。
T	T の後ろの数字がトーンシグナルとして送られます。
+ - () .	数字を読みやすくします。

ファクス送信設定

アプリケーションから印刷のコマンドを選択すると、［ファクス送信設定］画面が表示されます。［ファクス送信設定］画面には 3 つのタブがあります。

メモ
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。(→困ったときの参照先：P.1-2)
- 画面は Windows XP のものを使用しています。

■[送信の設定］タブ

ファクスの相手先名とファクス番号を入力します。一度の操作で複数の相手先に送信することもできます。

[相手先名] ファクス送信したい相手先名（個人）を指定します。
全角 42 文字（半角 85 文字）まで入力できます。

[ファクス番号] ファクス送信したい相手先（個人）のファクス番号を指定します。半角 45 文字以内（ハイフン「-」を除く 38 文字以内）で入力します。ファクス番号として半角の英数字および記号を使用できます。詳しくは、「ファクス番号入力に使える文字と数字」（→ P.4-2）を参照してください。

[アドレス帳に追加] 入力した相手先名、ファクス番号が新しい個人の相手先としてアドレス帳に登録されます。

[相手先一覧に追加] 指定した相手先名とファクス番号が [相手先一覧] に追加されます。

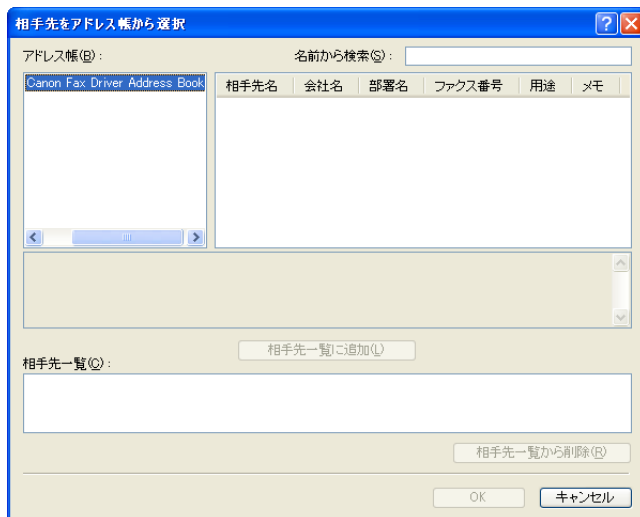
[アドレス帳から選択]

［相手先をアドレス帳から選択］画面が表示されます。アドレス帳からファクスの相手先を選択することができます。（→相手先をアドレス帳から選択：P.4-4）

[相手先一覧] ファクスを送信する相手の総数、相手先名とファクス番号が表示されます。

[相手先一覧から削除]

［相手先一覧］から相手先を削除します。リストから削除したい相手先を選択し、［削除］をクリックしてください。

● 相手先をアドレス帳から選択

［アドレス帳］ アドレス帳を一覧から選択します。
選択したアドレス帳に登録されている相手先の一覧が表示されます。

メモ
- 次のようなときは、登録されているアドレス帳が表示されない場合があります。
  - ・登録されているアドレス帳のファイルが存在しない。
  - ・登録されているアドレス帳のファイル属性が 読み取り専用になっている。
  - ・登録されているアドレス帳を使用するユーザにアドレス帳に対する書き込み権限がない。

［名前から検索］ 検索する相手先名を指定すると、一致する相手先が選択されます。一部の文字列だけを入力しても先頭から一致する相手先が選択されます。全角 64 文字（半角 128 文字）まで入力できます。
選択した相手先の詳細情報が欄外に表示されます。

［相手先一覧に追加］ 指定した相手先名とファクス番号が［相手先一覧］に追加されます。

［相手先一覧］ 相手先とファクス番号のリストを表示します。

［相手先一覧から削除］

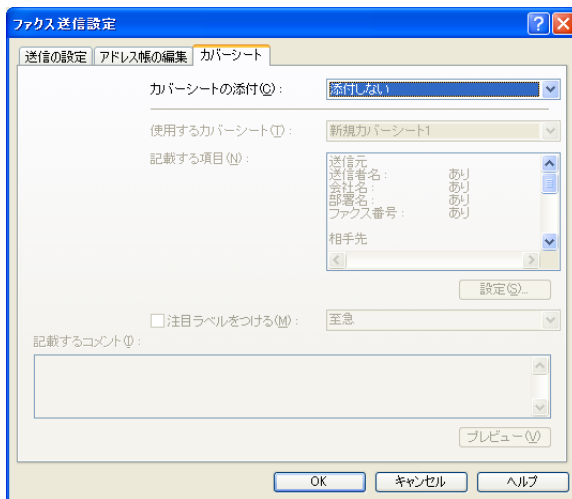
［相手先一覧］の中から選択した送信先が削除されます。一度に複数の送信先が削除可能です。

■［アドレス帳の編集］タブ

アドレス帳を編集します。詳しくは、「［アドレス帳の編集］タブ」(→ P.4-16、P.4-30) を参照してください。

■［カバーシート］タブ

ファクスする文書に添付するカバーシートを選択します。

メモ　Canon Cover Sheet Editor を使って、オリジナルのカバーシートを作成できます。詳しくは、「Canon Cover Sheet Editor」（→ P.4-39）を参照してください。

［カバーシートの添付］

カバーシートを［添付しない］、［相手先ごとに別シートを添付］、［全員に同じシートを添付］から選択します。カバーシートを添付する場合は［使用するカバーシート］から添付するカバーシートのテンプレートを選択します。選択されたカバーシートはプレビュー表示されます。

［添付しない］　ファクスにカバーシートを添付しません。

［相手先ごとに別シートを添付］

相手先ごとに各項目を変えたカバーシートを添付します。

［全員に同じシートを添付］

同じカバーシートをすべてのファクスに添付します。

［使用するカバーシート］

はじめから登録されているカバーシートテンプレートリスト、または［印刷設定］画面の［カバーシートの登録］タブで入力したカバーシートから使用するカバーシートを選択します (P.4-21、P.4-36)。

［記載する項目］　カバーシートに記載する［送信元］の［送信者名］、［会社名］、［部署名］、［ファクス番号］の情報が表示されます。

［設定］　［カバーシートに記載する項目の設定］画面を開いて、［送信元］、［相手先］、［ロゴ］、［署名］、［送信枚数］の表示設定ができます。（→カバーシートに記載する項目の設定：P.4-6）

[注目ラベルをつける]

カバーシートに注目ラベルを記載します。
[注目ラベルをつける] にチェックマークを付けると、プルダウンリストの [至急]、[大至急]、[ご参考]、[社外秘]、[お知らせ] の中から選択、あるいは全角 15 文字（半角 30 文字）以内で入力したラベルをカバーシートに記載することができます。

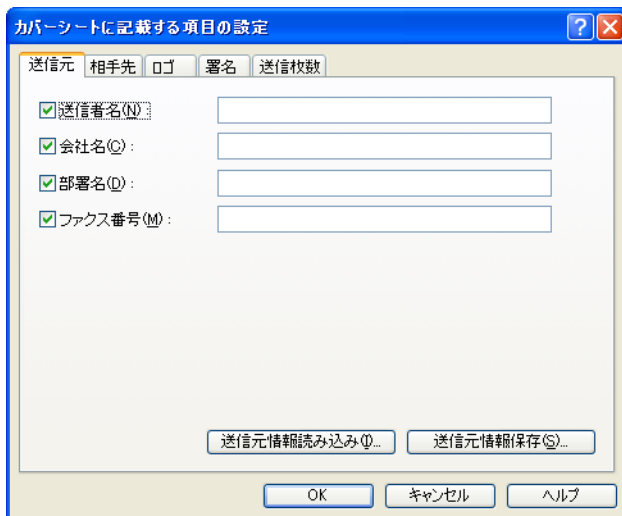
[記載するコメント] その他カバーシートに記載したい情報を入力できます。上下にスクロールさせると入力した情報を見ることができます。全角 127 文字（半角 255 文字）まで入力できます。

[プレビュー] カバーシートのイメージを表示して設定を確認することができます。

● カバーシートに記載する項目の設定

[カバーシートに記載する項目の設定] 画面でカバーシートに載せるアイテムの詳細をセットできます。[カバーシートに記載する項目の設定] 画面には 5 個のタブシートがあります。

● [送信元] タブ

カバーシートに載せる送信元の情報を編集できます。

[送信者名] ファクスのカバーシートに記載する送信者名を、全角 42 文字（半角 85 文字）以内で入力します。

[会社名] ファクスのカバーシートに記載する送信元の会社名を、全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。

[部署名] ファクスのカバーシートに記載する送信元の部署名を、全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。

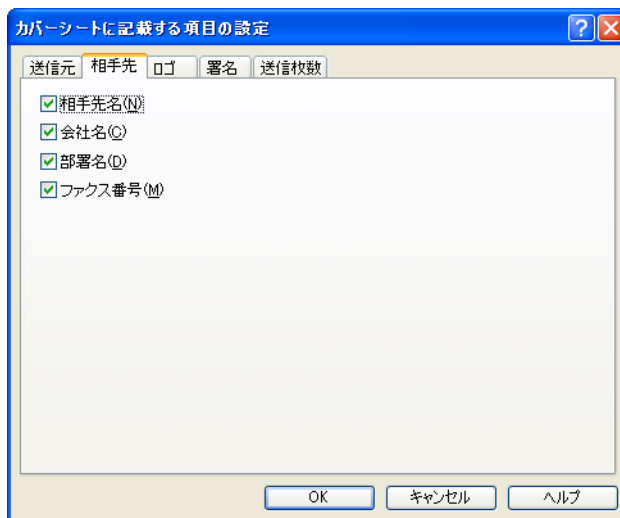
[ファクス番号]　ファクスのカバーシートに記載する送信元のファクス番号を、半角45 文字以内（ハイフン「ー」を除く 38 文字以内）で入力します。ファクス番号として半角の英数字および記号を使用できます。

[送信元情報読み込み]

[送信元情報保存］で作成した CSV 形式の送信元に関する情報を読み込みます。[送信元情報読み込み］をクリックして、CSV 形式のファイルを指定します。

[送信元情報保存]　[送信元］ページで入力している情報を CSV 形式のファイルへ保存します。次回から保存したファイルを読み込むことにより、入力の手間を省くことができます。

● [相手先］タブ

カバーシートに載せる相手先の情報を編集できます。

[相手先名]　カバーシートに相手先を記載します。

[会社名]　カバーシートに相手先の会社名を記載します。

[部署名]　カバーシートに相手先の部署名や課名を記載します。

[ファクス番号]　カバーシートに相手先のファクス番号を記載します。番号入力に使用できる数字や文字については、「ファクス番号入力に使える文字と数字」（→ P.4-2）を参照してください。

● [ロゴ] タブ

カバーシートにロゴをつけるかどうかの選択やその詳細を設定できます。

[ロゴをつける] カバーシートにロゴを付けます。

[ファイル名] カバーシートに付けるロゴのデータファイルを選択します。ビットマップ形式のデータのみ選択できます。

[参照] コンピュータに保存されているロゴファイルを検索します。

[倍率の指定] チェックマークを付けると、ロゴの倍率を設定できます。
倍率を 50 % ～ 200 % の間で指定することができます。

[座標] 印刷されるロゴの縦方向と横方向の位置を設定します。[X]、[Y] 編集ボックス中に数値を入力するか（－ 50 ～ 50 の間)、X Y スライドバーを使って位置を変更できます。

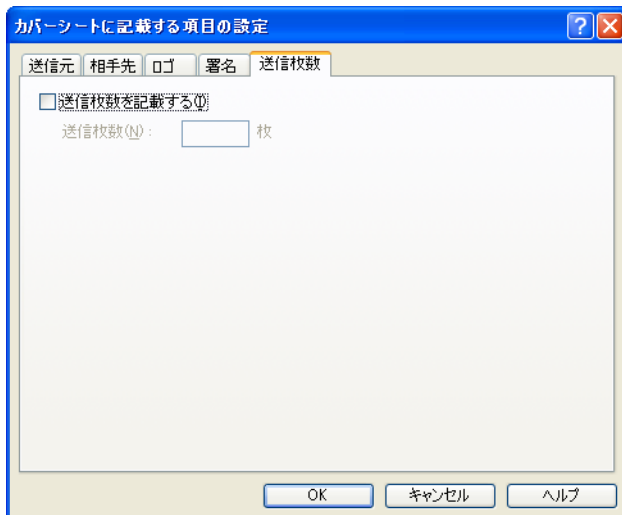
[中心へ移動] カバーシートの中央にロゴを移動します。

● [署名] タブ

カバーシートに署名を載せるかどうかの選択やその詳細を設定します。

[署名をつける]	カバーシートに署名を付けます。
[ファイル名]	カバーシートに付ける署名のデータファイルを選択します。ビットマップ形式のデータのみ選択できます。
[参照]	コンピュータに保存されている署名ファイルを検索します。
[倍率の指定]	チェックマークを付けると、署名の大きさの倍率を設定できます。倍率を 50 % ～ 200 % の間で指定することができます。
[座標]	印刷される署名の縦方向と横方向の位置を設定します。[X]、[Y] 編集ボックス中に数値を入力するか（ー 50 ～ 50 の間)、X Y スライドバーを使って位置を変更できます。
[中心へ移動]	カバーシートの中央に署名を移動します。

● ［送信枚数］タブ

カバーシートに送信枚数を記載するかどうかを選択できます。

［送信枚数を記載する］

チェックマークを付けると、ファクスのカバーシートにファクスの送信枚数が記載されます。
ファクスの送信枚数を半角数字４桁で入力します。

メモ　送信枚数は、自動ではカウントされません。手動で入力した値がカバーページに記載されます。

ファクスの設定を変更する

ファクスの設定を確認するには、ファクスドライバのプロパティ、または印刷設定画面を開きます。

プロパティ画面は、アプリケーションの［印刷］画面または、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］フォルダ）から開くことができ、印刷設定画面は［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000 の場合は［プリンタ］フォルダ）から開くことができます。

この画面は次の手順で開きます。

メモ

- ［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］フォルダ）からファクスプロパティ画面を開いたときは、ファクスの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用のファクスの設定ができます。ファクス印刷設定画面では、本製品のファクス機能の初期設定を変更することができます。（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）
- プロパティ画面に表示されるタブの数は、お使いの環境と画面の表示のしかたによって異なります。
- 画面の表示のしかたによって、設定内容の有効期間が異なります。
  - ・アプリケーションの［印刷］画面からプロパティ画面を表示した場合、選択したファクスオプションは現在の印刷ジョブにのみ適用され、アプリケーション終了時に無効になります。
  - ・［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］フォルダ）からプロパティ画面を表示した場合、選択した印刷オプションはすべての Windows アプリケーションに適用され、設定を変更するまで有効です。

Windows アプリケーションから表示する場合

■［Canon MF5700 Series（FAX）印刷設定］または［Canon MF5700 Series（FAX）のプロパティ］画面を開く

1 ファクスするドキュメントのアプリケーションを開きます。

2 印刷のコマンドを選択します。

通常は、［ファイル］メニューで［印刷］を選択します。

［印刷］画面が表示されます。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］で［Canon MF5700 Series（FAX)］を選択します。

4 ［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

［Canon MF5700 Series（FAX）のプロパティ］または［Canon MF5700 Series（FAX）印刷設定］画面が表示されます。

[プリンタと FAX]（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ]）フォルダから表示する場合

■[Canon MF5700 Series（FAX）のプロパティ］画面を開く

1 **[プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 のときは、[プリンタ］フォルダ）を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］→［設定］→［プリンタ]）をクリックします。

2 **[Canon MF5700 Series（FAX)］のアイコンをクリックします。**

3 **[ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

ファクスドライバのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても、[Canon MF5700 Series（FAX）のプロパティ］画面を表示することができます。

［Canon MF5700 Series（FAX）のプロパティ］画面が表示されます。

■[Canon MF5700 Series（FAX）印刷設定］画面を開く（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

1 **[プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000 のときは、[プリンタ］フォルダ）を開きます。**

タスクバーの［スタート］から、[プリンタと FAX］（Windows 2000 の場合は、［スタート］から［設定］→［プリンタ]）をクリックします。

2 **[Canon MF5700 Series（FAX)］のアイコンをクリックします。**

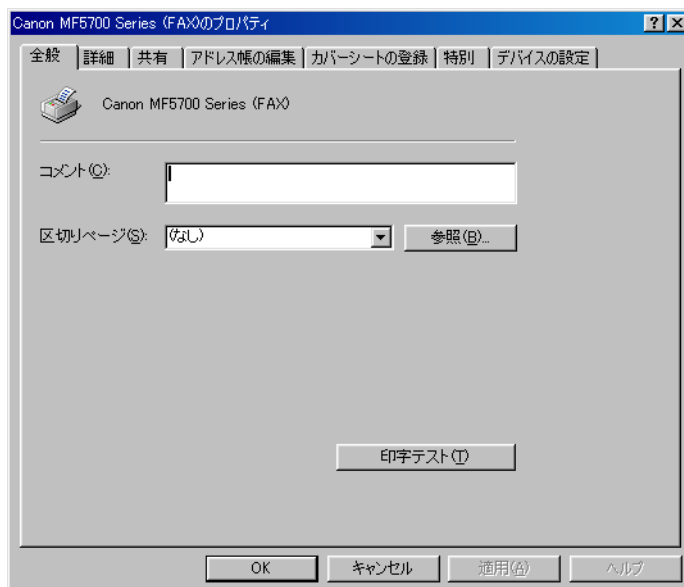
3 **[ファイル］メニューから［印刷設定］をクリックします。**

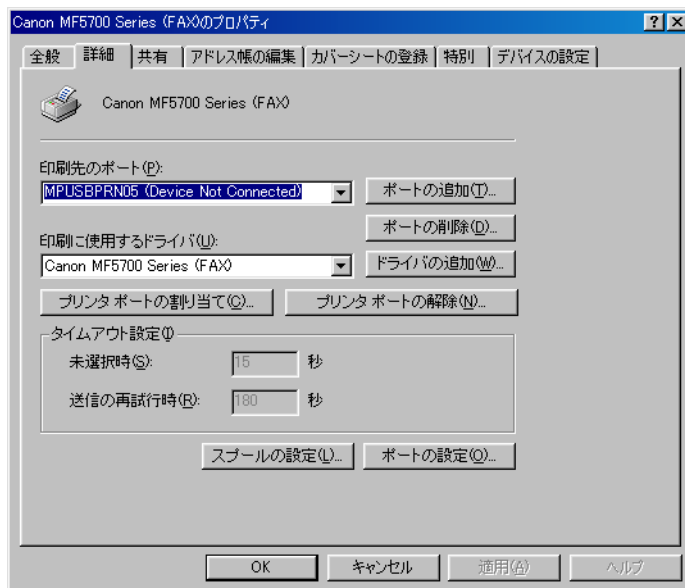
プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても、[Canon MF5700 Series（FAX）印刷設定］画面を表示することができます。

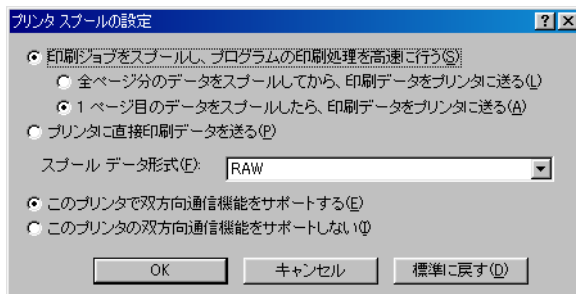
［Canon MF5700 Series（FAX）印刷設定］画面が表示されます。

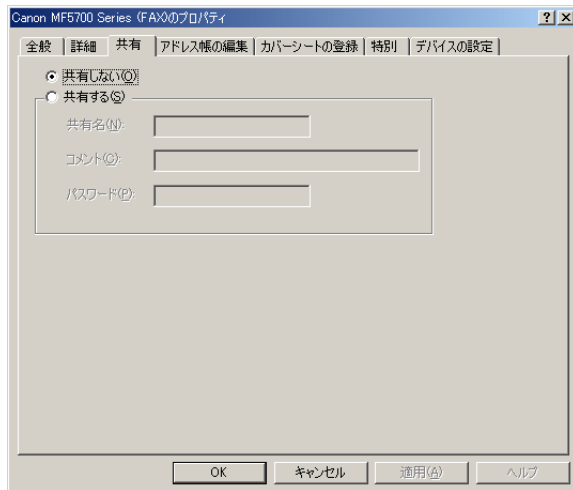
Windows 98/Me でのファクスプロパティ画面

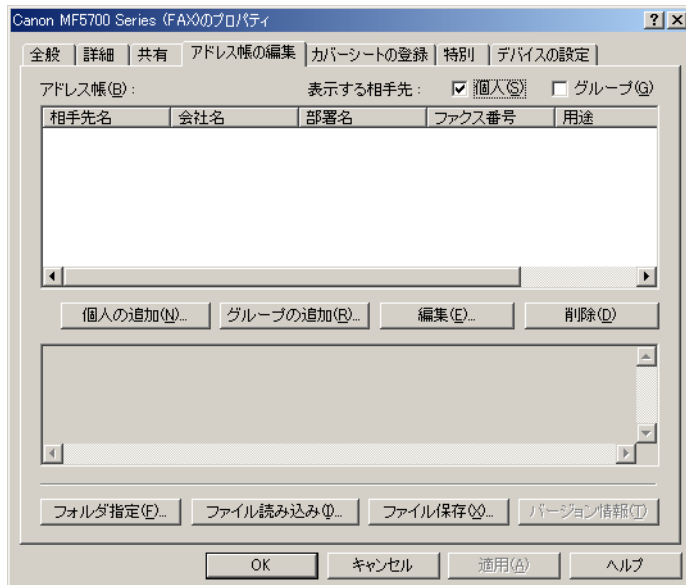
■［全般］タブ

テストページの印刷や分割ページの定義が行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［詳細］タブ

プリンタポートやタイムアウトの設定を指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

● プリンタ スプールの設定

初期設定値は次のように設定されています。

■［共有］タブ

プリンタの共有設定をします。このタブはネットワークで、プリンタ共有が有効に設定されているときのみ表示されます。（→プリンタの共用を設定する：P.2-50）
詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［アドレス帳の編集］タブ

アドレス帳を編集します。

［表示する相手先］　［アドレス帳］に表示する相手先を選択します。

［個人］　個人の相手先を［アドレス帳］に表示します。

［グループ］　グループを［アドレス帳］に表示します。

［アドレス帳］　［表示する相手先］で選択した相手先を表示します。
［相手先名］、［会社名］、［部署名］、［ファクス番号］、［用途］、［メモ］の情報を表示します。これらの項目名をクリックすると、相手先が、選択した項目について昇順、降順交互に並び替わります。
相手先を選択すると、その情報が［詳細］に表示されます。

［個人の追加］　［個人の追加］画面を表示し、新しい個人の相手先を［アドレス帳］に追加します。（→個人の追加：P.4-17）

［グループの追加］　［グループの追加］画面を表示し、新しいグループの相手先を［アドレス帳］に追加します。（→グループの追加：P.4-18）

［編集］　アドレス帳で個人を選択している場合は、［個人の編集］画面を、グループを選択している場合は［グループの編集］画面を表示し、登録内容の編集を行います。（→個人の編集：P.4-19、→グループの編集：P.4-20 ）

［削除］　アドレス帳で選択されている相手先をアドレス帳から削除します。

メモ　［削除］をクリックすると、削除の確認を求める画面が表示されます。選択されている相手先を削除する場合は、［OK］をクリックします。選択されている相手先を削除しない場合は、［キャンセル］をクリックします。一度に複数の相手先を削除することができます。

［フォルダ指定］　［フォルダの参照］画面からフォルダを選択してアドレス帳のフォルダを編集できます。

［ファイル読み込み］ ファイルデータからアドレス帳を読み込むことができます。読み込むことができるファイルは CSV 形式のファイル（拡張子 .csv）と、キヤノンデータファイル（拡張子 .abk）です。

［ファイル保存］ ［名前を付けて保存］画面を表示し、［アドレス帳］から指定されたデータを CSV 形式（カンマ区切り形式）で保存します。

● 個人の追加

個人の相手先の情報を登録します。［個人の追加］画面を使って登録したアドレスは［個人］に分類されます。

次の情報を入力できます。

［姓］	個人の姓を全角 15 文字（半角 30 文字）以内で入力します。
［名］	個人の名を全角 10 文字（半角 20 文字）以内で入力します。
［敬称］	個人の敬称を設定します。敬称をリスト（[宛]、[御中]、[先生]、[殿]、[様]）から選択するか、全角 8 文字（半角 16 文字）以内で入力します。
［相手先名］	カバーシートに記載される宛名を全角 42 文字（半角は 85 文字）以内で入力します。相手先名を入力しないと姓、名、敬称で入力した情報が自動的に相手先名に設定されます。
［会社名］	個人に関連する会社名を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。
［部署名］	個人に関連する部署名を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。
［ファクス番号］	相手先のファクス番号を入力します。［第 1 優先番号］、［第 2 優先番号］とそれぞれの［用途］を入力できます。
［メモ］	相手先の補足情報を入力します。全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。

● グループの追加

複数の相手先をグループとしてを登録します。［グループの追加］画面を使って登録したアドレスは［グループ］に分類されます。

次の情報を入力できます。

［グループ名］ グループ名を入力します。全角 24 文字（半角 48 文字）以内で入力します。

［表示する項目］ ［選択可能な送信先一覧］に表示する項目を選択します。

［個人］ 個人の相手先を［選択可能な送信先一覧］に表示します。

［グループ］ グループを［選択可能な送信先一覧］に表示します。

［選択可能な送信先一覧］

［表示する項目］で選択した相手先を表示します。［相手先名］、［会社名］、［部署名］、［ファクス番号］、［用途］、［メモ］の情報を表示します。これらの項目名をクリックすると、相手先が、選択した項目について昇順、降順交互に並び替わります。
相手先を選択すると、その情報が［詳細］に表示されます。

［グループに追加］ ［選択可能な送信先一覧］から選択した相手先を［グループメンバ］に追加します。

［グループから削除］ ［グループメンバ］から選択した相手先を削除します。削除された相手先は［選択可能な送信先一覧］に戻ります。

［グループメンバ］ 選択したグループのメンバとして登録されている個人、グループの一覧を表示します。縦と横のスクロールバーを使って見ることができます。

［メモ］ 補足情報を入力します。全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。

● 個人の編集

個人の相手先の情報を編集できます。

個人の編集

姓(L)：　名(F)：　敬称(X)：

相手先名(N)：

会社名(C)：

部署名(D)：

ファクス番号

第1優先番号(I)：

用途(T)：

第2優先番号(Y)：

用途(O)：

メモ(E)：

OK　キャンセル　ヘルプ(H)

［姓］　登録されている個人の姓が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

［名］　登録されている個人の名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

［敬称］　登録されている個人の敬称が表示されます。敬称をリスト（［宛］、［御中］、［先生］、［殿］、［様］）から選択するか、全角８文字（半角16文字）以内で入力します。

［相手先名］　登録されている個人の相手先が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。相手先名を入力しないと姓、名、敬称で入力した情報が自動的に相手先名に設定されます。

［会社名］　登録されている個人の会社名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

［部署名］　登録されている個人の部署名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

［ファクス番号］　相手先のファクス番号が表示されます。［第１優先番号］、［第２優先番号］とそれぞれの［用途］を編集できます。

［メモ］　登録されている個人の補足情報が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

● グループの編集

グループの情報を編集できます。

［グループ名］ 登録されているグループ名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

［表示する項目］ ［選択可能な送信先一覧］に表示する項目を選択します。

［個人］ 個人の相手先を［選択可能な送信先一覧］に表示します。

［グループ］ グループを［選択可能な送信先一覧］に表示します。

［選択可能な送信先一覧］

［表示する項目］で選択した相手先を表示します。
［相手先名］、［会社名］、［部署名］、［ファクス番号］、［用途］、［メモ］の情報を表示します。これらの項目名をクリックすると、相手先が、選択した項目について昇順、降順交互に並び替わります。
相手先を選択すると、その情報が［詳細］に表示されます。

［グループに追加］ ［選択可能な送信先一覧］から選択した相手先を［グループメンバ］に追加します。

［グループから削除］ ［グループメンバ］から選択した相手先を削除します。削除された相手先は［選択可能な送信先一覧］に戻ります。

［グループメンバ］ 選択したグループのメンバとして登録されている個人、グループの一覧を表示します。縦と横のスクロールバーを使って見ることができます。

［メモ］ すでに入力した情報が表示されます。必要に応じて情報を変更できます。

■［カバーシートの登録］タブ

ファクスする文書に添付するカバーシートの登録、削除ができます。

メモ　Canon Cover Sheet Editor を使って、オリジナルのカバーシートを作成できます。詳しくは、「Canon Cover Sheet Editor」（→ P.4-39）を参照してください。

プレビュー　カバーシートのテンプレートデザインをプレビュー表示します。さらに、拡大してプレビュー表示するには、［プレビュー］をクリックしてください。

［使用するカバーシート］

使用するカバーシートを選択します。
選択されたカバーシートはプレビュー表示されます。

メモ　あらかじめ用意されている［テンプレート 1/2/3］には、送信枚数は記載されません。

［プレビュー］　プレビューウィンドウにカバーシートのイメージを表示して、設定を確認することができます。

［登録］　［カバーシートの登録］画面が表示され、Canon Cover Sheet Editor を使って作成したカバーシートのテンプレートを登録できます。登録したテンプレートは［使用するカバーシート］のリストに追加されます。

［削除］　［使用するカバーシート］のリストに登録したテンプレートを削除します。あらかじめ用意されているテンプレートは削除できません。

■[特別]タブ

用紙のサイズ、向き、解像度などの設定ができます。

操作パネルからダイヤルする際の外線接続番号も設定できます。

プレビュー　指定された用紙サイズと用紙の向きを、プレビュー表示します。

[原稿サイズ]　アプリケーションで使用する紙のサイズを設定します。([レター]、[レジャー]、[リーガル]、[A5]、[B5]、[A4]、[B4]、[A3]です。)

[印刷の向き]　ファクスのレイアウトを縦方向、横方向から選択します。

[縦]　書類の向きが縦の場合は縦を選択します。

[横]　書類の向きが横の場合は横を選択します。

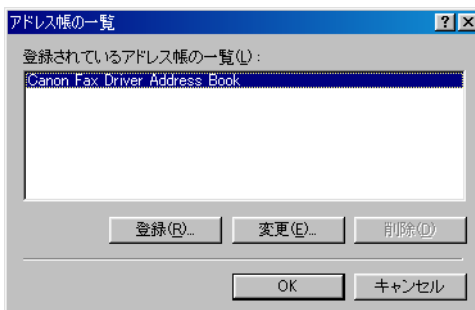
[解像度]　ファクス送信時の解像度を指定します。[ウルトラファイン]、[ファイン]のいずれかを選択できます。選択したオプションによってプレビュー表示が変わります。

[外線接続番号]　チェックマークを付けると、外線接続番号を設定できます。
外線接続番号は半角 5 文字以内で入力します。半角の英数字および記号を使用できます。

[アドレス帳の一覧]　[アドレス帳の一覧画面]が表示され、ファクス送信先の選択に使用するアドレス帳を選択できます。[アドレス帳の一覧画面]では、Windows Address Book や Massaging API のアドレス帳をファクス送信先として登録しておくことができます。(→アドレス帳の一覧:P.4-23)

[標準に戻す]　すべての設定を初期設定値に戻します。

● アドレス帳の一覧

［特別］タブの［アドレス帳の一覧］をクリックすると、［アドレス帳の一覧］画面が開きます。この画面ではファクス送信時のアドレス帳を入力できます。

［登録されているアドレス帳の一覧］

現在登録されているアドレス帳が表示されます。

［登録］

Messaging API や Windows Address Book などのアドレス帳を登録するための画面が表示されます。（→アドレス帳の登録：P.4-23）

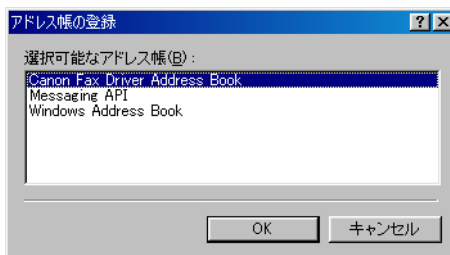
［変更］

アドレス帳を選択して［変更］をクリックすると、それぞれのアドレス帳に応じた画面が表示され、アドレス帳の設定を変更することができます。
（→アドレス帳の追加 / 変更：P.4-24）

［削除］

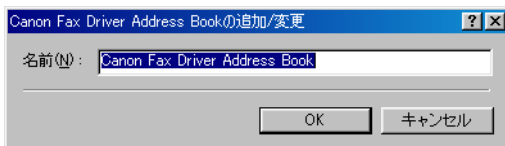
アドレス帳を選択して［削除］をクリックすると、アドレス帳が削除されます。

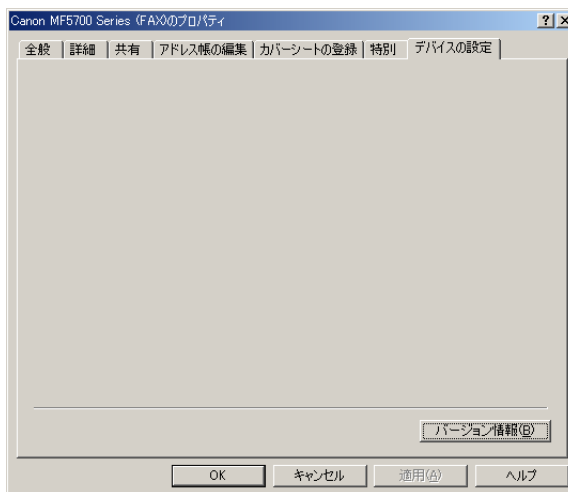
● アドレス帳の登録

ファクス送信時に使用するアドレス帳を入力します。

［選択可能なアドレス帳］

登録可能なアドレス帳が一覧表示されます。
アドレス帳を選択して［OK］をクリックすると、アドレス帳の追加 / 変更の画面が表示され、追加登録することができます。

● アドレス帳の追加 / 変更

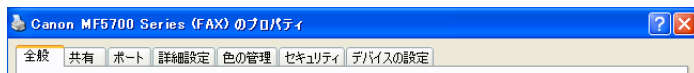
ファクス送信時に使用するアドレス帳を編集します。

[名前] アドレス帳の一覧に表示されるアドレス帳の名前を変更できます。全角 32 文字以内（半角 64 文字以内）で入力します。

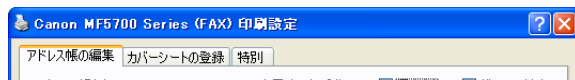
■［デバイスの設定］タブ

[バージョン情報] ファクスドライバソフトウェアの版権とバージョン情報を表示します。

Windows 2000/XP/Server 2003 でのファクスプロパティ画面とファクス印刷設定画面

Windows 2000/XP/Server 2003 版のファクスドライバには、次の 2 つの主要な画面があります。

■ファクスプロパティの画面

この画面では、ファクスの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用の印刷条件を設定できます。

■ファクス印刷設定の画面

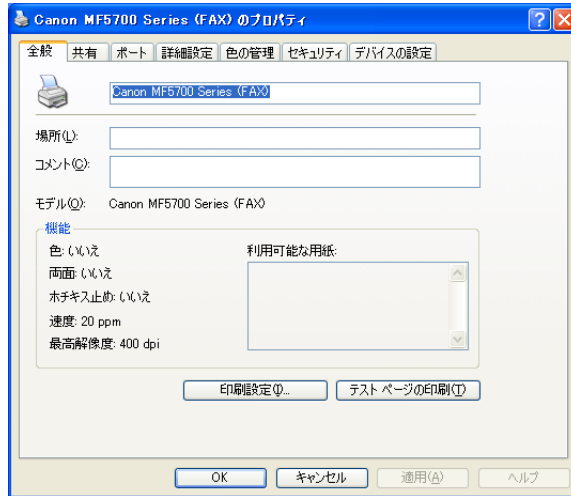
この画面では、アドレス帳の編集、カバーシートの登録、ページ設定を指定できます。

ファクスプロパティ

［Canon MF5700 Series（FAX）のプロパティ］画面には、ファクスの設定や、印刷条件を設定するためのタブがあります。

メモ

- プロパティの画面に表示されるタブの数は、お使いの環境によって異なります。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。（→困ったときの参照先：P.1-2）
- 画面は Windows XP を使用しています。

■[全般］タブ

テストページの印刷や印刷設定が行えます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■[共有］タブ

プリンタ共有設定をします。このタブはネットワークで、プリンタ共有が有効に設定されているときのみ表示されます。(→ネットワーク上で共有プリンタを使用する：P.2-54)詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［ポート］タブ

プリンタの接続先のポートを指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■［詳細設定］タブ

印刷時のスプール機能の設定を指定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

メモ

［印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う］および［すぐに印刷データをプリンタに送る］は、プリンタドライバのインストール時に自動的に有効（オン）に設定されます。

■[色の管理]タブ

カラープロファイルをプリンタに関連付けます。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

[自動] 関連付けられたカラープロファイル一覧の中から最適なプロファイルを自動で選択する場合に選択します。

[手動] カラープロファイルを手動で選択する場合に選択します。

[このプリンタに現在関連付けられているカラー プロファイル]

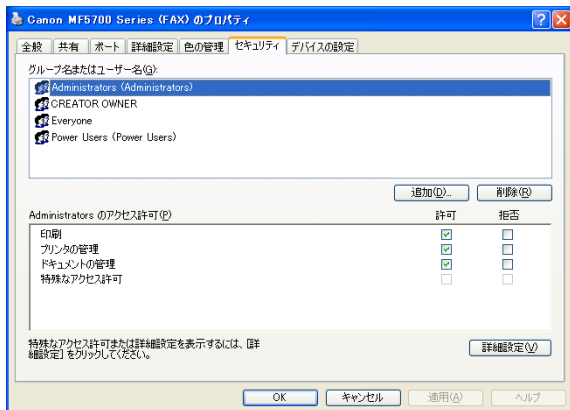
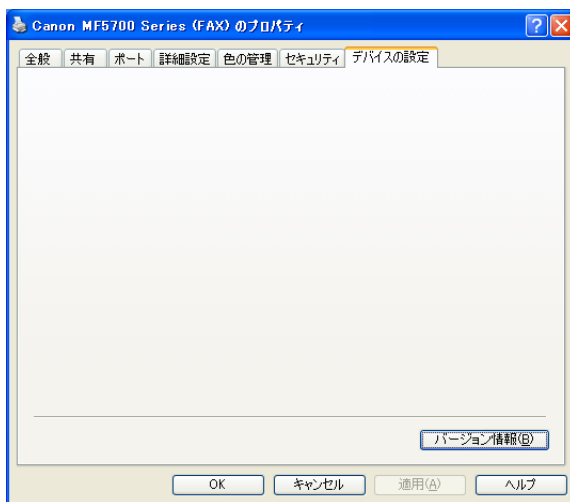
このプリンタに現在関連付けられているすべてのカラー プロファイルの一覧が表示されます。プロファイルをクリックして[既定値に設定]をクリックすると、プリンタに色の設定を適用するときに使うプロファイルに設定されます。

[追加] プリンタに関連付けられるカラープロファイルを追加します。

[削除] 選択されたカラープロファイルを、カラープロファイル一覧から削除します。

[既定値に設定] [手動]で選択したカラープロファイルを既定値として設定します。

■[セキュリティ] タブ

セキュリティを設定します。詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

■[デバイスの設定] タブ

[バージョン情報]　ファクスドライバソフトウェアの版権とバージョン情報を表示します。

ファクス印刷設定

［Canon MF7500 Series（FAX）印刷設定］画面には、アドレス帳の編集、カバーシートの登録、ページ設定のための３つのタブがあります。

メモ
- アプリケーションの［プリント］画面から同様の画面を開く際は、選択したファクス設定は、現在のファクスジョブにのみ反映されます。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。（→困ったときの参照先：P.1-2）
- 画面は Windows XP のものを使用しています。

■［アドレス帳の編集］タブ

アドレス帳を編集します。

［表示する相手先］　［アドレス帳］に表示する項目を選択します。

［個人］　個人の相手先を［アドレス帳］に表示します。

［グループ］　グループを［アドレス帳］に表示します。

［アドレス帳］　［表示する項目］で選択した相手先を表示します。
［相手先名］、［会社名］、［部署名］、［ファクス番号］、［用途］、［メモ］の情報を表示します。これらの項目名をクリックすると、相手先が、選択した項目について昇順、降順交互に並び替わります。
相手先を選択すると、その情報が［詳細］に表示されます。

［個人の追加］　［個人の追加］画面を表示し、新しい個人の相手先を［アドレス帳］に追加します。（→個人の追加：P.4-32）

［グループの追加］　［グループの追加］画面を表示し、新しいグループの相手先を［アドレス帳］に追加します。（→グループの追加：P.4-33）

［編集］　アドレス帳で個人を選択している場合は、［個人の編集］画面を、グループを選択している場合は［グループの編集］画面を表示し、登録内容の編集を行います。（→個人の編集：P.4-34、→グループの編集：P.4-35 ）

［削除］　アドレス帳で選択されている相手先をアドレス帳から削除します。

メモ　［削除］をクリックすると、削除の確認を求める画面が表示されます。選択されている相手先を削除する場合は、［OK］をクリックします。選択されている相手先を削除しない場合は、［キャンセル］をクリックします。一度に複数の相手先を削除することができます。

［フォルダ指定］　［フォルダの参照］画面からフォルダを選択してアドレス帳のフォルダを編集できます。

メモ　アドレス帳の保存先フォルダにアクセス権限（初期設定値は、Power User 権限以上）がない場合、アドレス帳の参照、編集を行えませんが、［フォルダ指定］をクリックしてアクセス権限のある［マイドキュメント］フォルダなどへアドレス帳の保存先を変更するか、独自のアドレス帳を新規に作成することにより、アドレス帳を使用することができるようになります。

［ファイル読み込み］　画面が表示され、指定されたファイルからのデータを［アドレス帳］に読み込みます。読み込むことができるファイルは CSV 形式のファイル（拡張子 .csv）と、キヤノンデータファイル（拡張子 .abk）です。

［ファイル保存］　［ファイル保存］画面を表示し、［アドレス帳］から指定されたデータを CSV 形式（カンマ区切り形式）で保存します。

［バージョン情報］　ファクスドライバソフトウェアの版権とバージョン情報が表示されます。

● 個人の追加

個人の相手先の情報を登録します。［個人の追加］画面を使って登録したアドレスは［個人］に分類されます。

次の情報を入力できます。

[姓]	個人の姓を全角 15 文字（半角 30 文字）以内で入力します。
[名]	個人の名を全角 10 文字（半角 20 文字）以内で入力します。
[敬称]	個人の敬称を設定します。敬称をリスト（[宛]、[御中]、[先生]、[殿]、[様]）から選択するか、全角 8 文字（半角 16 文字）以内で入力します。
[相手先名]	カバーシートに記載される宛名を全角 42 文字（半角 85 文字）以内で入力します。相手先名を入力しないと姓、名、敬称で入力した情報が自動的に相手先名に設定されます。
[会社名]	個人に関連する会社名を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。
[部署名]	個人に関連する部署名を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。
[ファクス番号]	相手先のファクス番号を入力します。[第 1 優先番号]、[第 2 優先番号］とそれぞれの［用途］を入力できます。
[メモ]	相手先の補足情報を入力します。全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。

● グループの追加

複数の相手先をグループとして登録します。[グループの追加］画面を使って登録したアドレスは［グループ］に分類されます。

次の情報を入力できます。

［グループ名］ グループ名を設定します。グループを追加するにはグループ名を入力する必要があります。全角 24 文字（半角 48 文字）以内で入力します。

［表示する項目］ ［選択可能な送信先一覧］に表示する項目を選択します。

［個人］ 個人の相手先を［選択可能な送信先一覧］に表示します。

［グループ］ グループを［選択可能な送信先一覧］に表示します。

［選択可能な送信先一覧］

［表示する項目］で選択した送信先を表示します。
［相手先名］、［会社名］、［部署名］、［ファクス番号］、［用途］、［メモ］の情報を表示します。これらの項目名をクリックすると、相手先が、選択した項目について昇順、降順交互に並び替わります。
相手先を選択すると、その情報が［詳細］に表示されます。

［グループに追加］ ［選択可能な送信先一覧］から選択した相手先を［グループメンバ］に追加します。

［グループから削除］ ［グループメンバ］から選択した相手先を削除します。削除された相手先は［選択可能な送信先一覧］に戻ります。

［グループメンバ］ 選択したグループのメンバとして登録されている個人、グループの一覧を表示します。縦と横のスクロールバーを使って見ることができます。

［メモ］ 補足情報を入力します。全角 16 文字（半角は 32 文字）以内で入力します。

● 個人の編集

個人の相手先の情報を編集できます。

[姓]	登録されている個人の姓が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。
[名]	登録されている個人の名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。
[敬称]	登録されている個人の敬称が表示されます。敬称をリスト（[宛]、[御中]、[先生]、[殿]、[様]）から選択するか、全角８文字（半角は 16 文字）以内で入力します。
[相手先名]	登録されている個人の相手先が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。相手先名を入力しないと姓、名、敬称で入力した情報が自動的に相手先名に設定されます。
[会社名]	登録されている個人の会社名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。
[部署名]	登録されている個人の部署名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。
[ファクス番号]	相手先のファクス番号が表示されます。[第１優先番号]、[第２優先番号］とそれぞれの［用途］を編集できます。
[メモ]	登録されている個人の補足情報が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

● グループの編集

グループの情報を編集できます。

[グループ名] 登録されているグループ名が表示されます。必要に応じて、変更、削除します。

[表示する項目] [選択可能な送信先一覧] に表示する項目を選択します。

[個人] 個人の相手先を [選択可能な送信先一覧] に表示します。

[グループ] グループを [選択可能な送信先一覧] に表示します。

[選択可能な送信先一覧]

[表示する項目] で選択した相手先を表示します。
[相手先名]、[会社名]、[部署名]、[ファクス番号]、[用途]、[メモ] の情報を表示します。これらの項目名をクリックすると、相手先が、選択した項目について昇順、降順交互に並び替わります。
相手先を選択すると、その情報が [詳細] に表示されます。

[グループに追加] [選択可能な送信先一覧] から選択した相手先を [グループメンバ] に追加します。

[グループから削除] [グループメンバ] から選択した相手先を削除します。削除された相手先は [選択可能な送信先一覧] に戻ります。

[グループメンバ] 選択したグループのメンバとして登録されている個人、グループの一覧を表示します。縦と横のスクロールバーを使って見ることができます。

[メモ] すでに入力した情報が表示されます。必要に応じて情報を変更・削除します。

■［カバーシートの登録］タブ

ファクスする文書に添付されるカバーシートを登録、削除します。

メモ　Canon Cover Sheet Editor を使って、オリジナルのカバーシートを作成できます。詳しくは、「Canon Cover Sheet Editor」（→ P.4-39）を参照してください。

プレビュー　カバーシートのテンプレートデザインをプレビュー表示します。さらに、拡大してプレビュー表示するには、［プレビュー］をクリックしてください。

［使用するカバーシート］

使用するカバーシートを選択します。
選択されたカバーシートはプレビュー表示されます。

メモ　あらかじめ用意されている［テンプレート 1/2/3］には、送信枚数は記載されません。

［プレビュー］　プレビューウィンドウにカバーシートのイメージを表示して、設定を確認することができます。

［登録］　［カバーシートの登録］画面が表示され、Canon Cover Sheet Editor を使って作成したカバーシートのテンプレートを登録できます。登録したテンプレートは［使用するカバーシート］のリストに追加されます。

［削除］　［使用するカバーシート］のリストに登録したテンプレートを削除します。あらかじめ用意されているテンプレートは削除できません。

■［特別］タブ

用紙のサイズ、向き、解像度などの設定ができます。

操作パネルからダイヤルする際の外線接続番号も設定できます。

プレビュー　指定された用紙サイズと用紙の向きを、プレビュー表示します。

［原稿サイズ］　アプリケーションで使用する紙のサイズを設定します。（［レター］、［レジャー］、［リーガル］、［A5］、［B5］、［A4］、［B4］、［A3］です）

［印刷の向き］　ファクスのレイアウトを縦方向、横方向から選択します。

- **［縦］**　書類の向きが縦の場合は縦を選択します。
- **［横］**　書類の向きが横の場合は横を選択します。

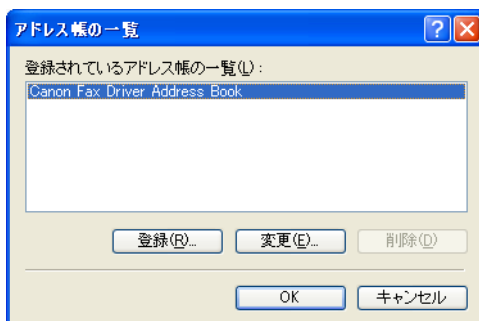
［解像度］　ファクス送信時の解像度を指定します。［ウルトラファイン］、［ファイン］のいずれかを選択できます。選択したオプションによってサンプルイメージが変わります。

［外線接続番号］　チェックマークを付けると、外線接続番号を設定できます。
外線接続番号は半角 5 文字以内で入力します。半角の英数字および記号を使用できます。

［アドレス帳の一覧］　［アドレス帳の一覧］画面が表示され、ファクス送信先の選択に使用するアドレス帳を選択できます。［アドレス帳の一覧］画面では、Windows Address Book や Massaging API のアドレス帳をファクス送信先として登録しておくことができます。（→アドレス帳の一覧：P.4-38）

［標準に戻す］　すべての設定を初期設定値に戻します。

● アドレス帳の一覧

［特別］タブの［アドレス帳の一覧］をクリックすると、［アドレス帳の一覧］画面が開きます。この画面ではファクス送信時のアドレス帳を指定できます。

［登録されているアドレス帳の一覧］

現在登録されているアドレス帳が表示されます。

［登録］

Messaging API や Windows Address Book などのアドレス帳を登録するための画面が表示されます。（→アドレス帳の登録：P.4-38）

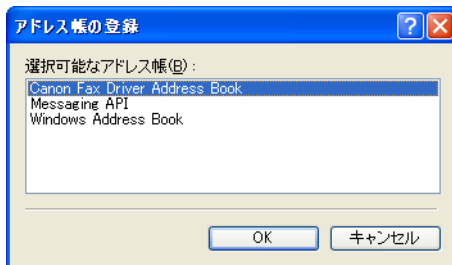
［変更］

アドレス帳を選択して［変更］をクリックすると、それぞれのアドレス帳に応じた画面が表示され、アドレス帳の設定を変更することができます。（→アドレス帳の追加 / 変更：P.4-39）

［削除］

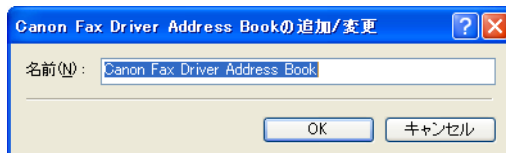
アドレス帳を選択して［削除］をクリックすると、アドレス帳が削除されます。

● アドレス帳の登録

この画面ではファクス送信時に使用するアドレス帳を登録します。

［選択可能なアドレス帳］

登録可能なアドレス帳が一覧表示されます。
アドレス帳を選択して［OK］をクリックすると、選択したアドレス帳に対応した画面が表示され、アドレス帳の設定を行うことができます。

● **アドレス帳の追加 / 変更**

この画面ではファクス送信時に使用するアドレス帳を編集します。

［名前］	アドレス帳の一覧に表示されるアドレス帳の名前を変更できます。全角 32 文字以内（半角 64 文字以内）で入力します。

Canon Cover Sheet Editor

ここでは、Canon Cover Sheet Editor のインストール方法、エディタの設定、オリジナルカバーシートの作成・登録を説明します。

Canon Cover Sheet Editor は、Canon ファクスドライバ用のオリジナルのカバーシートテンプレートを作成できるソフトウェアです。

このソフトウェアで作成、登録したオリジナルカバーシートはどのファクスでもお使いいただけます。手動で送信元や相手先のデータを入力する代わりに、フィールドを指定し、選択した送信元や相手先のデータを選択すると、ファクス送信時に自動的にカバーシートに入力されます。

Canon Cover Sheet Editor では次のことができます。

- ひとつのカバーシートに異なるフォントやフォントスタイル、フォントサイズを使ったテキストを記載できます。
- 絵や写真など、様々なオブジェクトが入れられます。
- フィールド設定機能を使って、複数の相手先へのファクス送信に使用するカバーシートが簡単に作成できます。
- 送受信者の情報フィールドに加え、特記事項やコメントも加えられます。
- 順番やオブジェクトの位置、グループ別のオブジェクトが簡単に編集できます。
- 作業中のオブジェクトをグリッドに合わせて配置できます。

Canon Cover Sheet Editor をインストール・アンインストールする

■インストールする

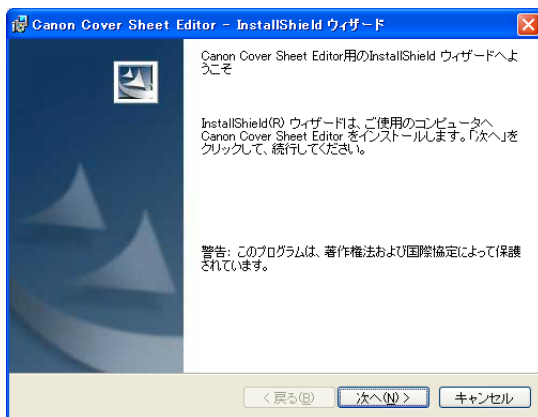
1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM をセットします。

メモ　[MF5700 シリーズセットアップ] 画面が表示されたら、[終了]をクリックして [MF5700 シリーズセットアップ] 画面を閉じてください。

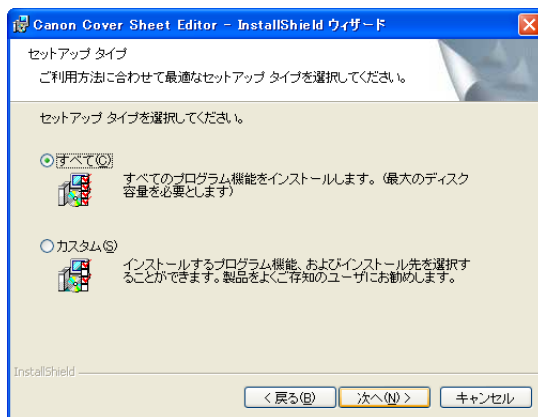
2 タスクバーの［スタート］から［マイコンピュータ］をクリックします。(Windows 98/Me/2000 のときは、［マイコンピュータ］をダブルクリックします。)

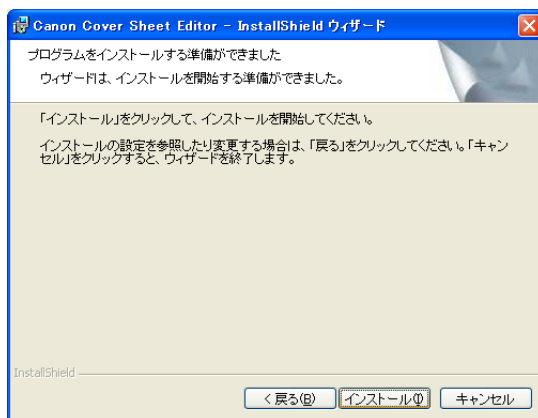
3 CD-ROM のアイコンを開き、[CSE]→［Japanese］をダブルクリックします。

4 [Setup（setup.exe)］をダブルクリックします。

5 [次へ］をクリックし、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

使用許諾契約が表示されます。

6 使用許諾契約の内容を確認し、[使用許諾契約の条項に同意します］を選択して［次へ］をクリックします。画面の指示に従ってインストールを進めてください。

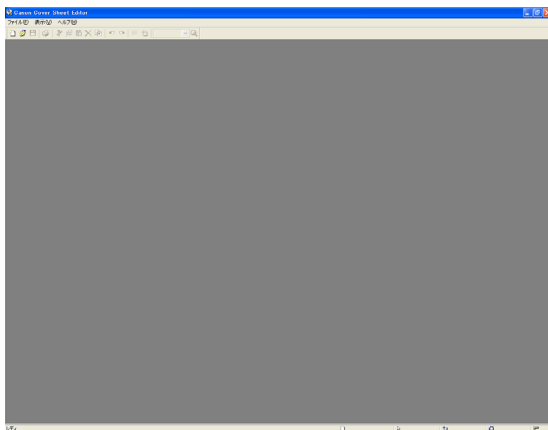
7 ［セットアップタイプ］の画面では、［すべて］または［カスタム］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　カスタムを選択したときには、Canon Cover Sheet Editor のインストール先を指定してください。

8 ［インストール］をクリックすると、ファイルのコピーが始まります。

9 ［完了］をクリックします。

■起動する

以下の手順に従って Canon Cover Sheet Editor を起動してください。

1 ［スタート］から［(すべての) プログラム］→［Canon］→［CSE］→［Cover Sheet Editor］をクリックします。

Canon Cover Sheet Editor が起動します。

■アンインストール（削除）する

以下の手順に従ってアンインストールしてください。

1 タスクバーの［スタート］から［コントロールパネル］（Windows 98/Me/2000 では［設定］→［コントロールパネル］）を選択します。

2 ［プログラムの追加と削除］をクリック（Windows 98/Me/2000 のときは、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリック）し、Canon Cover Sheet Editor を選択し、変更・削除をクリックします。

3 ［InstallShield Wizard］が表示されたら、画面の指示に従ってください。

4 Canon Cover Sheet Editor がアンインストールされます。

ファイルを開く / 保存する / 閉じる

■ファイルを開く

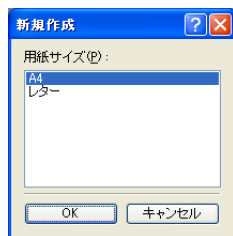
● 新規ファイルを作る

以下の手順に従って新規のカバーシートを作成してください。

1 ツールバーの （新規作成）をクリックします。

または、［ファイル］メニューから［新規作成］を選択してください。

［新規作成］画面が開きます。

2 カバーシートの紙サイズを選択し、［OK］をクリックします。

新規カバーシート画面が開きます。

● 保存してあるカバーシートを開く

ファイル名を指定して保存してあるファイルを開くことができます。
以下の手順に従って開いてください。

1 ツールバーの （開く）をクリックします。

または、［ファイル］メニューから［開く］を選択してください。

［ファイルを開く］画面が開きます。

2 開きたいカバーシートのファイルを指定します。

メモ　［プレビュー］にチェックが入っていると、選択されたカバーシートのイメージを見ることができます。

3 ［開く］をクリックします。

選択されたカバーシートが開きます。

■ファイルを保存する / 閉じる

● 新しいファイルを保存する

カバーシートを保存しておくと、ファクスドライバに登録してオリジナルカバーシートとして使用できます。

1 ツールバーの （上書き保存）をクリックします。

または、［ファイル］メニューから［上書き保存］または［名前を付けて保存］を選択してください。

［名前を付けて保存］画面が開きます。

2 ［ファイル名］にファイルの名前を入れ、保存先を指定して［保存］をクリックします。

自動的に cse の拡張子が付きます。

● 既存のファイルを保存する

既存のカバーシートを編集して保存するには、以下の手順に従ってください。

1 ツールバーの （上書き保存）をクリックしてください。

または、［ファイル］メニューから［上書き保存］を選択してください。

重要

- 編集前の状態のファイルを残しておくためには、［名前を付けて保存］を選択して別の名前を付けるか、保存場所を変えてください。［上書き保存］を選択すると、元のファイルに上書きされます。
- カバーシートファイルを別の名前で保存するか、別の場所で保存する場合だけ［名前を付けて保存］コマンドを選択してください。

● ファイルを閉じる

Canon Cover Sheet Editor を終了せずに現在開かれているカバーシートを閉じるには、以下の手順に従ってください。

1　Canon Cover Sheet Editor 右上にある ☒（閉じる）マークのすぐ下の ×（閉じる）をクリックします。

または［ファイル］メニューから［閉じる］を選択してください。

メモ
- 編集後に保存をせずに閉じようとすると、変更を保存するかどうかをきくメッセージが出ます。変更を保存するには［はい］、しないなら［いいえ］をクリックしてください。
- カバーシートを閉じないときは［キャンセル］をクリックしてください。

オリジナルのカバーシートを作成する

ここではカバーシートを作る際の文字入力、文字設定、フィールドの設定、図形の作成・設定、グリッドの指定について説明します。

■文字を入力する

カバーシートには文字や数字を入力できます。あらゆる文字やテキストボックスのプロパティも変更することが可能です。文字を編集するには、テキストボックスのどこか一か所をクリックして編集モードに切り替え、編集したい文字にカーソルを合わせてください。

1　ツールバーの A（テキストボックス）をクリックします。

または、［挿入］メニューから A（テキストボックス）を選択してください。

2　文字を入れたい場所にポインタをドラッグします。

四角形のテキストボックスが表示されます。

3　テキストボックス内でクリックします。

文字編集用のカーソルが出ます。

4　文字を入力します。

■文字の属性を調整する

文字のプロパティはいつでも変更できます。文字の設定を変えると、選択されたテキストボックスの中のすべての文字に設定が反映されます。

MS P明朝 | 12 | 黒 | B I U

設定したテキストプロパティに従ってテキストボックス中のフィールド文字列のテキストプロパティも変更されます。詳しくは「フィールドを設定する」(→ P.4-50)を参照してください。

● フォント

1 **テキストボックス内をクリックします。**

文字編集ができる状態になります。

2 **ツールバーのフォントプルダウンリストから、フォントを選択します。**

● フォントサイズ

1 **テキストボックス内をクリックします。**

文字編集ができる状態になります。

2 **ツールバーのフォントサイズプルダウンリストから、フォントサイズを選択します。**

フォントサイズを直接入力することもできます。

● フォントの色

1 **テキストボックス内をクリックします。**

文字編集ができる状態になります。

2 **ツールバーのフォントの色プルダウンリストから、フォントの色を選択します。**

● 太字

1 **テキストボックス内をクリックします。**

文字編集ができる状態になります。

2 ツールバーの B（太字）をクリックしてください。

元に戻すには、ツールバーの B（太字）を再びクリックします。

● 斜体

1 テキストボックス内をクリックします。

文字編集ができる状態になります。

2 ツールバーの *I*（斜体）をクリックしてください。

元に戻すには、ツールバーの *I*（斜体）を再びクリックします。

● 下線

1 テキストボックス内をクリックします。

文字編集ができる状態になります。

2 ツールバーの U（下線）をクリックしてください。

元に戻すには、ツールバーの U（下線）を再びクリックします。

● 文字揃え

1 テキストボックス内をクリックします。

文字編集ができる状態になります。

2 ツールバーの（左揃え）、（中央揃え）、（右揃え）、をクリックします。

● テキストプロパティを設定する

テキストボックス内の文字のプロパティを一度に設定することができます。

[テキストのプロパティ] 画面内の [プレビュー] では、現在の設定を反映した文字が表示されます。設定を決定するガイドとしてお使いください。

1 テキストボックス内をクリックします。

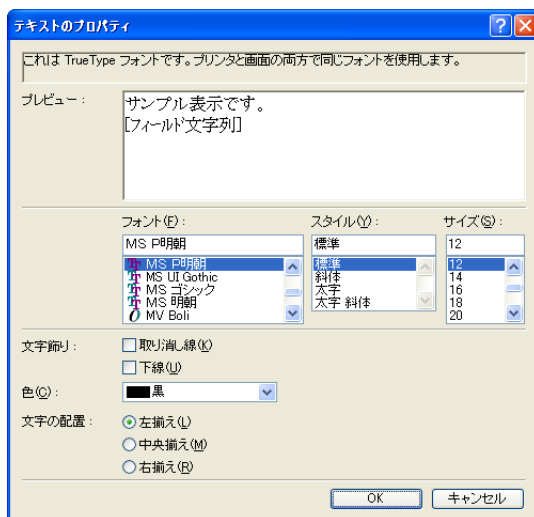
文字編集ができる状態になります。

2 ツールバーの （プロパティ）をクリックします。

または［編集］メニューから［プロパティ］を選択します。

またはテキストボックス内で右クリックして［プロパティ］をクリックしても表示できます。［テキストのプロパティ］画面が開きます。

3 ［フォント］［スタイル］［サイズ］をそれぞれのリストから選択します。

または、好みのフォントサイズを［サイズ］に直接入力することもできます。

4 文字に取り消し線や、下線を引くには、［取り消し線］または［下線］を選択します。

5 ［色］から好みの色を選択します。

6 テキストの［文字の配置］を選択します。

7 ［OK］をクリックします。

● **テキストボックスのプロパティを設定する**

以下の手順に従って、選択されたテキストボックスの罫線の種類、罫線の色、背景の色を設定します。

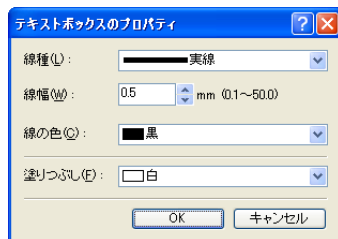
1 テキストボックスの罫線上でクリックします。

テキストボックスの罫線が選択されます。

2 ツールバーの （プロパティ）をクリックします。

または［編集］メニューから［プロパティ］を選択します。

またはテキストボックスの罫線のどこかをダブルクリックしても［テキストボックスプロパティ］を表示できます。

［テキストボックスのプロパティ］画面が開きます。

3 使用する罫線を［線種］から選択します。

4 罫線の太さ（0.1 ～ 50.0［mm］）は［線幅］で設定します。

メモ ［線幅］の設定は［線種］が［実線］のときのみ可能です。

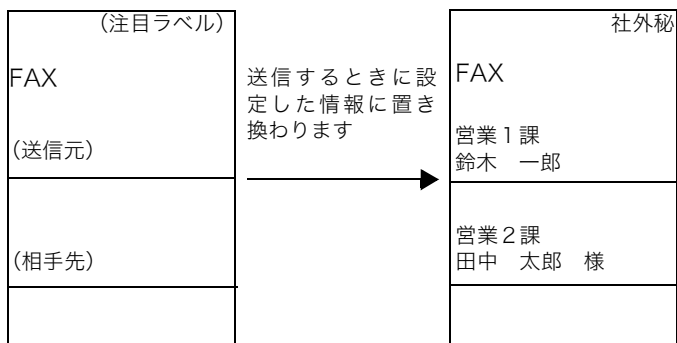
5 色を［線の色］から選択します。

6 背景の色を［塗りつぶし］から選択します。

7 ［OK］をクリックします。

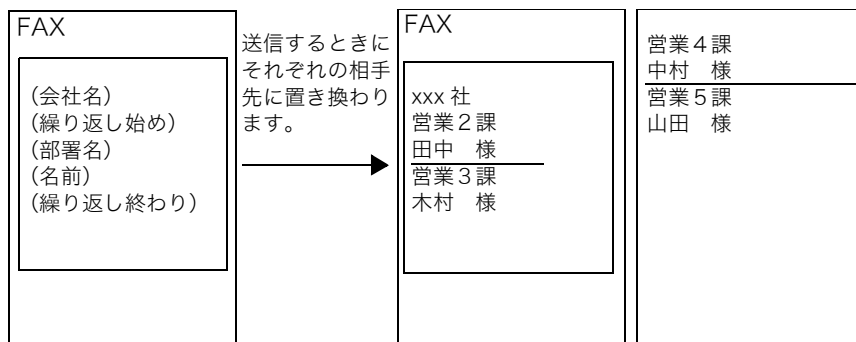
■フィールドを設定する

「フィールド」機能を使って、送信元や相手先の名前、ファクス番号、会社名や部署名などの情報をカバーシートに記載することができます。

情報を入力したい場所にフィールドを設定すると、ファクスドライバで指定した送信元と相手先の情報が、送信時にカバーシートの指定位置に自動的に挿入されます。

挿入が可能なフィールド

- 送信元の情報：名前、ファクス番号、会社名、部署名
- 相手先の情報：名前、ファクス番号、会社名、部署名
- 送信枚数
- その他情報：注目ラベル、コメント

同報送信をするときなどに、「繰り返しフィールド」を設定すると、同じカバーシートに複数の相手先の情報を設定することができます。

複数の相手先への同報送信時に、すべての相手先の情報を表示したカバーシートをつけるには繰り返しフィールドを利用します。

［送信元の情報］と［相手先の情報］フィールドに加え、［送信枚数］、［注目ラベル］、［コメント］フィールドもカバーシートに入力できます。

ファクスが送信されると、ファクスドライバで設定された送信するシートの枚数が［送信枚数］フィールドに、［至急］や［部外秘］などファクスドライバで入力された情報が［注目ラベル］フィールドに入力されます。また、［コメント］フィールドには、ファクスドライバで設定されたコメントが入力されます。

● 文字編集中に送信元、相手先情報を入力する

1 テキストボックスの中で、フィールドを挿入したい場所にカーソルを置きます。

2 ［挿入］メニューから［送信元の情報］または［相手先の情報］をクリックし、挿入したいフィールド（[名前]、[ファクス番号]、[会社名]、[部署名］など）を選択します。

選択されたフィールドが挿入されます。

メモ　「全情報を一括で挿入」を選択した場合、送信元または相手先のすべての可能なフィールドが一度に挿入されます。フィールドは［名前］、［ファクス番号］、［会社名］、［部署名］の順で挿入されます。

● 文字編集をせずに送受信者情報フィールドを挿入する

1 ［挿入］メニューから［送信元の情報］または［相手先の情報］をクリックし、挿入したいフィールド（[名前]、[ファクス番号]、[会社名]、[部署名］など）を選択します。

2 カバーシート上の挿入したい場所でポインタをドラッグします。

選択されたフィールドを含んだ四角形のテキストボックスが表示されます。

メモ　「全情報を一括で挿入」を選択した場合、送信元または相手先のすべての挿入可能なフィールドが一度に挿入されます。フィールドは［名前］、［ファクス番号］、［会社名］、［部署名］の順で挿入されます。

●「繰り返しフィールド」を挿入する

カバーシートに複数の相手先の情報を表示したいときは、繰り返しフィールドを設定します。

1 [名前]、[ファクス番号]、[会社名]、[部署名］のような情報フィールドを挿入します。

2 テキストボックス中の、相手先ごとに異なる情報を入力したいフィールドの左にカーソルを置きます。

3　［挿入］メニューから［相手先の情報］→［繰り返し始め］をクリックします。

［繰り返し始め］フィールドが挿入されます。

4　テキストボックス中の、繰り返すフィールドの右にカーソルを置きます。

5　［挿入］メニューから［相手先の情報］→［繰り返し終わり］をクリックします。

［繰り返し終わり］フィールドが挿入されます。

［繰り返し始め］フィールドと［繰り返し終わり］フィールドの間は、送信時にそれぞれの相手先の情報に置き換わります。

メモ　大量の相手先を設定して、［カバーシート］タブで［全員に同じシートを添付］を選択すると（→［カバーシート］タブ：P.4-5）、繰り返しフィールドのすべてのデータがテキストボックスに収まらないことがあります。この場合は、新しいページが自動的に作成され、テキストボックスに収まりきらなかったデータが新しいページに表示されます。

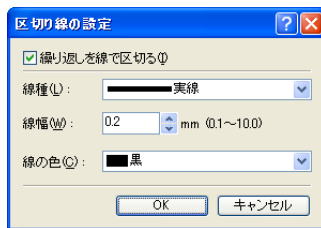
● 繰り返しフィールドの間に罫線を挿入する

繰り返しフィールドを設定したときに情報を読みやすくするために、情報の間に区切り線を挿入できます。

1　［挿入］メニューから［相手先の情報］→［区切り線］をクリックします。

［区切り線の設定］画面が開きます。

2　［繰り返しを線で区切る］を選択します。

区切り線を挿入しない場合は、チェックマークを外して、［OK］をクリックします。

3　［線種］から使用する罫線のタイプを選択します。

4　罫線の太さ（0.1 ～ 10.0［mm］）を［線幅］で設定します。

メモ　［線幅］の設定は［線種］が［実線］のときにのみ有効です。

5 好みの色を［線の色］から選択します。

6 ［OK］をクリックします。

● 文字編集中に送信枚数を挿入する

1 テキストボックス中で、［送信枚数］フィールドを挿入したい場所にカーソルを置きます。

2 ［挿入］メニューから［送信枚数］を選択します。

［送信枚数］フィールドが挿入されます。

● 文字編集をせずに送信枚数を挿入する

1 ［挿入］メニューから［送信枚数］を選択します。

2 カバーシート上の挿入したい場所でポインタをドラッグします。

［送信枚数］フィールドが挿入されます。

● 文字編集中に注目ラベルとコメントフィールドを挿入する

1 テキストボックス中で、フィールドを挿入したい場所にカーソルを置きます。

2 ［挿入］メニューから［注目ラベル］、［コメント］のどちらかを選択します。

［注目ラベル］または［コメント］フィールドが挿入されます。

● 文字編集をせずに注目ラベルとコメントフィールドを挿入する

1 ［挿入］メニューから［注目ラベル］、［コメント］のどちらかを選択します。

2　カバーシート上のフィールドを挿入したい場所でポインタをドラッグします。

［注目ラベル］または［コメント］フィールドが挿入されます。

■図形を描く

カバーシート上に直線、四角形、角丸四角形、楕円を描くことができます。図形を描いたあとで、プロパティを変更することもできます。

● 直線

1　ツールバーの ／（直線）をクリックします。

または、［描画］メニューから［直線］を選択します。

2　ポインタをドラッグしてカバーシート上に直線を引きます。

● 四角形

1　ツールバーの □（四角形）をクリックします。

または、［描画］メニューから［四角形］を選択します。

2　ポインタをドラッグしてカバーシートの上に四角形を描きます。

正方形を描くときには、キーボードの［Shift］を押しながらドラッグしてください。

● 角丸四角形

1　ツールバーの ▢（角丸四角形）をクリックします。

または、［描画］メニューから［角丸四角形］を選択します。

2　ポインタをドラッグしてカバーシート上に角丸四角形を描きます。

角丸正方形を描くときには、キーボードの［Shift］を押しながらドラッグしてください。

角丸四角形の角のカーブの度合いを調節できます。描画した角丸四角形の外側で一度クリックし、再度角丸四角形をクリックします。角丸四角形の内側右上部に表示されるハンドルをドラッグして角の度数を変えてください。

● 楕円

1 ツールバーの （楕円）をクリックします。

または、［描画］メニューから［楕円］を選択します。

2 ポインタをドラッグしてカバーシートの上に楕円を描きます。

真円を描くときには、キーボードの［Shift］を押しながらドラッグしてください。

■画像を挿入する

1 ツールバーの （イメージ）をクリックします。

または、［挿入］メニューから［イメージ］を選択します。

［開く］画面が開きます。

2 挿入したいビットマップファイルのファイル名を指定します。

メモ　ファイルを選択して［プレビュー］をクリックすると、選択された画像のプレビューが表示されます。

3 ［開く］をクリックします。

■描画を編集する

カバーシート上の直線、四角形、角丸四角形、楕円、画像、テキストボックスなどの描画のコピー、移動、削除などができます。

● 描画を選択する

1 選択する描画をクリックします。

描画を完全に囲むようにポインタをドラッグすることもできます。

描画が選択されます。

メモ　キーボードの［Shift］を押しながら各描画をクリックするか、描画を完全に囲むようにポインタをドラッグすると、複数の描画を選択できます。選択した描画を選択解除するには、キーボードの［Shift］を押しながら解除したい描画をクリックします。

● 同じカバーシート内で描画を移動する

1 移動させる描画を選択します。

複数の描画を選択し、一度に移動させることができます。

2 選択した描画を好みの場所にドラッグします。

または、[←]、[↑]、[→]、[↓] の矢印キーを使って 0.1 mm 単位で描画を好みの場所へ移動させることができます。

メモ
- 描画を水平方向や垂直方向に動かすには、キーボードの［Shift］を押しながらドラッグします。
- 選択した描画を好みの場所へドラッグしてコピーするには、キーボードの［Ctrl］を押しながらドラッグします。
- ［グリッドに合わせる］が選択されている場合、キーボードの［Shift］を押しながら矢印キーを押している間、矢印の方向に半角グリッド単位で描画が動かせます。
- ［グリッドに合わせる］が選択されていない場合、キーボードの［Shift］を押しながら矢印キーを押すと、描画を 2.0 mm 単位で移動させることができます。

● 違うカバーシートへ描画を移動する

1 移動させる描画を選択します。

複数の描画を選択し、一度に移動させることができます。

2 ツールバーの （切り取り）をクリックします。

または［編集］メニューから［切り取り］を選択します。

3 別のカバーシートを開きます。

メモ
別のシートが開いている場合には、［ウィンドウ］メニューから別のシートを選択できます。

4 ツールバーの （貼り付け）をクリックします。

または［編集］メニューから［貼り付け］を選択します。

切り取られた描画が選択されているカバーシートに移動します。

● サイズを変更する

1 サイズを変更したい描画を選択します。

メモ　複数の描画を選択し、すべてを一度に変更することができます。

2 選択された描画のハンドルをドラッグしてサイズを変更します。

メモ
- 選択したハンドルでポインタの形が変わります。
- 描画の上端と下端のハンドルをドラッグすると高さが変わります。
- 描画の右端と左端のハンドルをドラッグすると幅が変わります。
- 描画の角のハンドルをドラッグすると高さと幅の両方が変わります。

● ドラッグで描画をコピーする

1 コピーする描画を選択します。

複数の描画を選択し、すべてを一度にコピーすることができます。

2 キーボードの［Ctrl］を押しながら、選択した描画をドラッグします。

メモ　キーボードの［Ctrl］を押さずに選択した描画をドラッグすると、コピーされずに、別の場所に移動されます。

● ボタンやメニューコマンドを使って描画をコピーする

直線、四角形、角丸四角形、楕円、イメージ、テキストボックスなどの描画を、ボタンやメニューコマンドを使って同じカバーシートや違うカバーシートへコピーできます。

1 コピーする描画を選択します。

メモ　複数の描画を選択し、すべてを一度にコピーすることができます。

2 ツールバーの （コピー）をクリックします。

または［編集］メニューから［コピー］を選択します。

3 描画を異なるカバーシートにコピーするときは、そのカバーシートを開きます。

メモ　コピーするカバーシートがすでに開いているときは、［ウィンドウ］メニューから選択することができます。

4 ツールバーの （貼り付け）をクリックします。

または［編集］メニューから［貼り付け］を選択します。

選択された描画がコピーされます。

メモ
- ドラッグで別のカバーシートに描画をコピーすることはできません。
- テキストをコピーするには、選択する文字列上をドラッグして （コピー）をクリックするか、［編集］メニューから［コピー］を選択します。貼り付ける場合は、（貼り付け）をクリックするか［編集］メニューから［貼り付け］を選択します。同じテキストボックス内で文字をコピーするときは、文字列を選択し、［Ctrl］を押しながらドラッグしてください。

● 描画を複製する

［複製］を使うと、描画のコピーとペーストを一度に行うことができます。

1 複製する描画を選択します。

メモ　複数の描画を選択し、すべてを一度に複製することができます。

2 ツールバーの （複製）をクリックします。

または［編集］メニューから［複製］を選択します。

選択された描画が複製されます。

● 描画を削除する

1 削除する描画を選択します。

メモ　複数の描画を選択し、すべてを一度に削除することができます。

2 ツールバーの （削除）をクリックします。

または［編集］メニューから［削除］を選択するか、キーボードの［Delete］を押します。

選択された描画が削除されます。

● 描画をグループ化する

グループ化された複数の描画を、単一の描画として編集したり取り扱うことができます。

グループ化された描画の移動、コピー、サイズ変更が一度の操作でできます。

グループ内の描画のプロパティを一度に変更することもできます。

1 キーボードの［Shift］を押しながらグループ化する描画をクリックします。

描画を完全に囲むようにポインタをドラッグしても、グループ化する描画を選択できます。

2 ツールバーの （グループ化）をクリックします。

または［レイアウト］メニューから［グループ化］を選択します。

グループ化された描画を選択して、ツールバーの （グループ解除）をクリックするか、［レイアウト］メニューから［グループ解除］を選択するとグループを解除できます。

■図形プロパティを設定する

以下の手順に従って直線、四角形、角丸四角形、楕円、イメージなどの図形の線の種類、線の色、背景の色を変えることができます。

1 プロパティを変更したい図形を選択します。

メモ　複数の図形を選択し、プロパティを一度に変えることができます。

2 ツールバーの （プロパティ）をクリックします。

または［編集］メニューから［プロパティ］を選択するか、図形をダブルクリックして［オブジェクトのプロパティ］画面を表示します。

選択した図形のプロパティ画面が開きます。

3 ［線種］から好みの罫線を選択します。

4 罫線の太さは、［線幅］で設定します。

メモ　［線幅］の設定は［線種］が［実線］のときにのみ有効です。

5 好みの色を［線の色］から選択します。

6 好みの背景の色を［塗りつぶし］から選択します。

［塗りつぶし］は、図形が線、またはイメージのときには設定できません。

7 ［OK］をクリックします。

■図形を並べる

カバーシート上の直線、四角形、角丸四角形、楕円、イメージなどの図形の順番や見た目を編集することができます。

● 表示の順番を変える

複数の図形が重なり合っている場合、重なりの順番を決定することができます。以下の４つのコマンドを使って重なっている図形の表示順を変える事ができます。

- ［最前面へ移動］：選択した図形を最前面に移動します。
- ［最背面へ移動］：選択した図形を最背面に移動します。
- ［前面へ移動］：選択した図形をひとつ前の階層に移動します。
- ［背面へ移動］：選択した図形をひとつ後ろの階層に移動します。

1 順番を変えたい図形を選択します。

メモ
- 複数の図形を選択し、表示の順番を一度に変えることができます。
- 選択したい図形が他の図形の後ろにかくれている場合は、図形が選択されるまでキーボードの［Tab］を繰り返し押します。［Shift］を押しながら［Tab］を押すとひとつ前の図形が選択できます。

2 ツールバーの （最前面へ移動）、 （最背面へ移動）、 （前面へ移動）または （背面へ移動）をクリックします。

または［レイアウト］メニューから［最前面へ移動］、［最背面へ移動］、［前面へ移動］または［背面へ移動］を選択します。

● 複数の図形を整列させる

選択した複数の図形を、左揃え、右揃え、上揃え、下揃え、または中央に整列させることができます。最後に選択した図形の位置が整列の基準となります。

- 左揃え：　最後に選択された図形の左端に合わせてすべての図形の左端を揃えます。
- 左右中央揃え：最後に選択された図形の左右の端に合わせてすべての図形の中心軸を揃えます。
- 右揃え：　最後に選択された図形の右端に合わせてすべての図形の右端を揃えます。
- 上揃え：　最後に選択された図形の上端に合わせてすべての図形の上端を揃えます。
- 上下中央揃え：最後に選択された図形の上下の端に合わせてすべての図形の上下を軸に揃えます。
- 下揃え：　最後に選択された図形の下端に合わせてすべての図形の下端を揃えます。

1 キーボードの［Shift］を押しながら整列させる図形をクリックします。

最後に基準となる図形を選択します。

メモ
ポインタをドラッグして複数の図形を選択すると、最前面に配置されている図形が基準値になります。

2 **ツールバーの（左揃え）、（左右中央揃え）、（右揃え）、（上揃え）、（上下中央揃え）または（下揃え）をクリックします。**

または、[レイアウト]メニュー→[左右揃え]または[上下揃え]→整列の種類を選択します。

■グリッドオプションを設定する

グリッド機能は作成した図形をアレンジするのに便利です。

● グリッドを表示する

グリッドを表示すると、描画を作成、編集しやすくなります。

1 **ツールバーの（グリッドを表示する）をクリックしてグリッドを表示させます。**

または、[表示］メニューから［グリッドを表示する］をクリックしてコマンドをアクティブにできます。

グリッドを隠すにはツールバーの（グリッドを表示する）をクリックします。または[表示]メニューから[グリッドを表示する]をクリックして、グリッドの表示を解除します。

● グリッドに合わせる

カバーシートの［グリッドに合わせる］がアクティブの場合は、図形を移動、またはサイズ変更したときに、グリッドに沿って整列します。

1 **ツールバーの（グリッドに合わせる）をクリックしてアクティブにします。**

または、[表示］メニューから［グリッドに合わせる］をクリックしてコマンドをアクティブにできます。

解除するにはツールバーの（グリッドに合わせる）をクリックします。または［表示］メニューから［グリッドに合わせる］をクリックして、解除します。

メモ　［グリッドに合わせる］場合は、この設定が決定されてから有効になります。この設定が確定される前に設定された図形に影響はありません。

● グリッドのプロパティを設定する

以下の指示に従って、タイプ、色、間隔などのカバーシート上のグリッドのプロパティを設定します。グリッドを表示するか、グリッドに合わせるかを選択できます。

1 **［表示］メニューから［グリッドのプロパティ］を選択します。**

［グリッドのプロパティ］画面が開きます。

2 ［グリッドを表示する］を選択します。

グリッドを非表示にするには、チェックマークを外してください。

メモ　チェックマークを外すと［種類］、［色］の設定ができなくなります。

3 ［点］もしくは［破線］を選択します。

4 ［色］の右のボタンをクリックします。

［色の設定］画面が開きます。

5 グリッドの基本色を、画面から選択します。

- 基本色を選択する
  - ・［基本色］から好みの色を選択します。

- 自作の色を作成する
  - ・好みの色に近い色を選択します。
  - ・［色の作成］をクリックします。
    ［色の設定］画面の右側に、カラーマトリックスが表示されます。
  - ・色の明度を設定して［色の追加］をクリックします。

6 ［色の設定］画面の［OK］をクリックします。

7 グリッドの［水平］と［垂直］の間隔を設定します。

メモ　［表示］メニューから［単位］を選択すると、［単位の設定］画面で間隔を設定するときの単位を変更できます。

8 グリッドに合わせて図形を整列させるために、［グリッドに合わせる］を選択します。

［グリッドに合わせる］を無効にするには、チェックマークを外してください。

9 ［OK］をクリックします。

メモ　［グリッドのプロパティ］画面で［標準に戻す］をクリックすると、カバーシートのすべての［グリッドのプロパティ］の設定が初期設定値に戻ります。

カバーシートを印刷する

以下の指示に従ってカバーシートを印刷します。

1 ツールバーの （印刷）をクリックします。

または、［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］画面が開きます。

2 プリンタを選択します→［OK］をクリックします。

必要があれば、［プロパティ］をクリックして、印刷の詳細設定をしてください。

3 印刷する枚数を設定します。

メモ　カバーシートは 1 ページのみなので、［印刷範囲］では［すべて］しか選択できません。

4 ［OK］をクリックします。

オリジナルのカバーシートをテンプレートとして登録する

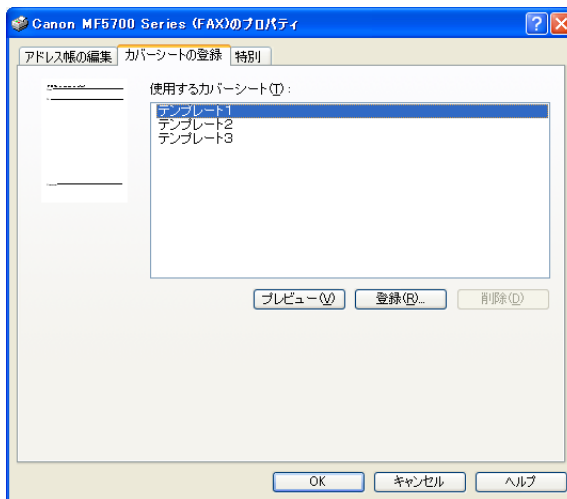
Canon Cover Sheet Editorで作成したカバーシートをテンプレートとしてファクスドライバに登録できます。

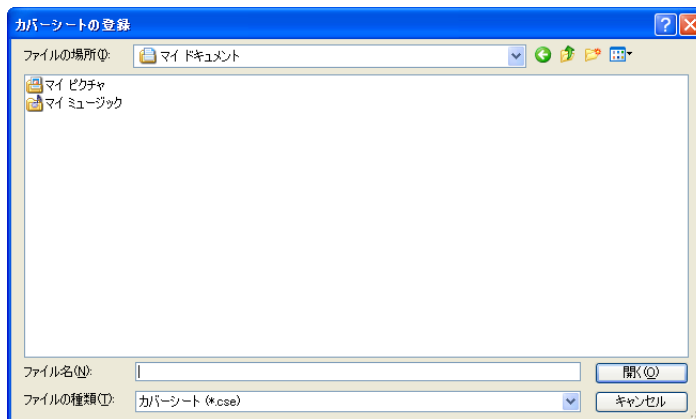
1 タスクバーの［スタート］から［設定］→［プリンタ］をクリックします。

メモ
- Windows XP Professional をお使いの場合は、［スタート］から［プリンタとファクス］をクリックします。
- Windows XP Home Edition をお使いの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウエア］→［プリンタとファクス］をクリックします。

2 ［プリンタ］フォルダ中のプリンタアイコンを右クリックして、［プロパティ］（Windows 98/Me の場合）または［印刷設定］（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）をクリックします。

3 ［カバーシートの登録］タブをクリックします。

4 コンピュータからファクス送信する（MF5750/MF5770のみ）

4 ［登録］をクリックします。

［カバーシートの登録］画面が開きます。

5 カバーシートテンプレートファイルを選択し［開く］をクリックします。

選択されたテンプレートが［カバーシートの登録］画面の［使用するカバーシート］に加えられます。

メモ　あらかじめ設定されたテンプレートの他に 30 個まで登録できます。

困ったときには

5
CHAPTER

ここでは、本製品をお使いのときに起こりうる問題とその対処方法について説明します。ご自分で問題を解決できなかったときの対処方法についても説明します。

この章の対処方法を参照しても問題が解決できない場合は、「ユーザーズガイド」の「9 章 困ったときには」を参照してください。

プリンタのトラブル

印刷ができない

原因 1 ： 用紙は入っていますか？

処　置 ： 用紙がセットされていることを確認してください。

原因 2 ： 用紙がないため、コピージョブが途中で止まっていませんか？

処　置 ： 用紙をセットしてください。コピージョブが完了すると、印刷ジョブが自動的に開始されます。

原因 3 ： カートリッジが正しく取り付けられていますか？

処　置 ： カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。(→ユーザーズガイド「8 章 日常のメンテナンス」)

原因 4 ： BIOS ポートの設定を変更する必要がありませんか？

処　置 ： お使いのコンピュータのマニュアルで、使用可能なポートについて参照してください。

原因５：コンピュータは正常に動作していますか？

処　置：コンピュータの電源が入っていることを確認してください。電源が入っている場合は、コンピュータのマニュアルを参照してください。

電源が入らない

原因１：電源コードがコンセントに接続されていますか？

処　置：電源コードが本製品とコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。

原因２：コンセントから電力が供給されていますか？

処　置：コンセントから電力が供給されていることを確認し、場合によっては別のコンセントで試してみてください。

原因３：電圧がプリンタに合っていますか？

処　置：コンセントの電圧がプリンタの定格電圧と一致していることを確認してください。

プリンタが印刷を停止した

原因１：インタフェースケーブルが外れていませんか？

処　置：コンピュータとケーブルの接続を確認してください。

原因２：他のアプリケーションがフォアグラウンドで動作していませんか？

処　置：印刷ジョブを優先すると印刷速度が上がります。

印刷結果がおかしい

原因１：プリンタとコンピュータの間の通信に問題がありませんか？

処置１：ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

処置２：USB ケーブルの長さが 3 m 未満であることを確認してください。

処置３：配電ボックスを使用していないことを確認してください。

処置４：Windowsで正しいプリンタドライバが選択されていることを確認してください。

原因２：違うプリンタが［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダで選択されていませんか？

処　置：［プリンタと FAX］（Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダで正しいプリンタが選択されていることを確認してください。

プリンタを使用すると、システムが動かなくなる

原因 1：システムのセットアップに問題がありませんか？

処置 1：高品質のシールド付きインタフェースケーブルが使われていることを確認してください。

処置 2：BIOS の設定に問題がある可能性があります。BIOS の設定が正しいことを確認してください。（コンピュータのマニュアルを参照してください。）

処置 3：物理メモリが正しく動作していることを確認してください。

処置 4：東芝製ラップトップをお使いの方は、CONFIG.SYS ファイルの次の行を変更してください。
変更前：c:¥winutils¥mxtime.exe
変更後：REM c:¥winutils¥mxtime.exe

デバイスのタイムアウトを知らせるメッセージが表示される

原因 1：プリンタの電源が入っていないか、オフラインになっています。コンピュータに接続されていますか？

処置 1：プリンタが一時停止状態でないことを確認してください。

処置 2：プリンタのインタフェースケーブルがプリンタとコンピュータの両方にしっかりと接続されていることを確認してください。

処置 3：用紙がカセット（またはマルチフィーダ）から正しく給紙されることを確認してください。

処置 4：プリンタとコンピュータをリセットしてください。

処置 5：もう一度印刷の操作をしてみてください。

処置 6：別のケーブルで試してください。

プリンタドライバのトラブル

プリンタドライバが正常に動作しない

原　因：MF プリンタドライバが通常使うプリンタドライバとして選択されていますか？

処　置：Canon MF5700 Series のプリンタドライバを通常使うプリンタドライバとして指定してください。

文書中に正しく表示されないフォントがある

原　因：Adobe Type Manager（ATM）のフォントが含まれていませんか？

処　置：Adobe Type Manager（ATM）がサポートされていません。Adobe Type Manager（ATM）のフォントを他の適切なフォントに換えてください。

Canon MF5700 Series プリンタドライバ以外のプリンタドライバで印刷できない

原　因：プリンタドライバはCanon MF5700 Seriesと同じポートに接続されていませんか？

処　置：そのプリンタドライバをCanon MF5700 Seriesとは異なるポートに接続してください。

USBポートを使ってCanon MF5700 Seriesプリンタドライバをインストールできない

原　因：USB ドライバは正しくインストールされていますか？

処　置：次の手順を実行してください。

1. 本製品が USB ケーブルを使ってコンピュータに接続されていて、電源が入っていることを確認します。
2. Windows XP では、［コントロールパネル］の［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。［作業を選びます］で［コンピュータの基本的な情報を表示する］をクリックします。Windows 98/2000/Server 2003 では、［コントロールパネル］の中の［システム］フォルダをダブルクリックします。［システムのプロパティ］画面が表示されます。
3. Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、［ハードウェア］タブを選択して、［デバイスマネージャ］をクリックし、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］をダブルクリックします。Windows 98/Me の場合は、［デバイスマネージャ］タブを選択して、［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックします。

4. ［ユニバーサル　シリアル　バス　コントローラ］または［USB　(Universal SerialBus) コントローラ］の下から USB クラスドライバを見つけ、お使いのオペレーティングシステムに対して指定されている USB クラスドライバのみ削除します。(USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下に表示されている場合は、お使いのオペレーティングシステムに応じて、次のうちの 1 つだけを削除します。：[Canon MF5730/5750/5770]、[USB 印刷サポート]、[不明なデバイス])
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、[USB 印刷サポート］を選択して、[操作］メニューから［削除］を選択します。Windows 98/ME の場合は、[Canon MF5730/5750/5770］を選択して、[削除］をクリックします。

重要　Windows が正常に動作しなくなる可能性がありますので、上記以外のデバイス / デバイスドライバは決して削除しないでください。

5. ［コントロールパネル］を閉じて、USB ケーブルを抜きます。
6. Windows を再起動します。
7. プリンタドライバのインストールについては、「コンピュータにソフトウェアをインストールする」(→ P.1-3) を参照してください。

メモ　Windows XP の場合の手順は、Category Views Mode 用に提供されています。

文字化けして印刷される

原　因：プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

処　置：プリンタアイコンが［プリンタと FAX］(Windows 98/Me/2000 の場合は［プリンタ］）フォルダに表示されているかどうか調べて、表示されていない場合は MF プリンタドライバをインストールします。プリンタアイコンが表示されている場合は、プリンタアイコンを右クリックし、プルダウンメニューの［通常使うプリンタに設定］(Windows 98/Me の場合は［通常のプリンタとして使う]）にチェックマークが付いているかどうかを調べます。詳しくは、「インストールの確認をする」(→ P.1-20) を参照してください。

スキャニングのトラブル

スキャンできない

原因1：ディスプレイに何か表示されていますか？

処　置：ディスプレイに何も表示されてい場合は、「ユーザーズガイド」の「9章　困ったときには」を参照してください。

原因2：エラーランプが点滅していませんか？

処　置：エラーランプが点滅している場合は「ユーザーズガイド」の「9章　困ったときには」を参照してください。

原因3：原稿は正しくセットされていますか？

処　置：一度原稿を取り出し、再度原稿を原稿台ガラスまたはフィーダに正しくセットします。（→ユーザーズガイド「2章　用紙の取り扱い」）

原因4：コンピュータは正常に動作していますか？

処　置：コンピュータを再起動させてください。

原因5：USB ハブや中継器は正常に動作していますか？

処　置：USB ハブや中継器を使っているときは、USB ケーブルを直接コンピュータに接続して正しく動作するか確認します。USB ケーブルを直接コンピュータに接続して画像が読み込めるときは、USB ハブや中継器が正しく動作するか確認してください。

原因6：USB 2.0 対応の USB ハブを使用していますか？

処置1：USB 2.0 インタフェースを装備したコンピュータに、USB2.0 対応の USB ハブで本製品を接続したときに、スキャンできないことがあります。そのようなときには USB ケーブルを直接コンピュータに接続してください。
USB ハブ経由で接続したいときは、次の操作で、INI ファイルを書きかえてください。あらかじめ、ファイルをコピーし、書きかえる前のファイルを保存することをお勧めします。

1. 以下のファイルをメモ帳か、他のテキスト編集アプリケーションで開きます。
   Windows 98/Me の場合
   windows¥system¥CNCMFP12.ini
   Windows 2000 の場合
   winnt¥system32¥CNCMFP12.ini
   Windows XP の場合
   windows¥system32¥CNCMFP12.ini

2. 最後の行の下に次の 2 行を追加して、保存します。このとき、他の部分を書きかえないように注意してください。
[Scan]
ReadSize=16

処置 2 ： USB 2.0 インタフェースを装備したコンピュータに、本製品を接続した場合、スキャンできないことがあります。お使いのコンピュータに、2 つ以上の USB ポートが装備されている場合は、もう片方の USB ポートに本製品を接続してください。それでも問題が解決しない場合は、次の操作で、INI ファイルを書きかえてください。あらかじめ、ファイルをコピーし、書きかえる前のファイルを保存することをお勧めします。

1. 以下のファイルをメモ帳か、他のテキストエディタアプリケーションで開きます。
Windows 98/Me の場合
windows¥system¥CNCMFP12.ini
Windows 2000 の場合
winnt¥system32¥CNCMFP12.ini
Windows XP の場合
windows¥system32¥CNCMFP12.ini

2. [読み取りサイズ] セクションで、"Read512Bytes=0" を "Read512Bytes=1," に変更してファイルを保存します。他の部分を書きかえないように注意してください。

原因 7 ： MFTool box の ScanGear または WIA で原稿入力部は正しく設定されていますか？

処　置 ： 原稿台ガラスか ADF を選択してください。

原因 8 ： 本製品のソフトウェアをインストールしたあとに、TWAIN準拠のアプリケーションをインストールしましたか？

処　置 ： 本製品のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN準拠のアプリケーションをインストールすると、TWAIN システムファイルが適切でないものと置きかわり、画像を読み込めなくなることがあります。このような場合は、本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-21）、インストールし直してください。（→コンピュータにソフトウェアをインストールする：P.1-3）

原因 9 ： Windows の［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］で本製品が認識されていますか？

処　置 ： 次の手順で、［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］フォルダに本製品のドライバ名とアイコンがあるか確認してください。

1. タスクバーの［スタート］から、［コントロールパネル］をクリックします。（Windows 98/Me/2000 のときは、タスクバーの［スタート］から［設定］→［コントロールパネル］をクリックします）

2. ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［スキャナとカメラ］をクリックします。（Windows 98/Me/2000 のときは、［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。）
3. ［スキャナとカメラ］の中に [WIA Canon MF5730]、[WIA Canon MF5750] または［WIA Canon MF5770］（Windows 98/Me/2000 のときは、[Canon MF5730]、[Canon MF5750] または［Canon MF5770]）があれば、認識されています。ないときは、本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-21）、インストールし直してください。（→コンピュータにソフトウェアをインストールする：P.1-3）

複数ページの PDF ファイルを作成しようとしたが、複数の原稿をスキャンすることができない

原　因：[スキャン] タブの [スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる] チェックボックスにチェックが付いていませんか？

処　置：MF Toolbox のボタンをクリックして、設定ダイアログボックスで [スキャナドライバで詳細な設定を行う] にチェックを付けます。ScanGear MF が開いたとき、拡張モードの [スキャン] タブの [スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる] チェックボックスにチェックを付けてスキャンすると、そのときに原稿台に置いてある原稿だけしかスキャンできません。それ以外の原稿もスキャンしたい場合は、スキャン前に [スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる] チェックボックスのチェックを外してください。

コンピュータがフリーズした

原因 1：アプリケーションに十分なメモリが割り当てられていますか？

処　置：他のアプリケーションが開いているときは、それらを閉じて使用可能なメモリ容量を増やしてください。

原因 2：ハードディスクに十分な空きがありますか？

処　置：大きな原稿を高解像度で読み込むときは、ハードディスクに十分な空きがあるか確認します。たとえば A4 サイズの原稿を 600 dpi の解像度でフルカラーで読み込むには、最低 300 MB のディスクスペースが必要です。
※空きが足りないときは、低解像度で読み込んでください。

原因 3：Photoshop で読み込んでいるときにエラーが起きましたか？

処　置：メモリの割り当てを変更します。［編集］メニューから、［詳細設定］を選択し、［隠しメモリと画像］をクリックします。［物理メモリ使用量］を 10 ～ 20 % に変えます。

原因 4 ： プリンタドライバは正常にインストールされましたか？

処　置 ： 本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-21）、インストールし直してください。（→コンピュータにソフトウェアをインストールする：P.1-3）

MF5700 シリーズセットアップCD-ROMのアプリケーションをインストールしたが、MF Toolbox に登録されていない

原　因 ： MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールしていませんか？

処　置 ： MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールすると、アプリケーションは MF Toolbox に登録されません。[設定] をクリックして、アプリケーションを登録します。（→ MF Toolbox を使って読み込む：P.3-6）

MF Toolbox のボタンをクリックすると別のアプリケーションが起動してしまう

原　因 ： ボタンのリンク先に正しいアプリケーションが設定されていますか？

処　置 ： MF Toolbox の設定したいスキャンボタンをクリックして、リンク先に起動したいアプリケーションを設定してください。他のボタンも同様に設定します。（→：P.3-9）

変更した設定が反映されない（Windows Me/2000）

原　因 ： 設定を変更した後にコンピュータを再起動しましたか？

処　置 ： Windows Me/2000 の場合は、［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］を開き、［イベント］タブで設定を変更したときは、コンピュータを再起動しないと有効になりません。設定を変更したときはコンピュータを再起動させてください。

読み込んだ画像が汚れている

原因 1 ： 原稿台ガラス、または原稿台ガラスカバーが汚れていませんか？

処　置 ： 原稿台ガラス、または原稿台ガラスカバーを掃除してください。

原因 2 ： 画像サイズが小さすぎませんか？

処　置 ： アプリケーションによっては、小さいサイズでは正しく表示できません。100 % 表示を試してください。

原因 3 ： モニタディスプレイの表示色を 16 ビット以下に設定していませんか？

処　置 ： ［画面のプロパティ］で、ディスプレイの表示色を「High Color（16 ビットまたは 24 ビット）」以上に設定してください。

スキャンした画像の端に白い線が入る

原　因 ： 原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていますか？

処　置 ： 原稿は原稿台ガラスの手前側（操作パネル側）端から約 3 mm 離してセットしてください。

読み込んだ画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

原　因 ： 解像度は正しく設定されていますか？

処　置 ： 以下のいずれかを行ってください。

1. アプリケーションで、画像表示を拡大（縮小）してください。
   ［ペイント］や［イメージング］で画像を表示している場合は、拡大表示し、縮小できないことがあります。
2. 解像度を変更して、再度読み込みます。
   画像は、解像度を高くすると大きく表示され、低くすると小さく表示されます。
   （→解像度を決める：P.3-39）

インストール／アンインストール時のトラブル

ソフトウェアをインストールできない

原因 1 ： 指示に従ってインストールを行いましたか？

処　置 ： 再度インストールしてください。インストールの途中でエラーが起きたときは、コンピュータを再起動して再度インストールしてください。

原因 2 ： 他のアプリケーションが開いていませんか？

処　置 ： 他のアプリケーションをすべて終了させてから、インストールをやり直してください。

アンインストールに時間がかかる（Windows XP/Server 2003）

原　因 ： アンインストールするときに、ウイルスチェックプログラムやその他のアプリケーションが開いていませんか？

処　置 ： アンインストールする前に、ウイルスチェックプログラムやその他のアプリケーションをすべて終了させてください。

アンインストールしても、スタートメニューに [Canon] のフォルダが残っている

原　因 ： MF Toolbox より先に MF ドライバを削除しましたか？

処　置 ： Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューを右クリックし、Windows エクスプローラを開きます。[Administrator] から [スタートメニュー] → [プログラム] を選択し、[Canon] フォルダを削除してください。
Windows 2000 の場合は、[スタートメニュー] から [設定] を開き、[タスクバーと [スタート] メニュー] → [タスクバーとスタートメニューのプロパティ] をクリックし、[オールユーザ] の [スタートメニュー] から [プログラム] を選択し、[Canon] フォルダを削除してください。
Windows 98/Me の場合は、[スタートメニュー] から [設定] を開き、[タスクバーとスタートメニュー] → [スタートメニューのプログラム] → [削除] をクリックし、[Canon] フォルダを選択して [削除] をクリックします。

コンピュータに「バージョンの競合」という画面が表示された（Windows 98）

原　因：コンピュータに Photoshop がインストールされていますか？

処　置：インストールの途中で、「バージョンの競合」、「Windows 98 のファイルとは言語または…」という画面が表示されたときは、［はい］か［いいえ］をクリックしてください。どちらをクリックしてもこのあとのインストールの操作を問題なく続けられます。

Windows XP/Server 2003 にアップグレードしたら、ソフトウェアが使えなくなった

原　因：本製品のソフトウェアをアンインストール（削除）しないで、Windows 98/Me/2000 を、Windows XP/Server 2003 にアップグレードしましたか？

処　置：ソフトウェアをアンインストール（削除）し（→ MF Toolbox を削除する：P.1-21）、インストールし直してください。（→コンピュータにソフトウェアをインストールする：P.1-3）

［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される（Windows Me）

原　因：［デバイスマネージャ］の［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］の［USB 互換デバイス］に緑の［?］マークが表示されますか？

処　置：問題ありません。そのままお使いください。

付録

6
CHAPTER

FontGallery をインストールする

FontGallery には、TrueType フォントとして和文 20 書体、欧文 100 書体が収められています。また、Windows をお使いの場合は、かな 31 書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた 43 書体が収められています。

FontGallery および FontComposer のインストール手順について説明しています。ご使用になる前に、「FontGallery 製品使用許諾契約書」（→ P.6-2）を必ずお読みください。

必要な動作環境

FontGallery および FontComposer を使用するには、次の動作環境が必要です。

重要

- かな書体および FontComposer は、Windows をお使いの場合にご利用いただけます。Macintosh をお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGallery は、1 台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

メモ

- FontGallery のユーザ登録を、キヤノン販売(株)のホームページで行うことができます。登録いただいたお客様には、今後の FontGallery に関する新製品情報やキャンペーンのご案内などをお知らせいたします。
- ホームページアドレス　http://www.canon-sales.co.jp/Product/appli/appli.html

● 使用環境について

- OS
  - ・Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本 FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

■ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

（1） お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

（2） お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

（3） お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置 1 台のみに 1 コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

（1） キヤノンおよびキヤノン販売株式会社（以下、キヤノン販売といいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

（2） キヤノンおよびキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

（1） 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

（2） お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

（3） キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

（4） 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノン販売に請求できません。

（5） お客様には、本契約の終了後２週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

（1） 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

■BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream 製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録された Bitstream 製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスは Bitstream 製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でも Bitstream 製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

■保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません。（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

■米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

以上

キヤノン 株式会社

Windows 上にインストールする

メモ
- 取扱説明書を CD-ROM に収録しています。詳しくは、次のファイルに記載されていますので参照してください。
  - ・FontGallery 取扱説明書： ¥FGALLERY¥MANUAL¥FONT¥FGMANUAL.pdf（PDF 形式）
  - ・FontComposer 取扱説明書： ¥FGALLERY¥MANUAL¥COMPOSER¥FCMANUAL.pdf（PDF 形式）
- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 欧文書体は、英語版 LIPS プリンタドライバでもご利用いただけます。

■FontGallery のインストール

Windows 版 FontGallery を、以下の手順に従ってインストールしてください。

1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM をセットします。

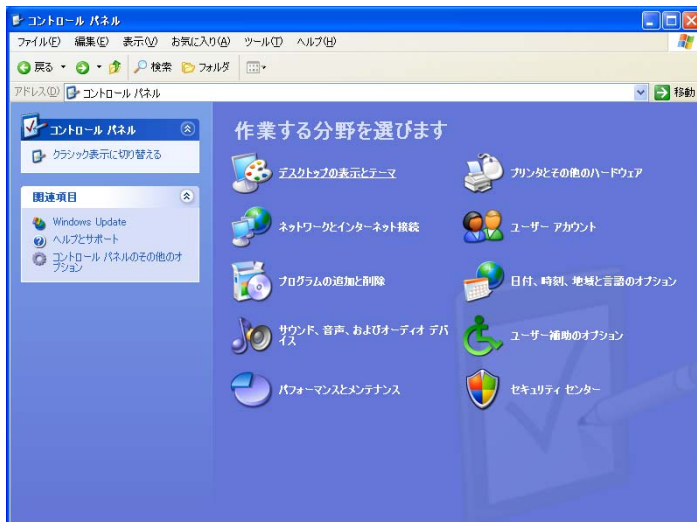
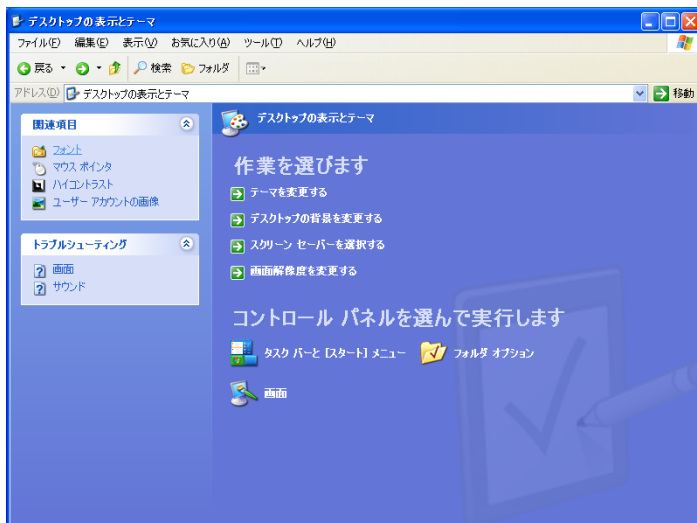
［MF5700 シリーズセットアップ］画面が表示されます。

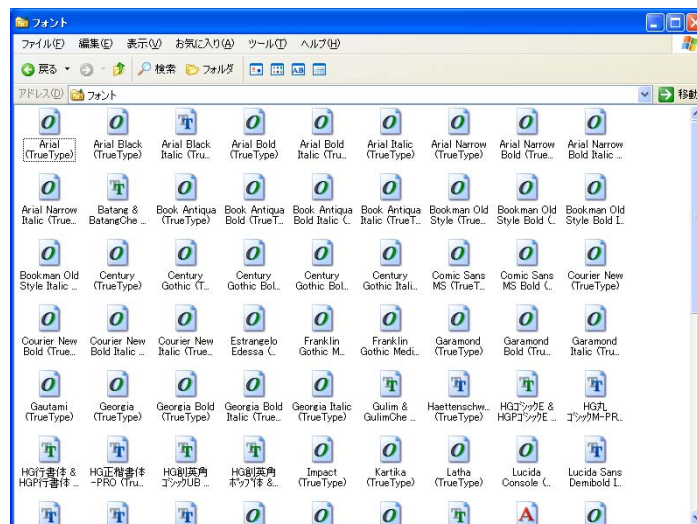
重要
- Windows 2000/XP をお使いの場合は、管理者権限をもつユーザとしてログオンしてください。
- インストール前に、実行中のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 ［MF5700 シリーズセットアップ］画面の［終了］をクリックして閉じます。

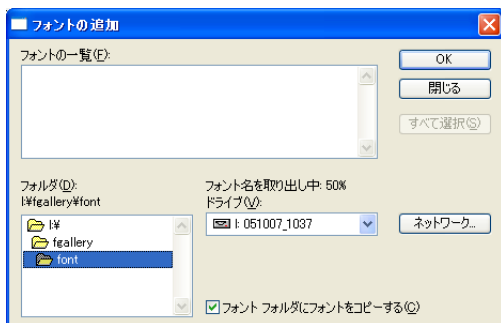
3　タスクバーの［スタート］から［設定］→［コントロールパネル］を選びます。

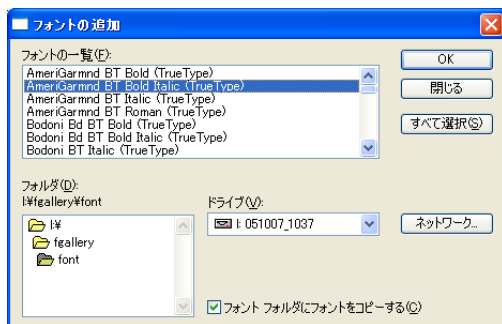
［コントロールパネル］フォルダが表示されます。

4　[デスクトップの表示とテーマ] をダブルクリックします。

5 画面左側の［関連項目］にある［フォント］アイコンをダブルクリックします。

［フォント］フォルダが表示されます。

6 ［ファイル］メニューから、［新しいフォントのインストール］を選びます。

［フォントの追加］ダイアログボックスが表示されます。

6
付録

7 ［ドライブ］から CD-ROM を選び、［フォルダ］から、［fgallery］フォルダにある［font］フォルダを選択してダブルクリックします。

選んだフォルダにあるフォントが、［フォントの一覧］に表示されます。

8 ［フォントの一覧］から追加したいフォントを選び、［フォントフォルダにフォントをコピーする］にチェックマークが付いているのを確認してから［OK］をクリックします。

フォントフォルダにフォントが追加されます。

メモ　お使いの OS によっては、[[FONTS] フォルダにフォントをコピーする] と表示されます。

6
付録

■FontComposer、かな書体をインストールする

Windows 版 FontComposer を、以下の手順に従ってインストールしてください。かな書体は、Windows 版 FontComposer をインストールすることによって、同時にイントールされます。

重要
- FontComposer を使用するには、約 10 ～ 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM をセットします。

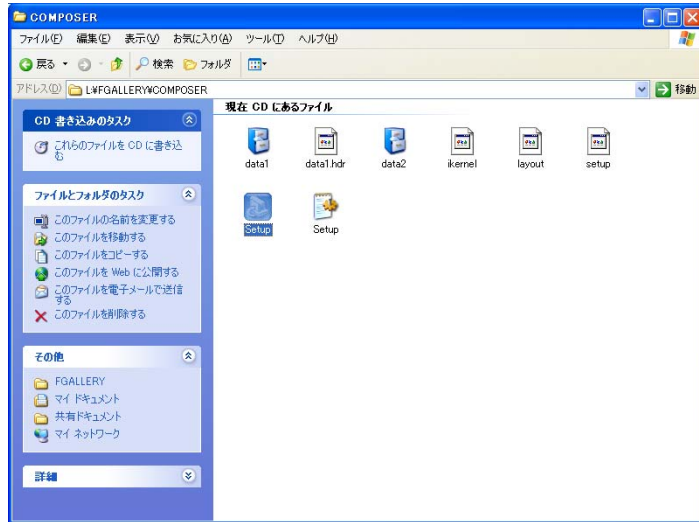
[MF8100 シリーズセットアップ] 画面が表示されます。

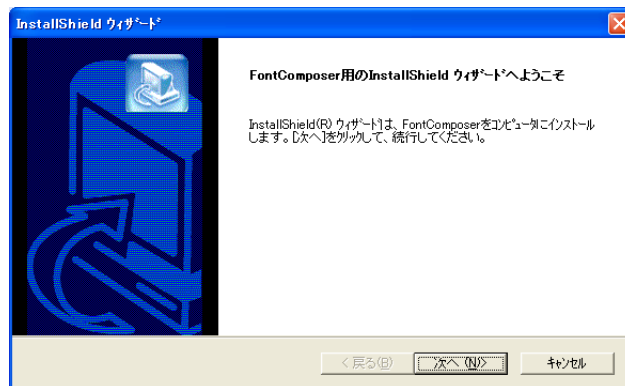
重要
- Windows 2000/XP をお使いの場合は、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。
- インストール前に、実行中のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 [MF5700 シリーズセットアップ] 画面の [終了] をクリックして閉じます。

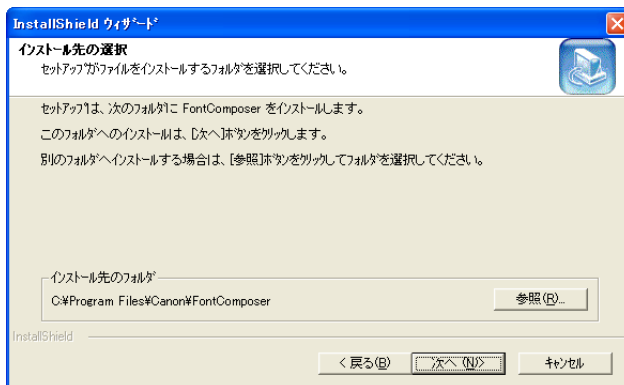
3 [マイコンピュータ] で CD-ROM ドライブを右クリックし、[開く] をクリックします。

CD-ROM の内容が表示されます。

4 [Fgallery] フォルダから [COMPOSER] フォルダを開き、[Setup.exe] をダブルクリックします。

[InstallShield ウイザード] が表示されます。

5 [次へ] をクリックします。

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

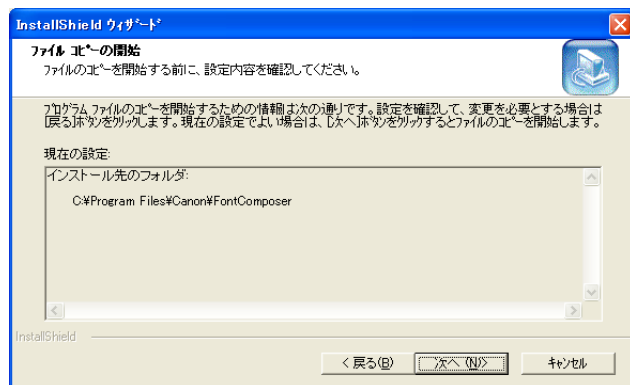
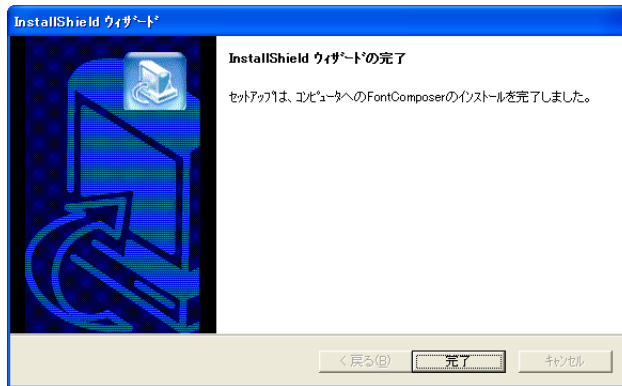
6 付録

6 インストール先を選択した後、［次へ］をクリックします。

［ファイル コピーの開始］画面が表示されます。

メモ　インストール先を指定する場合は、［参照］をクリックして、インストール先のフォルダを選択します。

7 設定内容を確認した後、［次へ］をクリックします。

インストールを開始します。

6 付録

8 **インストール完了のメッセージが表示されるので［完了］をクリックします。**

以上でインストールの作業が終了しました。

6
付録

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をお使いいただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を次に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ **かな書体**

かな書体の見本を次に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと

■ **和文組み合わせサンプル：かなユーティリティ FontComposer**

和文組み合わせサンプルの見本を次に示します。

平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
楷書体 ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント

■ 欧文書体

欧文書体の見本を次に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Cataneo Light Swash	ABCDEF a de 12345
Cataneo Regular Swash	ABCDEF a de 12345
Cataneo Bold Swash	ABCDEF a de 12345
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	±°′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

プリンタの仕様

ハードウェアの仕様

印刷速度：	20 枚／分 (A4 用紙)
解像度：	約 600 dpi × 600 dpi
用紙サイズ：	
カセット：	レター、リーガル、エグゼクティブ、A4、B5、A5、封筒洋形 2 号、封筒洋形 4 号、はがき、往復はがき 普通紙、OHP フィルム，封筒、および厚紙 (128 g/m^2 まで) 最大積載枚数：250 枚 (64 g/m^2)
マルチフィーダ：	216 mm × 356 mm (最大) 〜 76 mm × 127 mm (最小) 普通紙、OHP フィルム，封筒、および厚紙 (128 g/m^2 まで) 最大積載枚数：1 枚
排紙枚数 (フェイスダウン出力)：	60 枚 (64 〜 75 g/m^2)
ホストインタフェース：	USB インタフェース ネットワークインタフェースカード（MF5770 のみ）

ソフトウェアの仕様

プリンティングソフトウェア：	Canon MF5700 シリーズプリンタドライバ
有効印字領域：	用紙の各端面から最大 5mm の余白を除く領域

A

AC

交流（Alternating Current）。家庭用コンセントから一般的に利用できる電流の種類です。

ADF

自動給紙装置 (ADF) のことです。フィーダともいいます。

C

Canon ColorGear カラーマッチング

キヤノン社独自の色処理技術を採用した、高速で高精度な処理を実現するカラーマネジメントシステムです。業界標準フォーマットである「ICC プロファイル」に対応し、色設定機能を使った高度な色管理ができます。多くのキヤノン製品で使われています。

Canon PageComposer

異なるアプリケーションで作成した複数のドキュメントを一つのドキュメントとして編集・印刷することができる機能です。[Canon MF5700 Series] ドライバで [編集＋プレビュー] を選択すると自動的に [Canon PageComposer] 画面が立ち上がります。

D

dpi

１インチあたりのドット数（dots per inch）のことです。プリンタの解像度を表す単位です。本製品では 600 dpi の解像度で印刷します。

E

Exif

Exif （Exchange Image File）フォーマットは JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格されたデジタルカメラ向けの画像フォーマットです。JPEGをベースにしており、JPEG をサポートするソフトなら何でも開くことができます。各 JPEG のヘッダー内に画像が取られた日時や写真の露出情報などの付属情報を保持しています。

O

OCR（Optical Character Reader）

光学式文字読み取り装置。スキャナなどを使って手書きの文字や印刷された文字を読み込み、その画像から文字情報を抽出するシステム。スキャナで読み込んだ画像のままでは、ワープロソフトなどで文字を修正することはできませんが、OCR ソフトを使ってテキストファイルにすれば、ワープロソフトなどで編集したり修正したりすることができます。

P

PDF

Portable Document Format の略です。コンピュータ間でドキュメントを送信および表示するときに広く使用されている形式です。PDF ドキュメントは、Adobe 社の Acrobat Reader プログラムを使って表示または印刷できます。

T

TrueType フォント

画面表示と印刷のどちらにも使用できるスケーラブルフォントのことです。

TrueType フォントでは任意の大きさに表示でき、高解像度の場合以外は、画面で見たままのプリント結果が得られます。

TWAIN（Technology Without An Interested Name）

スキャナやデジタルカメラなどからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。スキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インタフェース（API）の標準規格です。装置とアプリケーションの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持ちます。

たとえば、TWAIN 対応の画像処理ソフトを使うときは、そのソフトのメニューからスキャナの TWAIN ドライバ（ScanGear MF）を起動してスキャンし、スキャンした画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。

U

USB（Universal Serial Bus）インタフェース

シリアルインタフェースの新規格です。自動的に接続を認識したり（プラグアンドプレイ）、コンピュータや周辺機器の電源を入れたままコネクタを自由に抜き差ししたりすることができます。

WIA （Windows Image Acquisition）

スキャナやデジタルカメラから画像を読み込むための規格です。本製品には、スキャナドライバとして、TWAIN 対応ドライバと WIA 対応ドライバの 2 つが用意されています。WIA ドライバは、Windows XP のみ使えます。どちらも TWAIN インタフェースをサポートしているアプリケーション（Photoshop など）で、プリンタ本体を使って原稿を読み込むことができます。

Windows エクスプローラ

ネットワークシステム内のコンピュータのディスクドライブ、フォルダ、ファイルを参照したり、開いたり、管理したりするときに使用する Windows プログラムです。

Windows エクスプローラを使って、ネットワーク上の他のコンピュータの共有フォルダを表示したり、開いたりすることもできます。また、Windows エクスプローラを使って、ファイルの移動、コピー、名前変更および削除といったファイルの管理が行えます。

WYSIWYG

見たものがそのまま手に入るといった意味の英文の頭文字を略した造語です。たとえば、段落をフォーマットすると、画面上で見たイメージとまったく同じように出力されるように、行が調整されます。

あ行

アプリケーション

アプリケーションソフトウェアの略です。ワープロソフト、表計算ソフト、データベースソフトなどの、特定の目的のために作られたソフトウェア、またはそれらを統合したソフトウェアのことです。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除して、インストールする前の状態に戻すことです。

印刷ジョブ

Windows アプリケーションで処理されてから、スプーラに送信されてキューに追加されたドキュメント、またはプリンタへ直接送信されたドキュメントのことです。

印刷の向き

紙の幅（横）または高さ（縦）にそって文字を印刷することです。

インストール

ソフトウェアをコンピュータのハードディスクの所定の位置にコピーし、いつでも使える状態にすることです。

インタフェース

2 つのデバイスを接続するために使用するハードウェアやソフトウェアです。2 つの装置はインタフェースを介して相互に通信します。本製品は、USB インタフェースを使用してコンピュータ（PC/AT 互換機）と通信を行います。

インタフェースポート

プリンタがコンピュータと通信するときに経由するポートです。本製品は、本体の背面に USB ポートがあります。「USB（Universal Serial Bus）インタフェース」（→ P.6-20）も参照してください。

インポート（ファイル読み込み）

他のアプリケーションで作った情報を取り込むことです。

ウエイト

紙の重さを表します。

か行

解像度

出力装置のドット密度のことです。dpi（dots per inch）で表されます。低解像度の場合、フォント文字やグラフィックの輪郭がギザギザになりますが、印刷速度は高解像度の場合よりも速くなります。高解像度の場合は、従来の書体デザインへの適合性が高く、曲線や角が滑らかになりますが、印刷速度は遅くなります。このプリンタでは、600 dpi の解像度で出力が生成されます。解像度の値は、横のデータと縦のデータによって表されます。（例：600 dpi－600 dpi）

仮想メモリ

実際の RAM（ランダムアクセスメモリ）であるかのように、Windows 環境で一時的なデータ格納に使用されるハードディスク上の空間です。Windows 環境では、スワップファイルを使ってこの処理が行われます。仮想メモリによって利用可能なメモリは増えますが、スワップファイルを使用しなければならない場合は仮想メモリへのアクセス速度が遅くなります。「物理 RAM」（→ P.6-26）も参照してください。

紙詰まり

用紙搬送路に紙が挟まった状態のことです。印刷を続けるには、詰まった紙を取り除く必要があります。

ガンマ補正

画像の明るさを変える方法です。画像のいちばん暗い部分と明るい部分は変えずに、中間調の部分を中心に明るさを変えるので、コントラストを保ったままで明るさを変えることができます。

キュー

現在印刷中のファイル、または印刷の順番待ちに並んでいるファイルのリストです。いったんファイルが印刷されると、そのファイルはキューから削除されます。

給紙

用紙をプリンタ本体の内部に引き込むことです。

給紙部

用紙を送り出す場所です。本製品には、カセットと ADF があります。

キロバイト（KB）

２進数の 1024 バイトを表す単位です。プリンタやコンピュータのメモリサイズを1000 バイト単位で表すときに使用します。

均等スペース

各文字幅に合わせて文字間を設定することです。不要なスペースをつめて、文字を読みやすくします。

区切りページ

ある印刷ジョブと別の印刷ジョブを区切るために、各ドキュメントの先頭に任意で印刷されるページです。

クライアント

ネットワーク上のプリンタへ接続するコンピュータのことです。クライアントはプリンタを直接制御せず、サーバを介してプリンタとやりとりします。「サーバ」（→ P.6-24）も参照してください。

グレースケール画像

黒 / 白ではなく、グレーの階調として各ドットを保存するビットマップ画像です。

原稿台ガラス

原稿読み取り部のことです。

コマンド

周辺機器に各種の処理を行わせるための命令です。周辺機器の準備ができたときに、インタフェースケーブルを通って、コンピュータから周辺機器へ送られます。

コントラスト

画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差を表します。コントラストを下げると、暗い部分が明るくなり、明るい部分が暗くなります。コントラストを上げると、暗い部分がさらに暗くなり、明るい部分がさらに明るくなります。

コントロールパネル

システム、ハードウェア、ソフトウェア、および Windows の設定を変更するときに使用する Windows プログラム群です。

さ行

再インストール

インストールしてあったソフトウェアをいったん削除（アンインストール）して、再度インストールすることです。

サーバ

ネットワーク上でプリンタに直接接続しているコンピュータのことです。サーバはプリンタを管理し、クライアントから送られる印刷ジョブを制御します。「クライアント」（→ P.6-23）も参照してください。

シールド

電磁気インタフェースからケーブルを通して渡されるデータを保護するために、金属箔で内部の導線を覆ったケーブルの種類です。本製品では、ダブルシールドインタフェースケーブルを使用する必要があります。

斜体

斜めの文字を特徴とするフォントスタイルです。（文字の垂直のストロークは、縦軸に対する角度部分です。）

スキャナドライバ

スキャナを制御するためのソフトウェア。本製品には TWAIN ドライバと WIA ドライバ（Windows XP 用）が付属しています。

スケーラブルフォント

スケーラブルフォントを使うと、固定のサイズと角度で印刷するビットマップフォントとは異なりさまざまなサイズや回転角度で文字を印刷できます。

スプーリング

アプリケーションからドキュメントを印刷する際に、ドキュメントをプリンタへ直接送信するのではなく、いったんスプーラへ送信することにより、実行中の他のタスクの処理をコンピュータおよびアプリケーションでスムーズに続けさせるプロセスのことです。スプールされたドキュメントは、受信順に印刷されます。

ソート

複数ページのドキュメントをページの順に並べて複数部印刷するための指定です。

た行

タイトルバー

ウィンドウまたは画面のタイトルが表示される帯状の部分です。多くのウィンドウのタイトルバーには、［コントロール］メニューボックス、最大化ボタン、および最小化ボタンがあります。

縦（印刷の向き）

縦向きに印刷をすることです。紙の短辺の端から端へテキストと画像が印刷されます。

ディザパターン

連続階調のある原稿を再現するために使うドットの密集形状パターンのことをいいます。

定着器

印刷中に用紙（または他の媒体）上のトナーを熱や圧力で定着させる機構です。この機構はプリンタ内部にあり、プリンタの作動中は非常に高温（190 ℃）になります。

デスクトップ

Windows の作業領域を表す Windows 画面全体のことです。Windows デスクトップ上には、アイコン、ウィンドウ、およびタスクバーが表示されます。

転写ローラ

トナーを用紙に転写するために、ドラムに用紙を押し付けるローラです。

トナー

カートリッジに詰められている黒い樹脂コートされた粉末のことです。電子写真メカニズムによって、プリンタはプリンタ内部の感光性ドラムの表面にトナーを塗布します。

トナー節約モード

印刷データの黒い部分を薄くすることにより、トナーを節約できます。

ドライバ

コンピュータで周辺機器を制御するためのプログラム。プリンタドライバなどのようにフォントやプリンタの機能を制御するプログラムをコンピュータのシステムに提供します。

な行

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段、およびソフトウェアを使って接続されているコンピュータ群です。ソフトウェアにより、ネットワーク上のコンピュータは（プリンタなどの）装置の共有や情報の交換が行えます。

は行

ハーフトーン

グレースケールの画像を、黒と白のドットに変換して、元の画像の階調を再現して印刷する方法です。

倍率指定

印刷する画像を拡大 / 縮小します。

ヒストグラム

画像の階調をグラフで確認できる情報パレットです。

標準設定

他の設定値が何も指定されていない場合に自動的に使用される設定のことです。

フォルダ

ドキュメント、プログラムファイル、および他のフォルダが保存されるディスク上の保管場所のことです。ディレクトリとも呼ばれています。

フォント

文字のサイズとスタイルです。（例：12 ポイントの Courier 太字）

物理 RAM

仮想メモリとは対照的に、メモリチップの形でコンピュータ内に物理的に存在するRAM（ランダムアクセスメモリ）です。「仮想メモリ」（→P.6-22）も参照してください。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタとの通信を制御するプログラムです。プリンタドライバは、フォントの記述やプリンタの機能といった情報を Windows に提供します。

プリンタと FAX フォルダ（プリンタフォルダ）

プリンタと FAX 情報が保存されているフォルダです。

プレビュー

実際に印刷したり画像を読み込む前に、どのように印刷またはスキャンされるかを画面に表示したものです。プレビューが印刷またはスキャンしたいイメージと違うときは、設定を変えてもう一度プレビューを表示し確認します。

[プロパティ] 画面

プリンタなど、特定のデバイスに関する情報を含む画面です。

フォーム

ユーザによって高さと幅を指定された用紙サイズです。

ボールド（太字）

太く濃い書体。強調印刷または二度打ち印刷とも言われます。

ポイントサイズ

文字の大きさをポイント単位で定義します。1 ポイントは 1/72 インチです。

ま行

マイコンピュータ

コンピュータのファイルシステムをざっと見たり、ドライブ、フォルダ、およびファイルを開いたりするときに使用する Windows アプリケーション。マイコンピュータは、アイテムの移動、コピー、名前変更、および削除など、ファイルやファイルシステムの管理に使用することもできます。

マルチページ PDF

スキャンした複数の原稿を 1 つの PDF ファイルに保存します。それぞれの原稿が PDF ファイルの 1 ページになります。

明度

明るい領域と暗い領域の相対的な比率のことです。明度を下げると画像全体が暗くなり、明度を上げると画像全体が明るくなります。

メガバイト（MB）

100 万バイトを表す単位のことです。プリンタやコンピュータのメモリサイズを表すときに使用します。

や行

用紙タイプ

すべての種類の用紙（普通紙、厚紙、OHP フィルム、封筒など）は、いくつかの用紙タイプに分類されています。

用紙搬送路

用紙がプリンタを通る経路です。

横（印刷の向き）

横向きに印刷をすることです。紙の長辺の端から端へテキストや画像が印刷されます。

ら行

ランダムアクセスメモリ（RAM）

コンピュータの作業メモリで､使用中のプログラムやデータが一時的に保存される場所です。コンピュータをリセットまたはシャットダウンすると、RAM 内の情報はすべてクリアされます。非常に複雑なドキュメントを印刷する場合は､実行中の他のプログラムを終了するか､またはコンピュータに RAM を増設する必要があります。「物理 RAM」（→ P.6-26）および「仮想メモリ」（→ P.6-22）も参照してください。

ローカルプリンタ

USB ケーブルを使ってコンピュータに直接接続されているプリンタのことです。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ら

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
（全 国 共 通 番 号）

050-555-90024

[受付時間] 〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

FA7-6527 (010)